

## 5. 自由記述

※自由記述では調査票で得られた回答の原文をそのまま記載する。(個人が特定できる可能性のある表現は〇〇と表記する)

### (1) 家族構成 (選択肢5. その他)

問27-3) お子さんから見た同居家族の構成について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

#### カテゴリー1:「親と祖父母がいる」

- ・ 祖父母同居
- ・ 母、祖母、子供2人
- ・ 祖母がいる。
- ・ 祖父母

#### カテゴリー2:「おじ・おばがいる」

- ・ 母と妹とおばとイトコ
- ・ 祖父母 オバ
- ・ 母、祖父母、伯父

#### カテゴリー3:「兄弟がいる」

- ・ 姉
- ・ 姉がいる。
- ・ 兄
- ・ 母親と姉
- ・ 両親・兄
- ・ 姉と姉と妹

### (2) 子どもに関する要望 (選択肢5. その他)

問32) あなたはお子さんに対してどのような支援を望んでいますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

#### カテゴリー1:「経済面」

- ・ 無料塾があればいいな (現在塾に行ってます)。
- ・ 金銭的支援
- ・ 補助金
- ・ 支援金のはらいもどしではなく、給食費などを手から出さなくてもいいようにしてもらう

とたすかります。

- ・教育費
- ・経済面

#### **カテゴリー 2 : 「進路」**

- ・進学
- ・進路相談

#### **カテゴリー 3 : 「その他」**

- ・言語支援
- ・メンタルサポートなど。
- ・放課後や土曜日。
- ・話し相手
- ・仕事をしているため。
- ・近くにあれば利用したい。
- ・特にない。
- ・土日祝などに急に仕事になった場合の預かり（無料・格安）。
- ・ボランティア

### **(3) 社会資源を利用してよかったこと、今後要望すること等（その他）**

問33) お子さんが場所を利用するようになって、良かったと思うことや、今後要望したいこと、その他何でも思うことを自由に記入してください。

#### **【良かったこと】**

#### **カテゴリー 1 : 「学習・読書」**

- ・放課後子ども教室を利用してから、スポーツ、宿題、予習、復習などをするようになったので良かったです。
- ・学習面の不安を解消してくれて、相談に乗ってもらったり、子どもが安心できる居場所なんだろうなと感じた。
- ・勉強を進んでやるようになった。笑顔で家に帰ってくるようになった。すごくありがたい場所です！！ 今後も利用させようと思っています。
- ・2人目の中学3年生の男の子が利用しています。先生もダジャレを言ったり、塾での出来事を、話してくれたり勉強は大変みたいですけど楽しそうにやっています。成績もちよつとずつではありますがあがっています。とても、ありがたいです。ありがとうございます。これからも、よろしくお願いします。
- ・私の子は一人っ子です。年の近い大学生に勉強を教えてもらっています。（親世代の解き

方のギャップなどがあって教える事ができなかった。) 年齢も近い事で楽しく学び、大学が身近に感じる様な気がします。他者とのコミュニケーションがあり視野が広がるような気がします。一番は楽しく自分のペースで本人がやる気を少しでも出せている事がすごくうれしく思っています。この場に通えている事をすごく幸せに思っています。

- ・近くの児童館で週2回、現役の大学生が、勉強を教えてくれるのが、とても良くありがたい。子供も喜んで行きます。
- ・図書館で絵本をたくさん借りて読み聞かせをしていたので本が好きな子に育ちました。ありがたいです。
- ・諸先生方の協力で無償で勉強も教えて下さり少しずつ理解でき、勉強が楽しくなったと話すようになる。帰宅する時も家まで送って下さるので感謝しています。
- ・学童では、宿題等を教えてもらうことは、良い。
- ・宿題を終わらせてから遊ぶようになった。
- ・友達と出かけ、勉強会をしたりして楽しんでくれるので時間を決めて利用しています。
- ・宿題をする習慣を身に付けて頂けてありがたく思っている。
- ・お迎えの待ち時間に宿題をするようになった。
- ・勉強を教えてくれて助かる。

## **カテゴリー2：「学校・行事」**

- ・学校に行かせることがとても良かった。
- ・半年前から、学校での部活に入り、人とのかかわりや、時間、ルール、あいさついろいろなことを学べてることが良かったです。
- ・児童館が主催した劇や外部から講師を招いてのイベントに参加できたのが親子ともにいい経験になりました。
- ・部活を始めて、毎日楽しそうにしているのでうれしく思います。児童館があり助かっています。
- ・学童で十五夜のパレードに参加したりするのは地域の風習を知る良い機会です。とても素晴らしいと思います。
- ・学校の部活動に参加して友達がふえた。
- ・学校での学習支援が受けられるようになった事が、良かった。
- ・普段行けない様な施設などへの見学に行ったり、友だちとレクをしたり。家ではできない経験ができていたので良かったです。
- ・公民館では、地域のボランティアの方たちが子供の学校のときに見守ってくださっている方に親も会えるので、安心しています。夏休み、お正月は、いろいろな行事が体験できるのでうれしいです！
- ・子供の三線きょうしつに、行かせて、夏休みは朝から、おきるクセをつけさせた。
- ・行事や夏休みなどにはイベントを計画して下さるので子どもは楽しんで過ごせていると

思う。

- ・イベントが多く子供達が喜ぶ。

### カテゴリー3：「人間関係」

- ・友達との関わりが広がる。ゲーム以外の事に興味を持てた。
- ・地域の行事では、いろんな年齢の方とコミュニケーションができるので良い。
- ・1人っ子だけどサッカーを通してたくさんの友達、そしてママ友が出来たのは息子のおかげだと思います。後は、反抗期どうすればいいかなやむ…。
- ・人間関係が大事だとつくづく思った。
- ・子供の中でのルールや児童館で異年齢同士の子との交流で学んで来たり、また弟妹にもとても優しくなっています。
- ・友達とのコミュニケーションのとり方や伝え方など少しずつ身についてきた。
- ・人見知りなので、まわりにひっぱってもらい、楽しく学校生活を送っています。学習支援サポーターには、お世話になり感謝しています。
- ・友達がふえた。色々なお話をするようになった。勉強も、スムーズにできるようになった。毎月おたん生会でケーキがたべられるのを、よろこんでいる。
- ・学校や外で声をかけてもらうことが増えた。友達が増えた。
- ・場所によってはありますが、同年代～年上の子供達とふれあう機会、支援・指導をしている方々に見守られ接してもらえる事があると、子供の気持ちに変化が見られます。成長につながると思っているので、利用できる時は積極的にしたいと思っています。
- ・協調性を養えること。
- ・ゲームばかりしないで、友だちと遊ぶようになった。
- ・友だちとの関わり方が前よりも上手になった。
- ・自分の気持ちを少しずつ相手に伝える事ができるようになった。
- ・これまで出会った支援者の方にとっても感謝しています。
- ・学童クラブを利用するようになってから、上の学年の子たちとの交流もあってチャレンジ精神が出てきていて、苦手だった食べ物もチャレンジするようになってくれたことは良かったと思う。
- ・自発性が強くなってきたように思う。他の人々との交流により少々疲労しているようにも見えるが、いろいろと会話が增えた。日々充実しているように感じる。
- ・友だちが出来た。
- ・体力作りや団体行動等クラブ活動をとおしルール等を学び良かった。クラブ活動で親子のスキンシップもとれて良かった。高学年になればやりたい事も自分で判断しだすと思うので応援したい。
- ・積極的になり、意見を言える子になった。
- ・学童行くようになって、自分の考えを、話しできるようになった。

- ・地域の伝統芸能にかかわる事ができ、先輩方との交わりで人間形成により刺激、経験になったと思感謝します。
- ・成長した。周りを見る目が変わった。
- ・友達が増えた事と、楽しそうに話をしている（友達や食事の事）。できれば中学を卒業するまで続けて利用させてもらいたい。
- ・あいさつや、自分の意見をはっきり言う様になった。病気やケガにも恵まれない様な事がなく何とか暮らしている状況。
- ・学童保育を利用してから、友達も増え、またクラブにも入る事ができ楽しそうに過ごしています。
- ・今、現在、幼稚園、小学2年生の子が児童館に通ってます。児童館では先生、お友達と仲良く遊び、イベントなどあるので、子供達が大喜びです。
- ・地域の活動に参加することで、友達が増え、友達とのきずなも深まった。積極的になり、自分に自信をもってきた。
- ・社会性や、団体行動、体力等が身についた。友達などがふえたから。
- ・家だけでなくほかの人と沢山接することで子供たちにとっての心の財産になりなにかの将来に繋がるきっかけになるといいな一と思います。
- ・友達との交流ができる子になった。
- ・子供達は友達が増えた。

#### **カテゴリー4：「家庭（保護者）支援」**

- ・沖縄は、子育てにとってもいい環境なので地域のおじいおばあきんじょの方も一緒に子育てに参加してくれるのですごく助かっています！！
- ・同じクラスの子と同じ学童に通うようになって、たくさんの友達ができたので、とても安心している。宿題も見ているので時間がない私にとっては、とてもありがたい。
- ・祖父母の家（学校帰り）に行くので、金銭面でも助けてもらってます。
- ・学童にかよわせていたが、2人小学生になり、お金がかかるためやめて、放課後の過ごし方が心配（※外の不しん者情報とかもあるため）でしたが、学校ちかくに、子供が宿題したり、おやつを食べてすごせる場所があり、母子共に安心しています。すごく助かっています。
- ・学童があるからこそフルタイムで働けるのでとても助かっています。もし学童を利用できていなければ下校時刻には家にいないといけないうえ、昼と夜のパートを掛けもちしないといけなかったと思います。
- ・安心して仕事ができる。（収入が増えた）。
- ・夫婦共働きで近くに身内がない為放課後や土よう日を学童で過ごさせてもらっているので大変助かり、安心して預けることができている。
- ・他人になやみをはじめて言った時は（役所）すごく心が楽になって、子育てが楽しいと思えるようになりました

・平日放課後は1人目は活部→塾、2人目は学童→習い事、私も18:00には仕事を終え帰宅しているので、子供の居場所に不自由した事はありません。特に2人目の学童は1人親ということで、助成もあり、大変助かっております。

・主に近くの児童館ですが上の2人が通っている時は母親クラブの役員になり子供たちの状況等教えてもらったり学ぶ事が多かったです。子供3名共、児童館が大好きで通っていました。

・児童館の食事支援はすごく助かっています。子供達も児童館で過ごせる事がすごく楽しみなようです!!通ってる所では、衣服のリサイクルも無料で出して下さる時もあるのですごく助かっています。

・安心して仕事ができる。行く場が分かれば行き違う事がなくなった。

・公民館の利用は、私が仕事を終えて子どもを迎えるまでの時間が遅いのでそこにいといての時間であり、場所です。女の子なので心配で、公民館の人達もいるので安心して、その場所にいるだけです。

地域で子育てするという沖縄の考え方に、とても助けられています。

・夏休みなど長期お休みの時に、なかきす児童館でお昼ご飯無料で食べさせてもらっています。ボリュームもありおいしいので親として助かってます。

・年長さんを保育園で過ごし、春休みから学童に行ってるので、利用していない期間がなく、利用するようになって良かった事は分らないですが…。ですが、おかげ様で、ほとんど仕事にえいきょうが出なくてすみませんでした。本当に助かっています! 習い事があったり、イベントがあたり、安心して預けられるだけでもありがたいのに、楽しく通わせてもらって幸せな事だなと思っています。

・中学生組がはんこうきで今学校に行けてない状況で〇〇のほうでも対応してもらって本当に助かっています。自分だけだったらとても対応できずに苦しんでいたと思います。子供達も〇〇に行くようになってから生き生きしてくれていてとてもうれしいです。

・小学校入学時から、市の学童クラブを安くで利用することが出来て、又安心して働くことが出来ているのでとても助かっています。

・公民館やゆらてくなど、子供達が集まりやすく人の目がある場所は親として安心できる場所だと思います。個人宅など(大人が不在の場合)ご迷惑をかけてないか、何をしているか見えない分心配になります。

・仕事のためしかたなく学童に入れたが、そのおかげで安心してはたらくことができるようになった。お金はきびしいが、楽しく生活できている。お金のコトで来月から学童をやめることにしたがこどもたちが遊ぶ時間ができたのでプラスにもなると思っています。

・上の子の送迎などで帰宅時間が遅いので安心できる。近所で遊ぶ友だちがいない。規則や思いやりが育つ。

・就学支援、とても助かっています。ありがとうございます。

・親としては、自分一人で子育てをしているのではない!という安心感や、たよれる人がで

きて精神的にホッとしました。ありがたいです。

- ・核家族、親類縁者疎遠の為、出かける所がなかった。行き場が増えた事。安全に帰ってくる。
- ・児童館などがあってすごく助かっている。

#### **カテゴリー5：「その他」**

- ・学べる、自由に行ける、楽しめる、落ちつけれる、行けると言う場所がある安心感。行動して動ける、気にせず長くでもいれる、いろんな事を学べる、情報も得れる事。
- ・学童か地域にはとてもお世話になっておりいつも感謝しています。ありがとうございます。
- ・子供はスポーツができて、かっばつな子でスポーツするのが大好きです。息子は高校生になってアルバイトをはじめました。やさしい子にせい成しています。大人になってきたんだなと思います。これからも子供の成長を楽しみにしています。
- ・チャレンジ精神がめばえた。
- ・学校の後に学童に行くようになって色々な面で成長をかんじました。なやみ事があれば、相談にのってくれたりとするので、たすかっています。
- ・放課後子ども教室は、学校など近くで利用できるので安心だし、仕事で家にいない間、子どもがさびしい思いをしないのが良い。
- ・自分自身が教育できなかった事を、その場所で教育してもらい助かった面もある。
- ・うるま市には学童クラブや保育たくさんあります。子どもが通っている学童では色々な体験をさせてくれます。外でたくさん遊ばせてくれます。県外で育った子どもは沖縄の学童楽しいと話を聞かせてくれます。

#### **【要望したいこと】**

#### **カテゴリー1：「学校」**

- ・子どもたちにもっと社会のことを学んでほしい、子どもたちが今の大切さをもっと知ってほしい。→このことを学校でもくわしく話してほしい。
- ・学校の給食が少ない。食べる時間も少なくて時間内に食べられない。と言っていたので改善してほしい。
- ・子供たちの居場所とか経済面も大事かもしれませんが、私は子供たちを学校に行かすのが怖く、子供たちには「学校に行け」など言えません。教師からのいじめなんてありえません。子供の一生が…。子供たちは外に出る事もなくなりました。
- ・学校が終わって、私が仕事から帰る間の時間が心配なので地域の学校で何かやってほしい。

今の小学校は、部活動について、時間を短縮したり、日数を減らしたりしるとすごく理解がないと思います。それなのに、行事等では積極的に使います。(会場設営や後片づけなど)。部活動を通して、地域に貢献したり、スポーツでストレス発散したり、良い事だらけです。



国や県、市ももっと積極的に部活動を支援すべきではないでしょうか？ スポーツは、体だけでなく心も鍛え、その子の人生を豊かにしてくれます。私はまだ28歳ですが、同い年の子の今を見ても、部活動に入っていた子とそうでない子。年収や生活レベルがまるで違います。もっと真剣に考えてほしいです。

・我々は、小さな島に住んでいて、近所に子供も少ないため児童館や図書館でも、遠く、すぐに歩いていける子供の場所はありません。我々は、自営で、自宅で仕事している為、家族いつも3人、幸せであります。でも学校内では、様々な家庭で、子供が傷ついている状況は、切実です。寂しさから、子供が妊娠するコトも多い。子供の性教育、人生を夢見るコト、どう社会が支えあっているのか勉強よりも、人として幸せに生きていくコトの教えをもっとすべきです。それは、親も変わる必要もあります。若い人の妊娠は、しっかりした教育が必要だと思います。

・不登校の子の居場所がない→個別対応の可能な学校などはほとんどが私立で費用のかかる場所ばかり！ 無償で提供できる居場所がない！義務教育のはずが、教育を受けられる権利を不登校の子は果たせていない！現状の学校教育は健常な子のための場所。不平等すぎる！

・子供が学校に行ったり、行かなかったりで引きこもりがちで悩んでいる。

・普段の小学校での勉強がむずかしいとうったえる事が多々あり、小学校の担任の先生一人ではなく、担任の先生を助ける助手がいたら、もっと子供達の勉強にも目が届くのではないかと思いました。(私は普段時間がある時1時間ほど子供のクラスを見学しに行っているのですが、その時に感じた感想です)。

・子供が不登校なので、うるま市にもフリースクールを作ってほしい。学校に行けず、家に居て将来が不安。

## **カテゴリー2：「学習」**

・学習支援の充実。

・学習塾などの支援があれば通わせたいです。家に帰ってきて、家事に追われ、まだ小さい子供もいる為、宿題のチェックが毎日できないので、子供に悪いと思うが、自分にも余裕が無く、そういう支援があれば助かります。

・私、個人的な思いですけど、学校の間・期末テスト前には、日数を増やしていただけたらありがたいなと思います。

・学習面の充実を求む(塾へ行かせられない)。

・中学受験をしたいという子どものために、学習支援をうるはしにお願いしたところ、心よくひきうけて下さり感謝しています。

・ロビー使ってる息子と娘は勉強をもうちょっと頑張れる様に見えます。

・塾に通わず事ができないので学習の場所の提供をお願いしたいです。

・好きな事をやる事で学校へも行くのだが勉強が2番目になり、机に向かう時間も進んでや



っているが内容（勉強している）で大丈夫なのか、学習面での不安が大きい。

- ・平日の夕方等、子供達が活用できる様、色々な企画（学習、スポーツ、教養等）があれば、もっと良いと思います。
- ・あまり読書が好きではないので、読書の時間（半強制）を作っても本を読む、読める環境を作っていただけたらありがたい。
- ・学童クラブでの学習の支援。←あると助かります。親が教えるとけんかになりがちなので。
- ・食育や、マナー、ルールなど、支援を望む。
- ・授業とかでついていけない子供に学習をみてるボランティアで見てくれたらな？と思う。中学からは反抗期で親のいうことにすごい反発して勉強が教えられないので…？
- ・読書に関心をもってもらうために学校とかで図書館を訪れる機会を作る。

### カテゴリー3：「場所・設備」

- ・地域に子供が集まれる場所すらなく家にこもりがちになる。近くに同級生がいるのかいないのかすら分からない。
- ・住んでいる地域には、遊具などもないので、あったら良いかと思う。近所の子供たちが、集まって遊ぶ様になると良い。
- ・もっと子どもたちが安心であそべる所、学習する場所があると助かる。一人親の私は、おそくまで仕事で、下校後どうすごしているか心配。
- ・学校が休みの時等は、公民館等も利用できればいいと思います。家の中で過す事が多く、特に夏場等暑い時季は、友達と遊びたくても暑い場所から（雨の時季も）隠れる所はないから（行き場がない）公民館だと、みんなが利用できるのも、いつでも（毎日）開いて、誰でも利用可能ならとても助かります。
- ・地域の公民館も開放して子ども達に利用させてもいいと思います。
- ・アンケートに答えましたが、ほとんどあてはまらないです。子供が行く場所でも図書館に○しましたが、その図書館は学校の図書館です。公民館にも○しましたが、行事がある時に行きます。知っている所に○しましたが、その場所はほとんどが近所にありません！！ 利用したくても利用できないのが現状です。せめて、公民館で2～3時間でも良いので、勉強など教えてくれる制度があれば良いです。
- ・近所に児童館等、子供が安心して遊ぶ場所がない。（阿波根・西原地区）。近所の子たちは、みんな、車の多い道のそばや、歩道で遊んでいる。もっと安心して遊ぶ公園、場所が必要と思う。
- ・学童支援をもっと充実させてほしい。子どもが楽しく、安心してあずけられるように。
- ・親としては児童館を利用して安全に学校帰りは館内で過ごしてほしいのですが、嫌な子がいるから行きたくないと言って、人があまりいないような公民館の空き地で時間をつぶしている事があります…両親が共働きで18時過ぎに帰宅しているのでいつも心配です。子どもが安全にいられる場所があるといいと思っています。

- ・児童館（センター）の設備（遊具等）がもう少し充実していると良い。
- ・県外のように、公園以外にも室内で遊べる施設（子供の城の様な、大きい児童館）をつくって欲しい。
- ・楽しんで学習できる施設があると良い（化学センターや水の博物館？等）。
- ・現在、学童クラブを利用しています。現在、通っている学童は、妹の保育園と同じ敷地にあり、本人も卒園児のため、そのまま同じ学童です。しかし、土よう日のあづかりは、月2回しかなく、平日もPm6：00以降は延長となり、別料金となっています。他の学童を見ても、土よう日の開園している時間が、9：00からやあづかり時間がPm4：00まで等、土よう日にフルタイムでのあづかりがある学童がなく困っている。学童も保育園と同じ様な時間であづかってほしい。（Am7：00～Pm7：00 長期休みや土よう日のみ等）。
- ・学校が休みの日に、子どもが遊びに行ける施設（児童館等）が近くにないため、なかなか利用することができない。近くにそういう場所ができて欲しい。
- ・今後学年が上がるにつれ学童以外でも放課後に過ごせる場所がないものか悩みのタネである。（学校から自宅が遠いので一人で帰宅することができない為）昔はスクールバスがあったと聞いたのでそのようなサービスがまた再開して頂けたらと願っている。
- ・たくさんの人達と関わる事で刺激を受け成長に繋がると思うので、児童館を増やしてほしいです。
- ・県外でトワイライトという制度を見外した事があるが、無料で学校が終わった後に預る制度があった。沖縄でもあるといい。
- ・学校活動の延長のような感じで、学校区に1ヵ所、だれでも利用できる様な場所が近くにあれば、良いと思います。
- ・地域未来塾の様な場所が土・日や祝日なども利用できたらいいと思う。
- ・屋ヶ名のグランドの公園を早くなおして頂きたいです！！！！子供達が遊ぶ場所がなく、近くの海に子供同士で行ったりするのもつながっていくと思います。幼稚園や小学校も遠足で行く場所なので、宜しくをお願いします。長い間こんな状態なのですごく困っています。子供たちの為に宜しくをお願いします！
- ・1人目の子の部活の無い日に、大人の目がある環境で過ごさせたい。放か後子ども教室は、定員があるので他にも選択肢が増えたらいいなと思います。
- ・※住んでいる場所に図書館はあるが、残念ながら他の市町村の図書館を利用している。理由として、他の市町村の図書館の方が、近代的で環境も良く雰囲気も良く、大人から子供まで利用しやすい。例としては恩納村にある恩納村文化情報センターです。
- ・もっと、子ども達がのびのびと過ごせる場所をつくってほしい。
- ・公園や子ども会の集まりを作ってほしい。
- ・高学年が集まる場所があれば良い（コミュニケーション豊富望）。
- ・子供達の為のおもいきり遊べる場所、うるま市、本当になさすぎる。公園ない！！ヤケナの公園ですら、こわれていてもそのまま、てつきよされていて何にもない！！本当に

腹が立つ。バカヤロー。書いても誰の心にもひびかないし、どうせ、役に立たないんだろうって本当に思う。沢山の人生をおわらせたい人の気持ちがわかる。役所なんて本当意味ないし。こんな、かなしくなるアンケート子供に書かせられないし。ききたくもない。がまんばかりさせている。いいかげんにしてよ。

・子どもが通っている伊波小学校の校区内に児童館ができてくれたら、学童に入ってなくても子ども同士で遊んだりできる場があって良いと思います。うるま市石川地域にもう1つ児童館をつくってほしいです。

・近隣に児童館がないため学童を利用しているが、学校の近くに児童館があれば利用することで学童の費用も浮き経済的にも助かります。同じ市内でも場所によっては利用できないので差を無くして欲しいです。

・現在利用している所が週3日なので4日ほどに増やしていただけるととても有難い。

・発達障がいの子を受け入れてくれる、学童がかぎられているので、子どもに合った学童を探すのが大変。児童デイなどは、両親働いている人には、おむかえの時間が短かったりする為、利用しづらいです。両親とも8時や9時頃から仕事し17:30~18:00にしか仕事が終らないため、児童デイは、利用できず、本人が苦しくなっていないか不安になる時があります。せめて、普通の学童さんが、発達障がいの子の受け入れが、増えてくれると助かります。

・平安座区では、小学二年生迄しか放課後子供教室が利用できないので、中学迄スポーツや勉強をみてもらいたいです。

・経済的に児童館に入れたかったが、事情によりとなりの校区の学校に入学したため、帰宅先が高額な学童クラブになっているので、児童館に入れなかった。児童館をもっと増やして欲しい。

・図書館が遠い。

・学校近くに児童館が無い。

・できれば中学を卒業するまで続けて利用させてもらいたい。

・子ども食堂があればいいと思うことがあります。

・自分の住んでいる地域の昔話をおじいさん、おばあさんから教えて頂く機会や場所があれば子供と一緒に行ってみたいです。

・近隣に地域未来塾がないように思います。あれば、利用したいです。

・仕事を終わって18時までに全員のおむかえをするので、あわてる。(3人の場所が異なる)。子供支援の時間帯を19時頃にしてもらえると助かる。保育園やほうかごDayサービスのほとんどが18時まで。

・子どもが遊ぶ場所(公園以外とかで)がもっとあると良い。

・児童館を充実すると良いかも。

・学童クラブの環境の改善(狭い所で活動しています)。

・安心して子供が過ごせて、楽しい場所がもっと、増えてほしい。

- ・今後いろんな場所が増えて欲しい。
- ・信号が無いのでつけてほしい。
- ・利用する場所がない。
- ・市の図書館でおこなわれる、さまざまな上映会をもっとふやしてほしい。

#### **カテゴリー5：「経済面」**

- ・スポーツでは不安はないのですが、学習塾に通わせるための金銭的に余裕がないので子供に学習支援（無料）がしてもらいたいです。
- ・三和地区において、学習支援を行ってくれるところがありません。受験に向けて、塾へ通わせたいのですが、とても高く支払いがきびしいです。徒歩圏内で通える塾があるとたすかります。
- ・とても感謝しているが月謝3500でも生活費からねん出するのがキツイ。
- ・図書館に無料でいけるようにしてほしい。
- ・地域で学習支援の場所がもっとふえてほしい。じゅくは高く、今の状況では通わせられない。子供には不便な思いをさせている。親に気をつかってるなど思うことがある。
- ・仕事を休むと給与が少なくなるなどの理由で子どもたちに、さみしい思いをさせているなどあらためて思いました。もっと経済的に良くなっていったらと思う。
- ・糸満市、子供の医りょう、義務教育中の子供への出費をなくしてほしいです。
- ・送迎があつて、無料だと利用しやすくなると思う。
- ・小・中学生が安く利用できる。学習塾をひらいてほしい。通わせたくても、経済的にきびしく結果将来への選択肢を広げてあげることがむずかしいような気がします。それでも、子供の将来を考え、その一つでもある高校受験のために、いろいろなものを我まんしたり、削ったりしてどーにか塾に通わせるのが現状です。
- ・県の取り組みとして、中学卒業まで医療費無償になるとありがたいです。
- ・部活動をやっているので地域の方へ参加していない。部活動にお金がかかりすぎる。
- ・※お金の必要な家が多いのに、本当に安定ができないと子供が毎日…毎日育たないと思う。子育ても子供のため大人老人たちもお金必要応じます。
- ・世の中はシングルマザーに風あたりが冷たいのを実感しています。元夫の子供への感心の無さ（発達害がい）、DV、諸々をかんがえ、先を見て（子供の成長）離婚をしました。子供は幸い成長していますが、金銭面はとても苦しいです。休みたいのに休めない。休むと生活がもっと苦しくなる…でも月の支払いはあたり前にやってくる…悩みはつきません。子供の前で口には出しませんが、このままどうなのか不安でたまりません。今は少しでも笑って暮せる様に頑張っていますが…。
- ・補助の出るアパートは、地域が決まっているので転校しなくても良く、引っ越しの手間（収入が減る、休むと）がなく、現在住んでいるアパートでも補助が出ればとても助かります。

・毎日の生活が不安で、子どもの将来の事を考えると進学やそれにかかるお金などで我慢やあきらめさせた方がいいのかな？など…安心して生活できるようにしてほしい。

・無料ぎわくが母子世帯で受けれて、友達がかよう塾に無料で行けたら良いなど強く思っています。

・学校費・給食費が手から出さなくてもいいようにしてもらいたいです。

・病院が無料になってほしいです。(カゼなどの病気も) 就学援助が中学生まででなく高校、大学、専門学校までも…かよってるしょうめいがあれば…援助してもらえたら…。子供にガマンさせなくてもいいのに…と、とても思います。

・経済的な理由から、学童を使用しなくなりました。現在、自宅に帰って、お家にてるすばんをさせています。

・就学支援金とても助かります。でも新年度も？支援して欲しいです。5、6、1回に2ヵ月分の支払い(給食費など)などで生活？子供が学校に必要な物など購入がむずかしいです。よろしくをお願いします。

・公立の復習型学習塾(公文のような)があればな…と思う。食事は家でできるが、学習塾が月謝が高いです…。

・無料学習塾をふやしてほしい。

・沖縄は、車社会です。車があっても生活保護をうけられる用になってほしいです。

・小・中・高・大学までの、学費免除、よろしく願いいたします！！

・子供が好きな事(やりたい事)を見つけ頑張っている事は、良かったが続けて行く事にかかる費用や、連絡として(ケイタイ)を持たず事に苦労している。

・バス通学をしている子供がいる為中学から補助対象にしてほしい。

・成長期で食べ盛りなので、お腹一杯食事をさせる為にいつも食費を考える。

・子供の教育、医療等、が無料になれば、他にお金をまわす事ができる。

・母子扶養も正直足りない。

・沖縄の生活水準が低すぎて給料が安すぎる。東京と同じ給料にしないと生活がきびしい！

・民かんのアパートを県などで借り上げて母子・父子家庭し安くで提供してほしい。

・利用料など出費が出い割に給料が安いので来年中にはまた！！転職せざるをえなくなるかも…。→とは言うものの、簡単なことではないので悩み中…。

・子ども手当が中学三年生で終了ではなく高校三年生、18才までにしてほしい。長男の時は「就学援助」という制度をよく知らず、1人親が受ける制度と思って申請しませんでした。次男の時にかんちがいしていた事に気づき申請して支援を受けています。低所得世帯なのでとてもたすかっています。ありがとうございます。でも一番お金がかかるのは高校からです。教科書代も支払わなければなりません。修学旅行もあります。大学受験には受験料がかかります。お金をためないといけません。給食がないので弁当作り、作れない時は弁当代をもたせてます。今、次男は支援を受けているので、今の所不自由なく生活できていますが高校から今受けている支援がなくなると、先が不安です。



毎月、健康保険料や年金などを支払うのに苦労しています。税金払う為に働いているのかな～？と思うことが多いです。将来展望が明るく思える生活がしたいです。

・中学では、塾に行かせられない(お金がかかる)ので、地域未来塾が多くあると1人親や、祖父母などと生活している子供達の未来が広がると思う。

・学童保育の免除を要望。

・ひとり親世帯の学童費の無料化を希望したい。(毎月の生活が苦しい)。

・学費無料(大学生・専門学校)。

・上の子二人が学童に入ってたけど、三人目が入学をして、学童をやめました。本当は、仕事上学童にいたかったけれど、割引ききいても二人分は高いし、三人いれたら、学童だけで3万。あきらめて、かぎっこにさせました。親一人なので、学童など、子供がふえる事に安くしてもらえたらいいです。

・小学校のPTA会費など徴収金が高くて払いきれない。子供に新しい服を買ってあげられないのがくやしい。

・やっぱり、医療費、食事費が、かかるので、支援あると嬉しいです。

・活動に参加させることで、経済的に苦しいでもあります。

・すべてにお金がかかりすぎ！！無償じゃなければ、支援とは言えない。いきなりの出費が怖くて、参加できなかつたり、出費代が出せなくて、断念させなければならなかつたり、余計惨めな思いするのなら無い方がいいと思う事もある。

・経済的にゆゆうがあれば子ども達をもっと、いい学校でいけるのにと毎日罪悪感ばかり。

・お金はしかたないのかもしれないとあきらめている。

・仕事を休むことで、生活費に影響をあたえる為、病気(熱など)のあずかりをお願いしたい。

#### **カテゴリー7:「その他」**

・片親でさみしい思いや行事の参加ができないなどいろいろある。

・中学生も利用する場所で半数程、いじめられたと言って帰って来るのでその改善だけしてもらえればなと思います。

・子供が学校でこのアンケートを渡された時クラスで3人だったと。娘は「何かしたかな??」と不安な気持ちを話しました。全体でのアンケートでなければ自宅へ郵送をしてもらった方が子供に不信感を与えなくてすむので、その点をこうりよしてほしいと今回想いました。

・こんなにたくさんの支援場所があるけど、現実的には、利用しにくい。子供は、支援受けていることを恥じる年齢、居場所があっても、実際、どんなことをしてるのか?メリットが分からず、利用しづらい。ちゃんと、安心して相談できる人(相談員が)いない。名だけの支援はいらない。もっと、支援者のことを理解してくれる。お役所人を育ててほしい。役所仕事しかない人が多い。

・アンケートがよく分かりません。利用する前と今と変わりません。友達と待ち合わせで使っているだけなので。分からないので（アンケート内容が）全て④にしました。ほとんど、家か周辺であそびます。

・場所を利用して良かったと思う事はないです。逆に行かせなきゃ良かったと思ったりもします。もっと学童の先生達を教育しなおした方がいいと思います。子供達に対する、態度、言葉使い、教育の仕方など等、おやつも、もう少し工夫してほしかった。おやつにおにぎりはないでしょと思った。子供がケガをしても対応が悪かった。

・今回、子供達と一緒にアンケート回答をしましたが（※2人目は支援学校に在籍で自分での回答は難しく私が質問して代筆する形式で回答しました）。小学校高学年～中学生なら家庭以外の場所でも実施できる内容だと思いました。家庭でのアンケートだと正直に答えにくい回答もあると思うのでアンケート方法を熟考してほしいと思います。

・どの親も思うことだと考えるのですが、子供の視野を広げるような体験、ふれ合いなどを、学校と地域で連携して、実践してほしいです。希望者ではなく、全員参加をいくつか計画してほしいのです。そして、お世話をして下さる方も行政で守って頂きたいです。「お互いに良いこと」が大切だと思います。「一方だけに良いこと」の時代は、もう古いと思います！

・未就学の時は子供の事での支援は、てあつく、いつでもすぐに悩みなど話せてたけど小学校に上がってからは、ぐ～んとへり、かかわる人達とすごく距離を感じて、相談しにくくなった。

・質問の意味がよく分からなかった。くわしく、書いてほしかった。放課後、勉強を教えている所なんてありますか？　そういう情報は、全然分かりません。

・発達障害についての理解を深めてほしい。

・ただ1度だけなので分からない。

・利用した事がないのでわからない。

・小さいお子さんのお母さん方は保育園の利用者の人たちは、保育園のあきがないときもあるのでそれを利用する人たちにえんじょしてください。

・音楽活動、スポレク、趣々いろいろ。

・もっと保育園に入りやすかったら助かります。働いていないと入りにくい…。保育園にいけないと、働けない…。どうしていいかわからない。

・友達関係も気になる。

・地域の行事や、情報などが、今だに紙媒体。ムダだし、周知に時間がかかるし、紛失（子どもが）もあるので、データ・SNSで発信したらいいのと思う。行政はずばらしい働きをしているのに、それを発信していないので分からない。どんどん発信して地域をまきこんでほしい。

・児童館もただ、友達と行くだけで、（たま～に、年に2～3回らしいです。）そんなに利用してませんので利用する前・後のが書く意味ないかな～と思います。

・祖父母たちとのかかわりを多くしてほしい。 ※公民館は、市町長（くせがある人のため）



だけではなくもっといろんな人達がいても（働いて）いいと思う…。地域を大事にしたいと思うなら…。

・人・物を大切にすることを、色々な場で教えたい。使える物も簡単に捨てたり、大事に使うことが出来ない子が多い。大人も考えていけないといけない。公害につながる事をしている人が増えている。 ※リサイクルの場をもっと増やしてほしいです。

・1人親世帯へのあずかりなどをもっと知りやすくしてほしい。

・子供が自主的に行くことがないのであてはまりません。

・1. いろんな体験をして自分で考えて、自品を持って行動出来るようになってほしい。

2. 自分で生きる力を身につけていってほしい。 3. 自分で出来ることを増やしていってほしい。

・子どもたちには、願っている事を叶えてあげたい。やりたい事は体験させてあげたい。親心ではそう感じますが、それでも叶わない事、出来ない事のたびにどう楽しませようかと工夫して楽しんでいます！！

・利用した事がないのでわからない。

・図書館を5年前位に利用していたが、子供が行きたいと言わなくなり、4年位利用していない。今は中学の子が、友達とテスト前にゆらてくを利用しているが、どういう所か私には全く分からない。

## 第2節 子どもに関する分析

### 1. 回答者の属性

#### 1) 基本情報

##### 【子ども】性別

問 15. あなたの性別についてあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

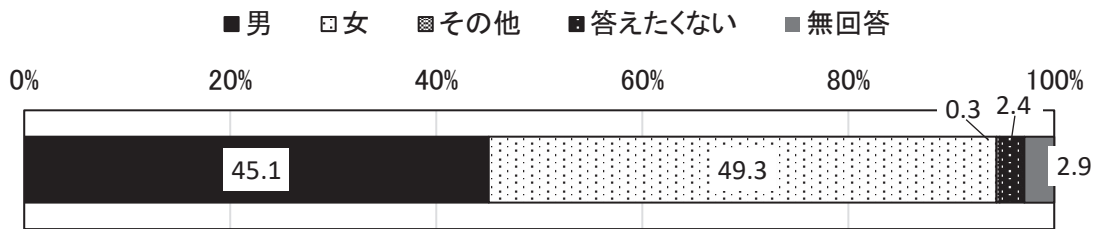


図 154 性別

回答者の有効サンプルは 783 名である。回答者の性別は、女性が 49.3%でもっとも割合が高く、次いで男性が 45.1%となっている。

##### 【子ども】学年

問 16. あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

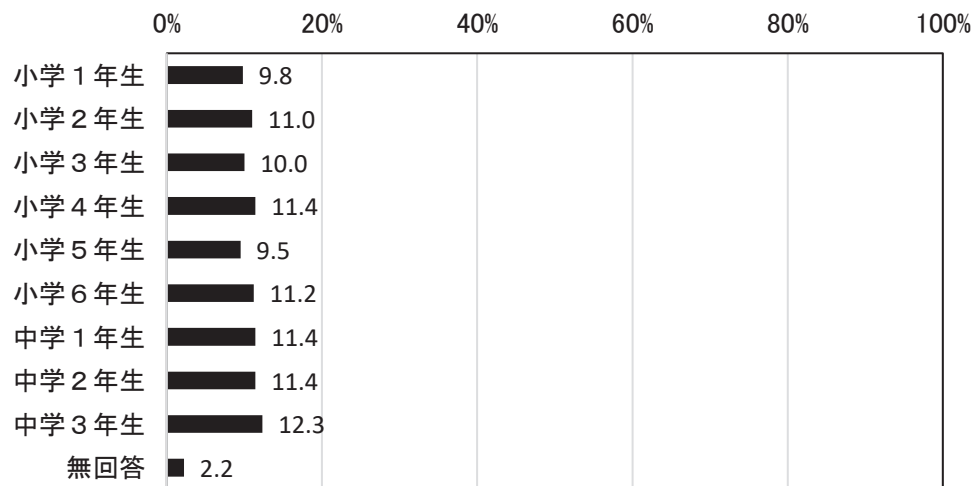


図 155 学年

回答者の学年は、「中学3年生」が 12.3%でもっとも割合が高く、次いで「小学4年生」、「中学1年生」、「中学2年生」が 11.4%となっている。

### 【子ども】家族構成

問 17. いっしょに暮している保護者の方について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

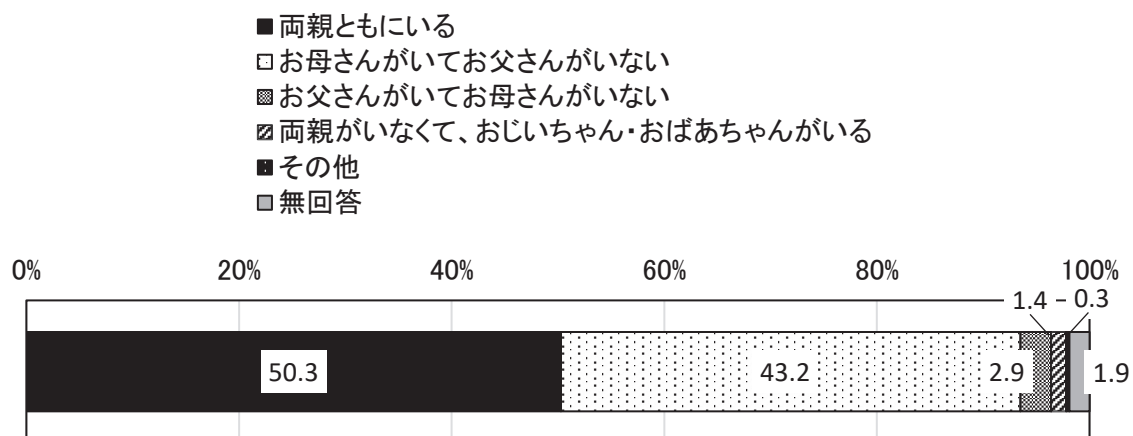


図 156 家族構成

回答者の家族構成は、「両親ともにいる」が 50.3%でもっとも割合が高く、次いで「お母さんがいてお父さんがいない」が 43.2%となっている。

【子ども】ふだんの放課後過ごす場所

問 18. あなたはふだん（月～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

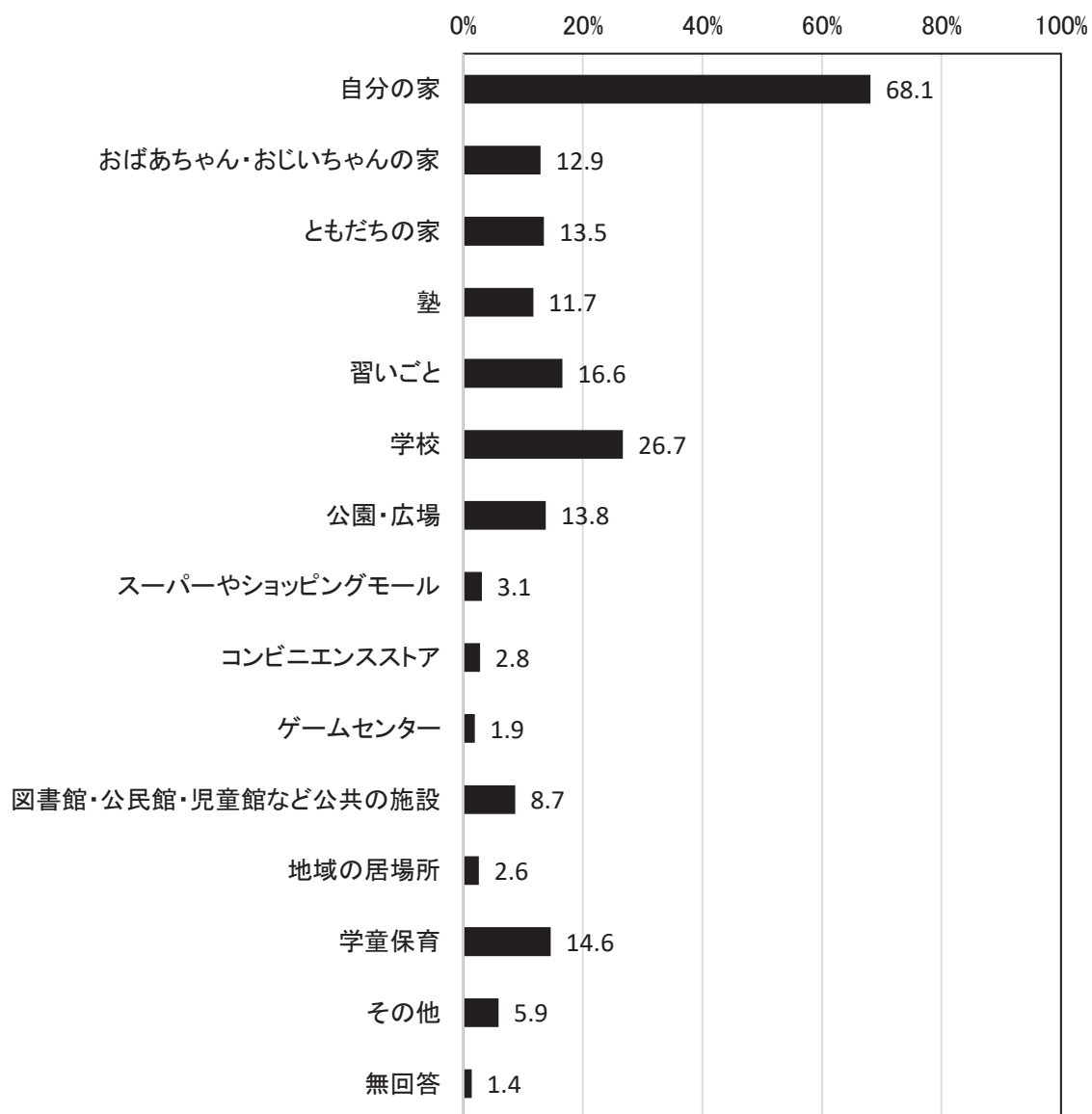


図 157 ふだんの放課後過ごす場所

回答者がふだんの放課後過ごす場所を見ると、「自分の家」が 68.1%でもっとも割合が高く、次いで「学校」が 26.7%、「習いごと」が 16.6%となっている。

## 2) 経済状況

### 【子ども】持っているものや使うことができるもの

問 14. あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。  
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

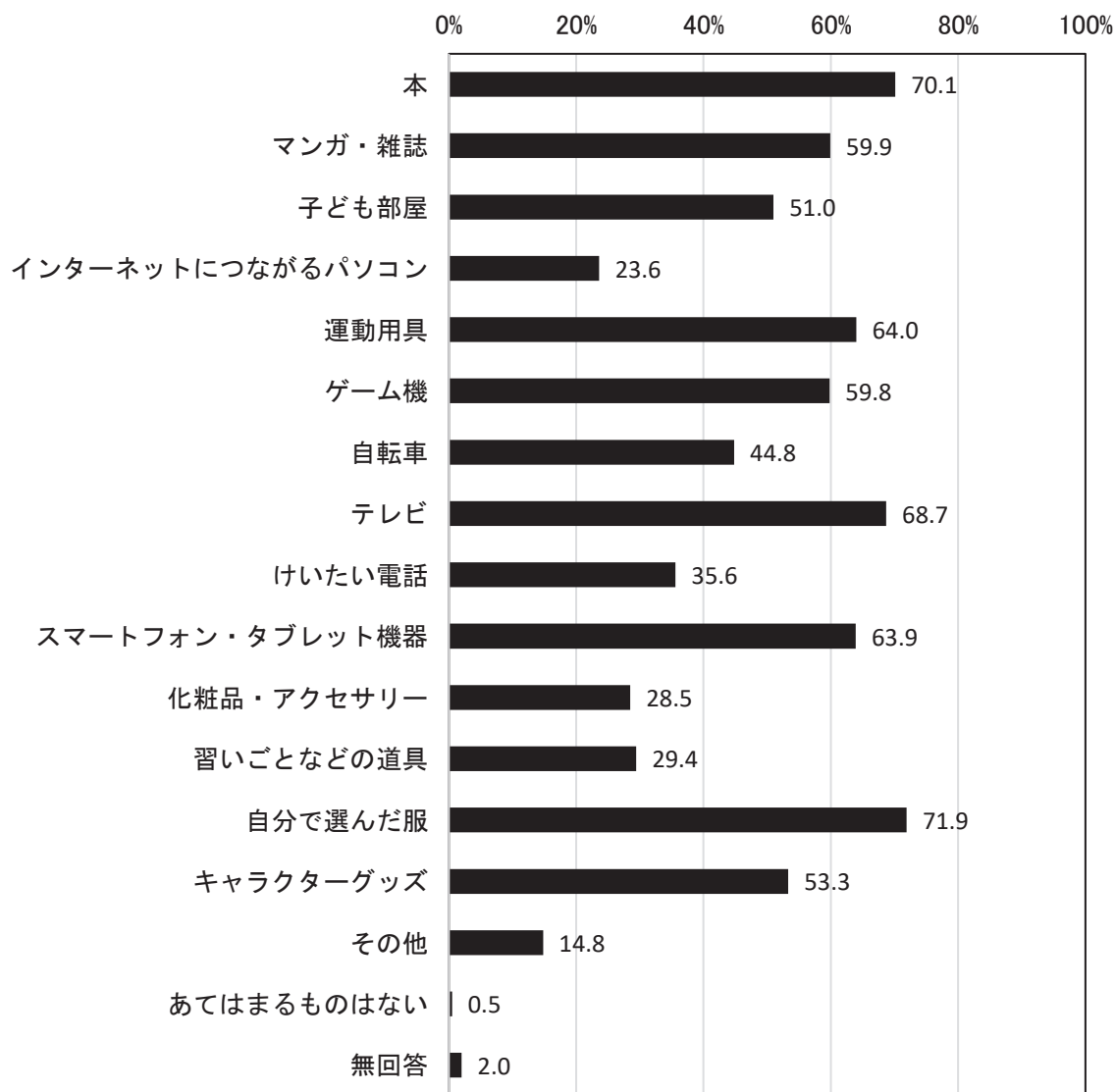


図 158 持っているものや使うことができるもの

回答者の経済状況として持っているものや使うことができるものを見ると、「自分で選んだ服」が71.9%でもっとも割合が高く、次いで「本」が70.1%、「テレビ」が68.7%となっている。また、「あてはまるものはない」が0.5%でもっとも回答割合が低くなっている。

## 2. 単純集計から見た分析結果

### 1) 社会資源の利用状況（問 1-1～問 3）

#### 【子ども】社会資源の認知度

問 1-1-A. 表 1 のそれぞれの場所を知っていますか。「知らない」もしくは「知っている」のどちらかに○をつけてください。

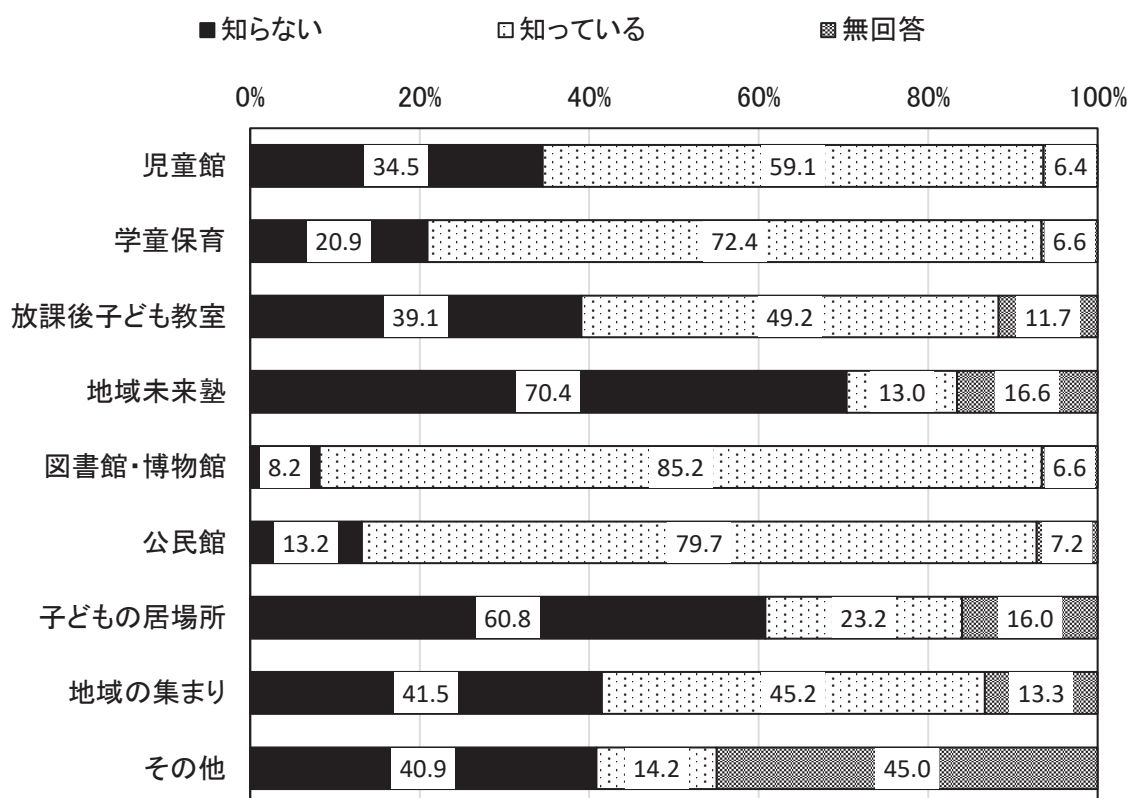


図 159 社会資源の認知度

社会資源の認知度を見ると、回答者が「知っている」と答えた割合が高い社会資源は「図書館・博物館」が 85.2% ともっとも高く、次いで「公民館」が 79.7%、「学童保育」が 72.4%、「児童館」が 59.1% となっている。一方「知らない」と答えた割合が高い社会資源は「地域未来塾」が 70.4% ともっとも高く<sup>3</sup>、次いで「子どもの居場所」が 60.8%、「地域の集まり」が 41.5% となっている。

<sup>3</sup> 「地域未来塾」は中学校でのみ開設され、中学生が対象となる社会資源であるため、小学生の認知度が低いことが考えられる。

### 【子ども】社会資源の利用状況

問 1-1-B. また、知っているとした場合、その場所に行ったことがあれば、右側の表に○をつけてください。

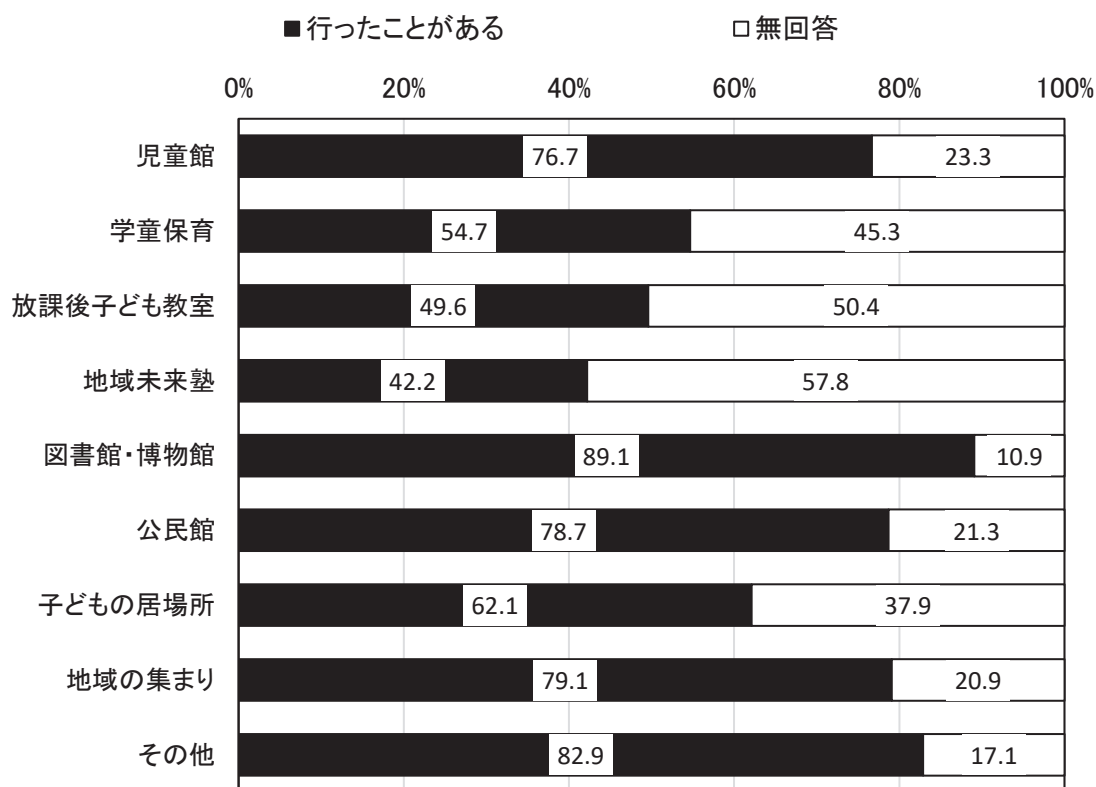


図 160 社会資源の利用状況

回答者が利用したことがある社会資源を見ると、「図書館・博物館」が 89.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「その他」が 82.9%、「地域の集まり」が 79.1%、「公民館」が 78.7%となっている。



### 【子ども】行ったことがある社会資源の数

問 1-1-C. その下にいったことがある場所の○の数も書いてください。

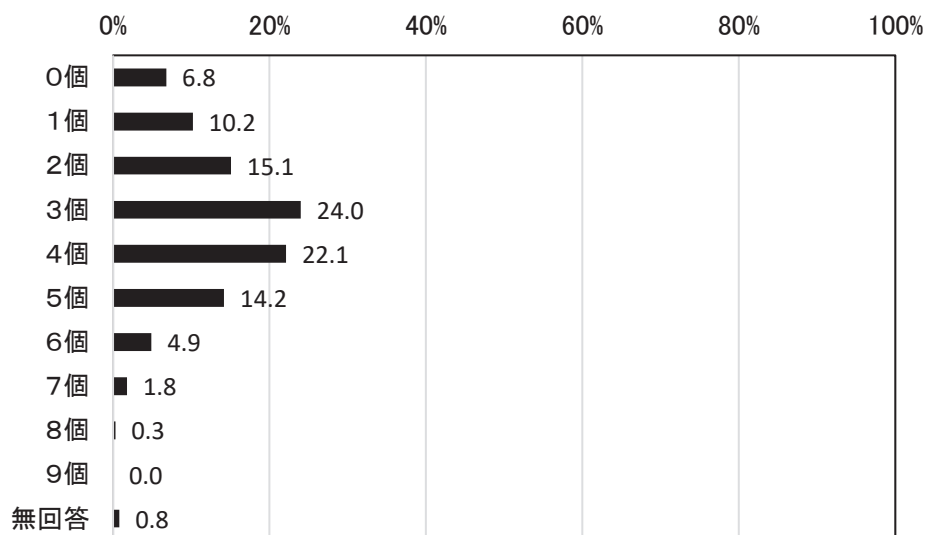


図 161 行ったことがある社会資源の数

※子ども調査票では、行ったことがある社会資源につけてもらった○の個数を聞いているため、グラフでは○ヶ所ではなく○個と表記している。

回答者が行ったことがある社会資源の数を見ると、「3ヶ所」が24.0%でもっとも回答割合が高く、次いで「4ヶ所」が22.1%、「2ヶ所」が15.1%となっている。

### 【子ども】知っているが利用しない理由

問 1-2. 問 1-1 で場所を「知っている」に○をつけたが、「行ったことがある」に○をつけなかった場合は、その理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

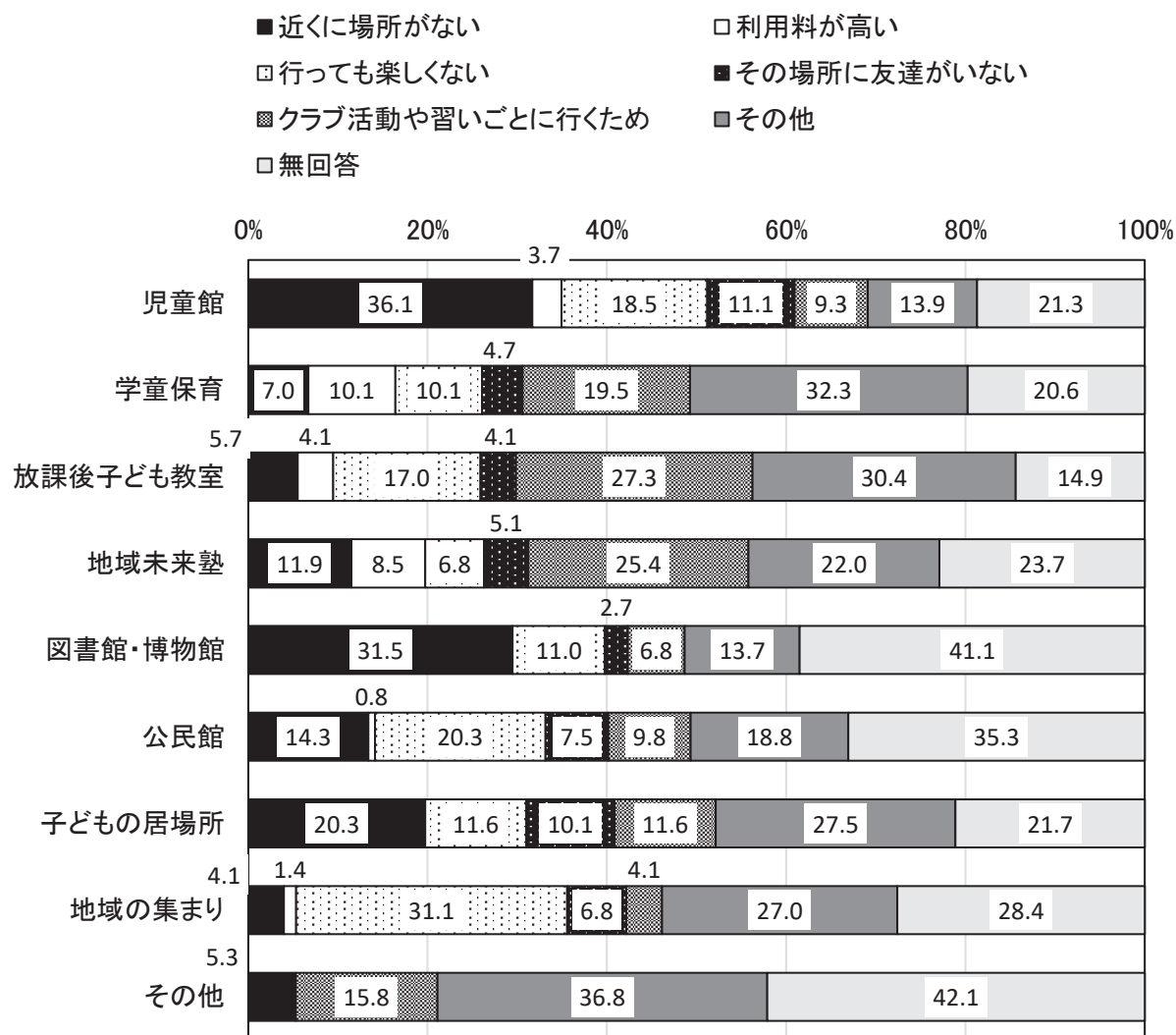


図 162 知っているが利用しない理由

回答者が社会資源を知っているが利用しない理由を社会資源別に見ると、「児童館」では「近くに場所がない」が36.1%でもっとも回答割合が高く、「学童保育」では「その他」が32.3%、「放課後子ども教室」では「その他」が30.4%、「地域未来塾」では「クラブ活動や習いごとに行くため」が25.4%、「図書館・博物館」では「近くに場所がない」が31.5%、「公民館」では「行っても楽しくない」が20.3%、「子どもの居場所」では「その他」が27.5%、「地域の集まり」では「行っても楽しくない」が31.1%で、それぞれもっとも回答割合が高くなっている。

### 【子ども】1番よく行く場所

問 2-1. 表 1 の中であなたの 1 番よく行く場所の番号を書いてください。

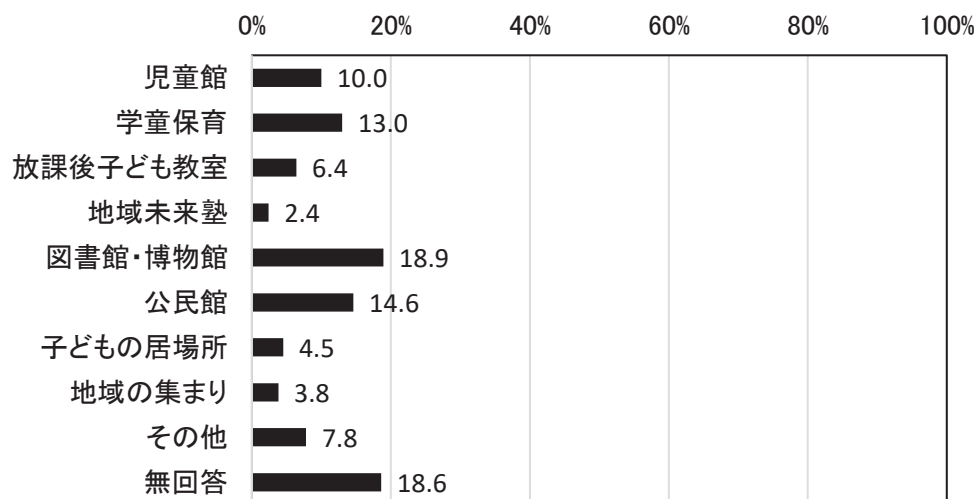


図 163 1 番よく行く場所

回答者が普段 1 番よく行く社会資源を見ると、「図書館・博物館」が 18.9%でもっとも回答割合が高く、次いで「公民館」が 14.6%、「学童保育」が 13.0%となっている。

### 【子ども】1番よく行く場所に行き始めた時期

問2-2. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に、いつから行っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

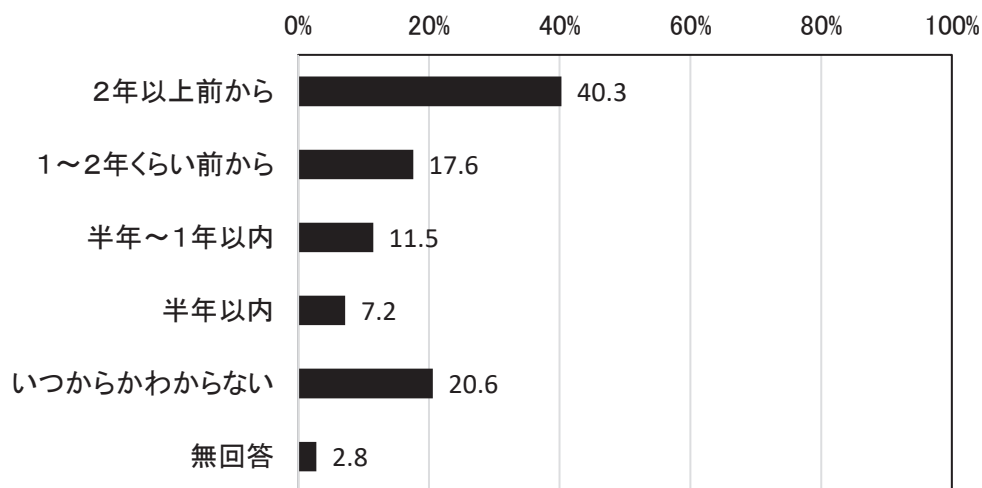


図 164 1番よく行く場所に行き始めた時期

回答者が普段1番よく行く場所に行き始めた時期を見ると、「2年以上前から」が40.3%でもっとも回答割合が高く、次いで「いつからかわからない」が20.6%、「1～2年くらい前から」が17.6%となっている。

### 【子ども】1番よく行く場所の利用頻度

問2-3. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所にどのくらい行っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

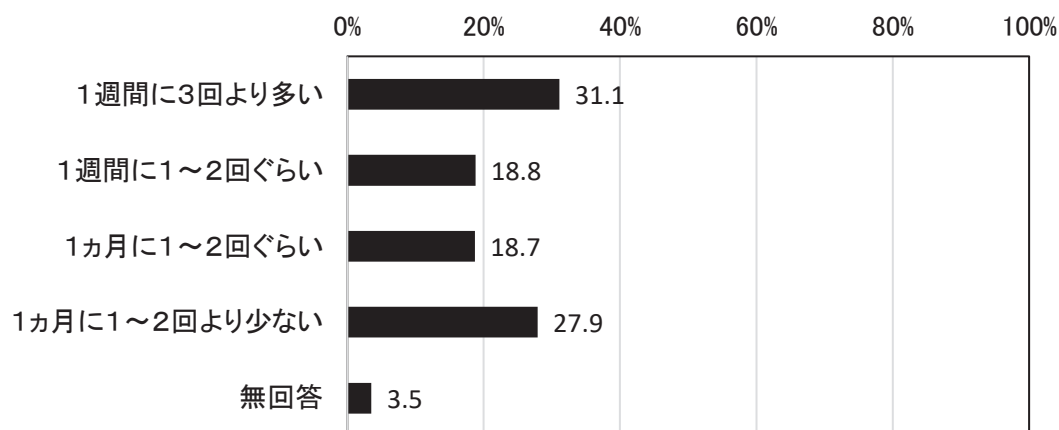


図 165 1番よく行く場所の利用頻度

回答者が1番よく行く場所の利用頻度を見ると、「1週間に3回より多い」が31.1%でもっとも回答割合が高く、次いで「1カ月に1~2回より少ない」が27.9%、「1週間に1~2回ぐらい」が18.8%、「1カ月に1~2回ぐらい」が18.7%となっている。

### 【子ども】1番よく行く場所に来てからの交友関係

問2-4. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に来てから、新しい友達ことができましたか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

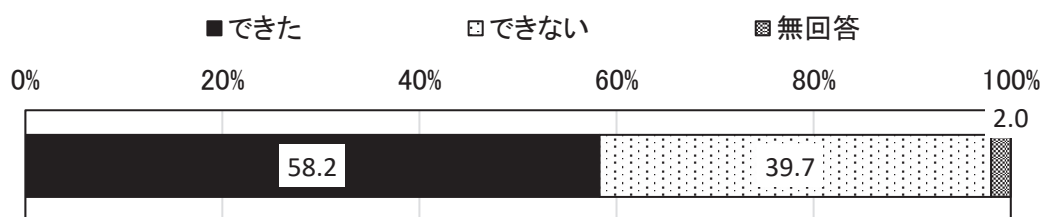


図 166 1番よく行く場所に来てからの交友関係

回答者の1番よく行く場所に来てからの交友関係を見ると、新しい友達が「できた」と回答した割合が58.2%、「できない」が39.7%で、新しい友達ができなかった割合より高くなっている。

### 【子ども】 1番よく行く場所に行く理由

問 2-5. 問 2-1 で「1番よく行く場所」と答えた場所に行く理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

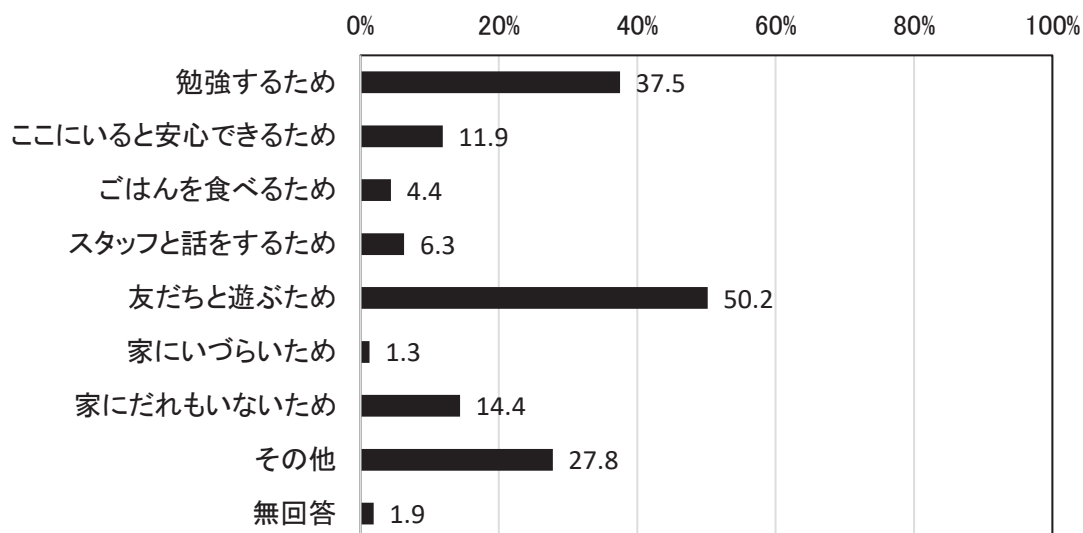


図 167 1番よく行く場所に行く理由

回答者が1番よく行く場所に行く理由を見ると、「友だちと遊ぶため」が50.2%でもっとも回答割合が高く、次いで「勉強するため」が37.5%、「その他」が27.8%となっている。

【子ども】 1番よく行く場所に行ったら良かったと思うか

問3. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に行ったら良かったと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

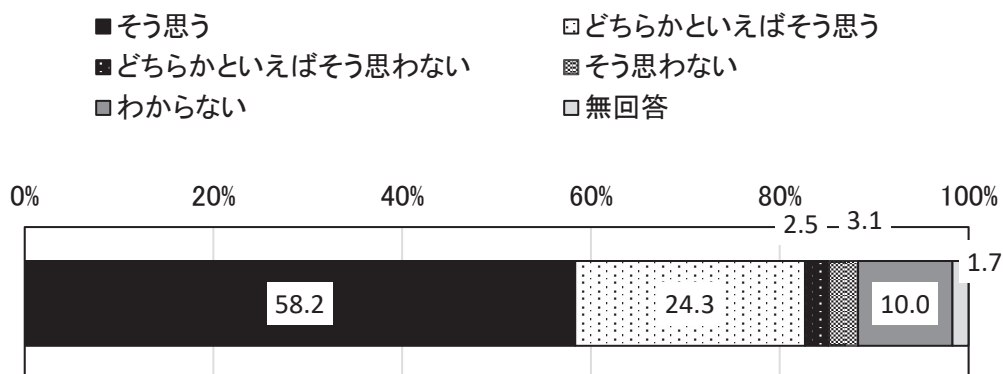


図 168 1番よく行く場所に行ったら良かったと思うか

回答者が1番よく行く場所に行ったら良かったと思うかを見ると、「そう思う」が58.2%で最も回答割合が高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.3%、「わからない」が10.0%となっている。



2) 社会資源利用前後の生活状況の変化 (問 4、問 5、問 10)

【子ども】 学校への登校頻度

問 4. あなたは、週（月～金曜日）にどのくらい学校に登校しますか。（＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

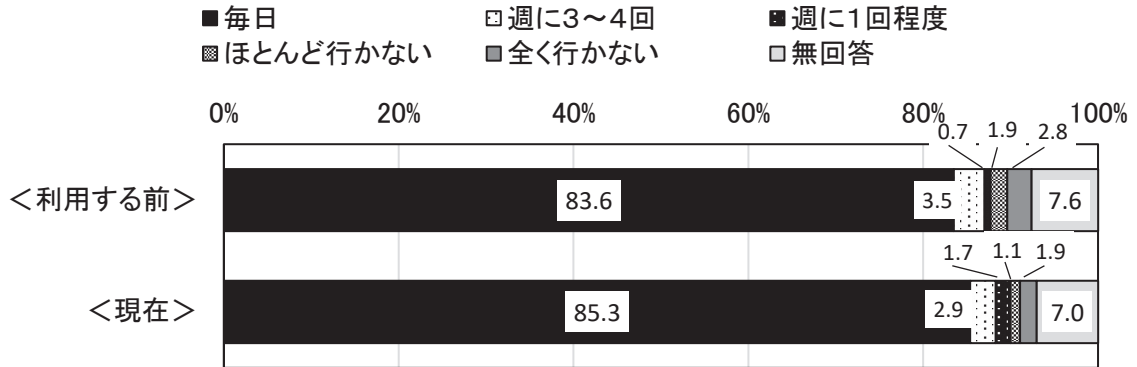


図 169 学校への登校頻度

回答者の社会資源利用前後の学校への登校頻度を見ると、学校に「毎日」登校する割合が利用する前の 83.6%から利用後（現在）は 85.3%へとやや増加している。

### 【子ども】学校への遅刻の頻度

問 5. あなたは、週（月～金曜日）にどのくらい学校に遅刻することがありますか。（＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

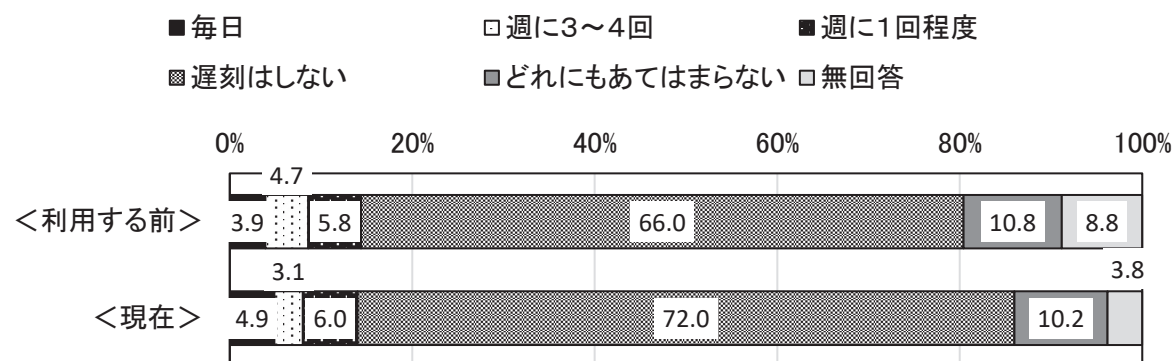


図 170 学校への遅刻の頻度

回答者の社会資源利用前後の学校への遅刻の頻度を見ると、学校に「遅刻はしない」割合が利用する前の66.0%から利用後（現在）は72.0%へと増加している。

【子ども】子どもの状況

問 10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。（＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

① 同じ時刻に起きる

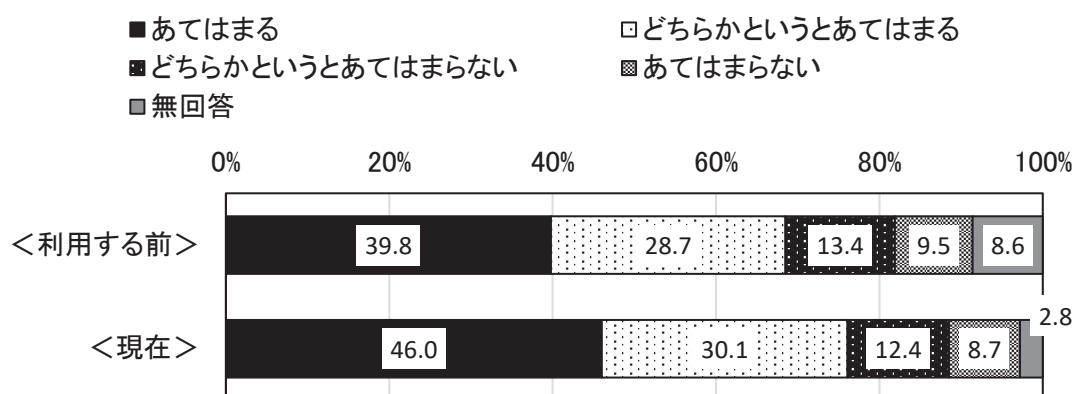


図 171 問 10-① 同じ時刻に起きる

社会資源の利用前後で回答者が「同じ時刻に起きる」かどうかの変化を見ると、「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合が利用する前の 68.5%から利用後（現在）は 76.1%へと増加している。

② 朝食を食べる

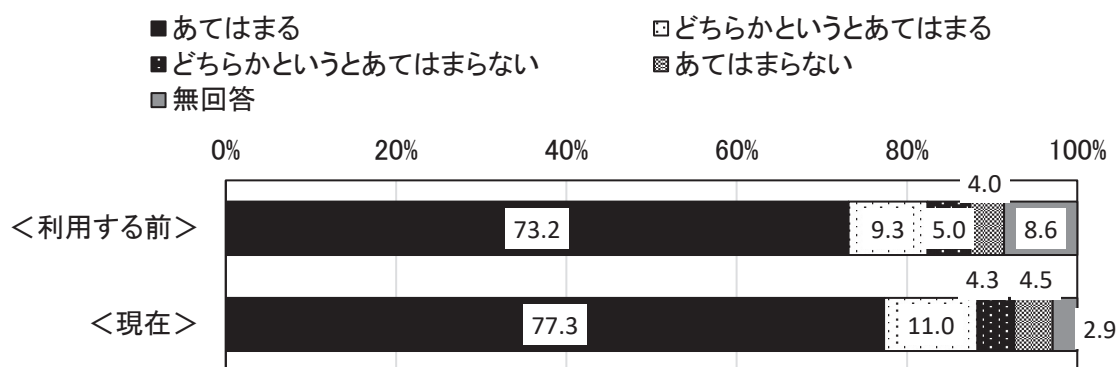


図 172 問 10-② 朝食を食べる

社会資源の利用前後で回答者が「朝食を食べる」かどうかの変化を見ると、「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合が利用する前の 82.5%から利用後（現在）は 88.3%へと増加している。

③ 健康状態がよい

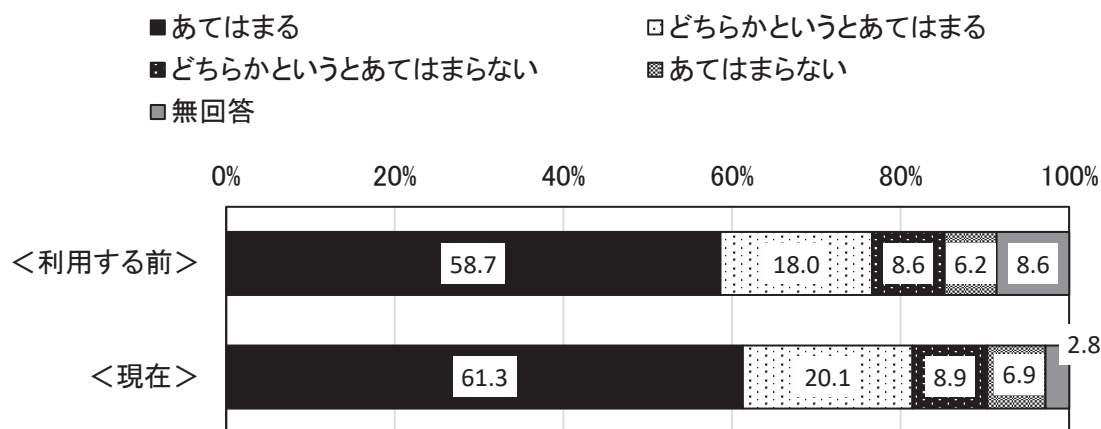


図 173 問 10-③ 健康状態がよい

社会資源の利用前後で回答者が「健康状態がよい」かどうかの変化を見ると、「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合が利用する前の 76.7%から利用後（現在）は 81.4%へと増加している。

④ いままでの人生で、心から感動したことがある

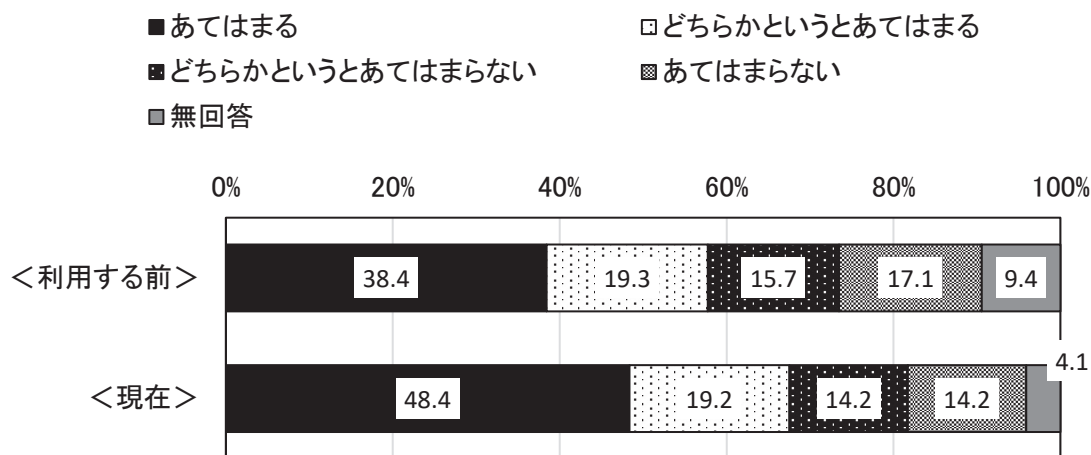


図 174 問 10-④ いままでの人生で、心から感動したことがある

社会資源の利用前後で回答者が「いままでの人生で、心から感動したことがある」かどうかの変化を見ると、「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合が利用する前の 57.7%から利用後（現在）は 67.6%へと増加している。

⑤夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある

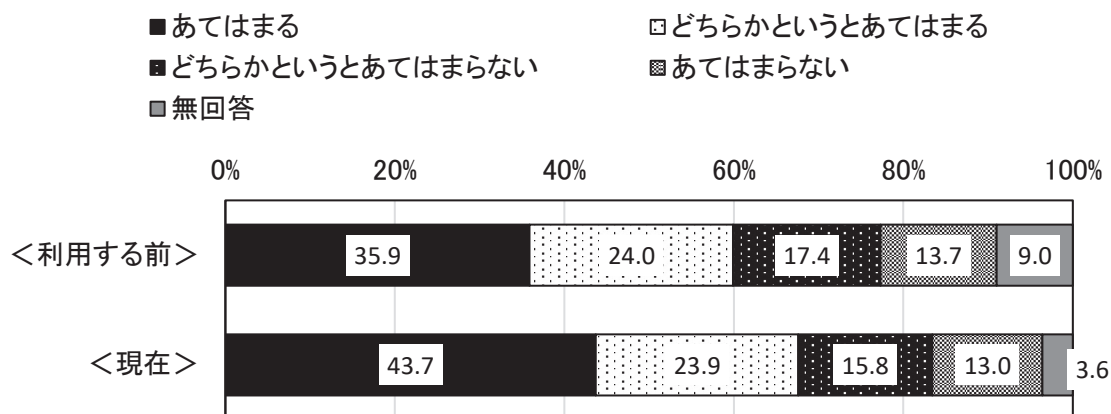


図 175 問 10-⑤ 夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある

社会資源の利用前後で回答者が「夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある」かどうかの変化を見ると、「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合が利用する前の 59.9%から利用後（現在）は 67.6%へと増加している。

⑥小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする

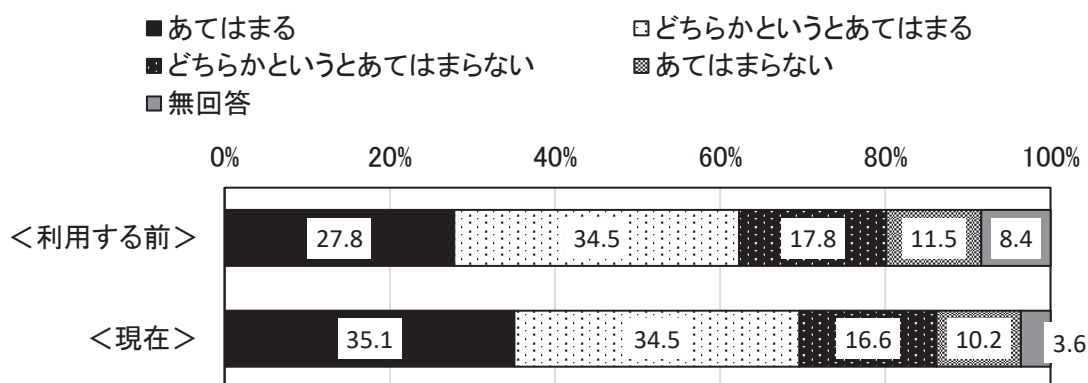


図 176 問 10-⑥ 小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする

社会資源の利用前後で回答者が「小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする」かどうかの変化を見ると、「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合が利用する前の 62.3%から利用後（現在）は 69.6%へと増加している。

⑦お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

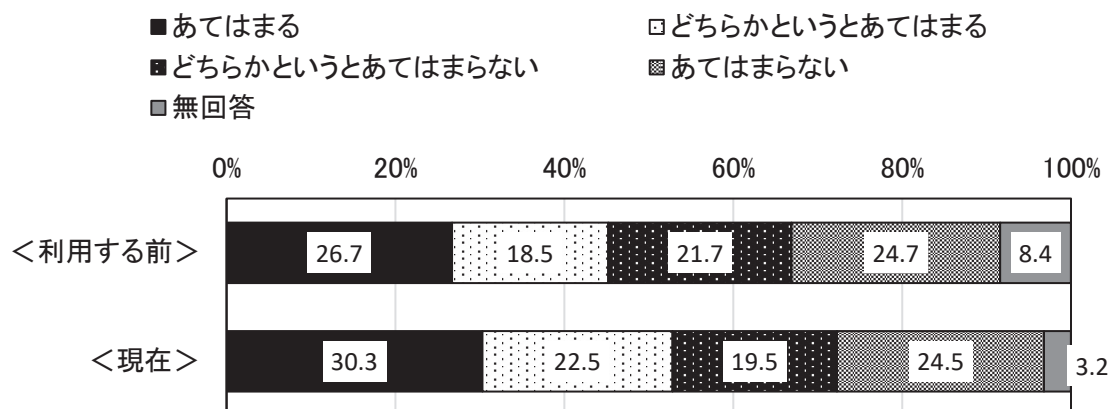


図 177 問 10-⑦ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する

社会資源の利用前後で回答者が「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する」かどうかの変化を見ると、「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合が利用する前の 45.2%から利用後（現在）は 52.8%へと増加している。

3) 社会資源利用前後の教育に関する項目の変化（問 6～問 8、問 13）

【子ども】学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間

問 6. あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業時間以外にも1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などの時間も含まれます。）（＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

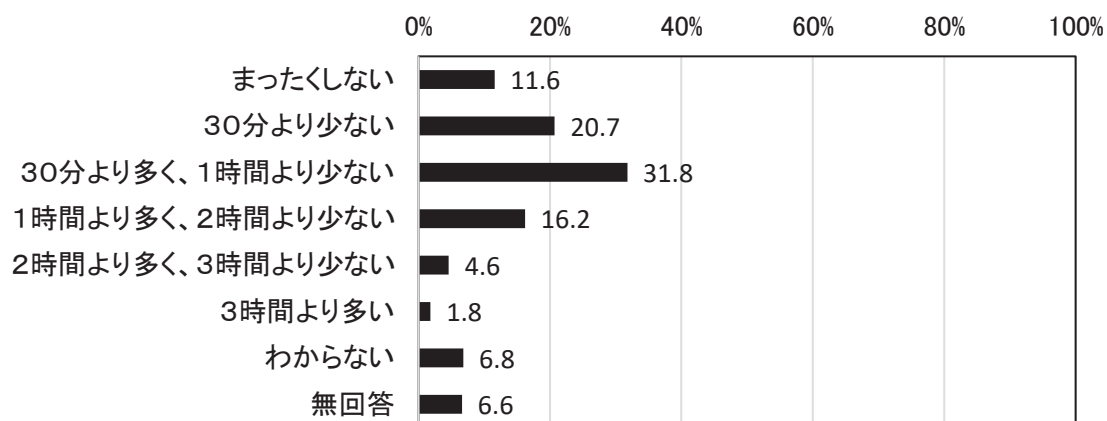


図 178 学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間 <利用する前>

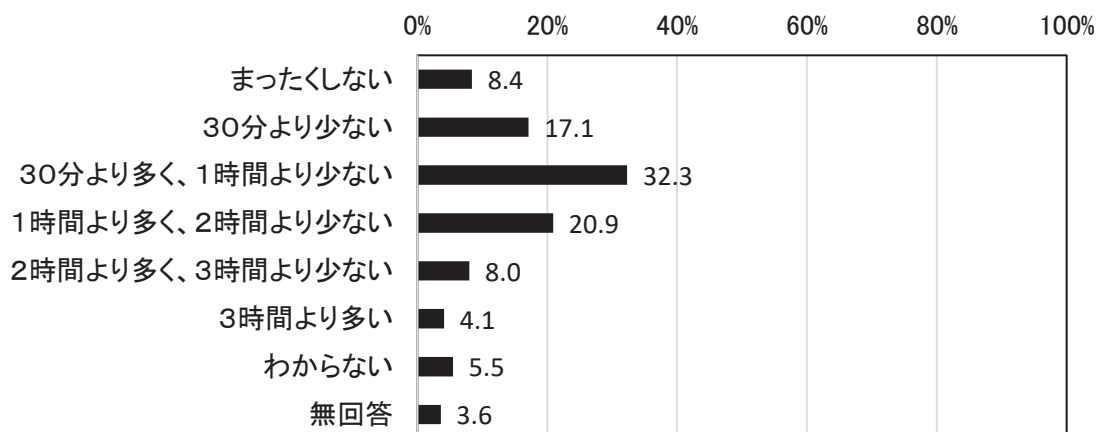


図 179 学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間 <現在>

社会資源の利用前後で回答者の学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間の変化を見ると、利用前、利用後（現在）ともに「30分より多く、1時間より少ない」の回答割合がもっとも高く、利用前の31.8%から利用後（現在）は32.3%へとやや増加している。



**【子ども】学校の勉強についての気持ち**

問 7. 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。（＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

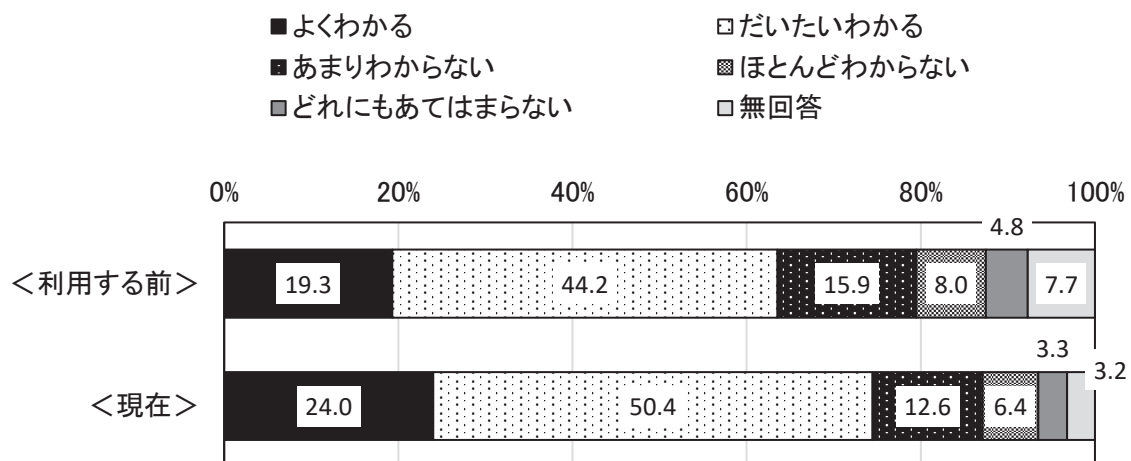


図 180 学校の勉強についての気持ち

社会資源の利用前後で回答者の学校の勉強についての気持ちの変化を見ると、「よくわかる」及び「だいたいわかる」の割合が利用する前の 63.5%から利用後（現在）は 74.4%へと増加している。

**【子ども】学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間**

問 8. あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)(＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

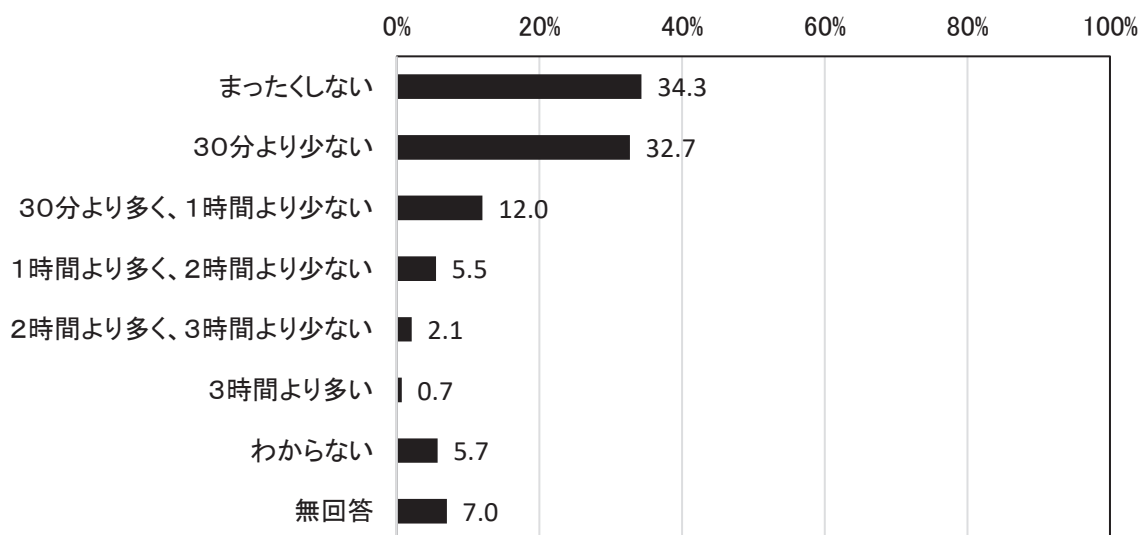


図 181 学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間 <利用する前>

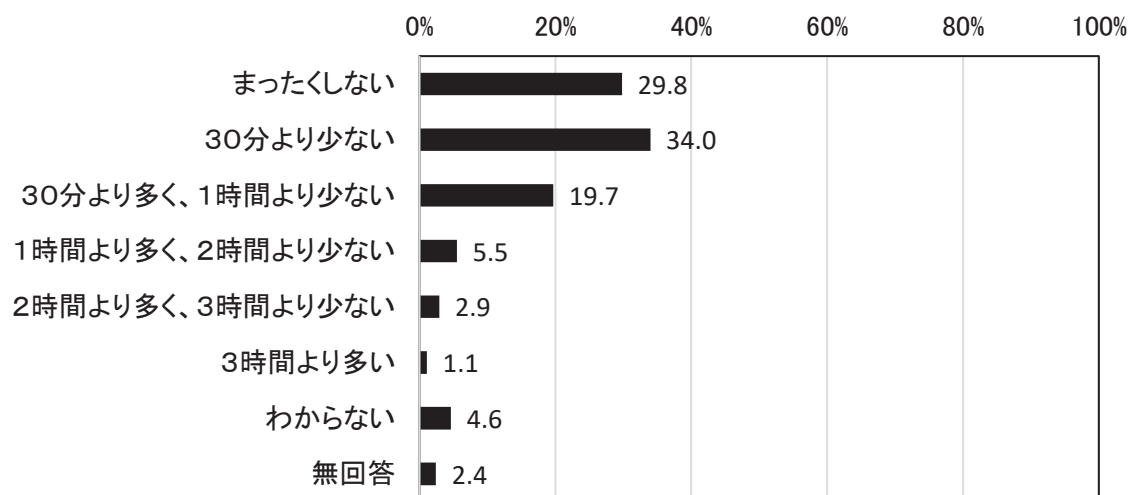


図 182 学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間 <現在>

社会資源の利用前後で回答者の学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間の変化を見ると、読書を「まったくしない」割合が利用前の34.3%から利用後(現在)は29.8%へと減少している。

## 【子ども】進路観

問 13. あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

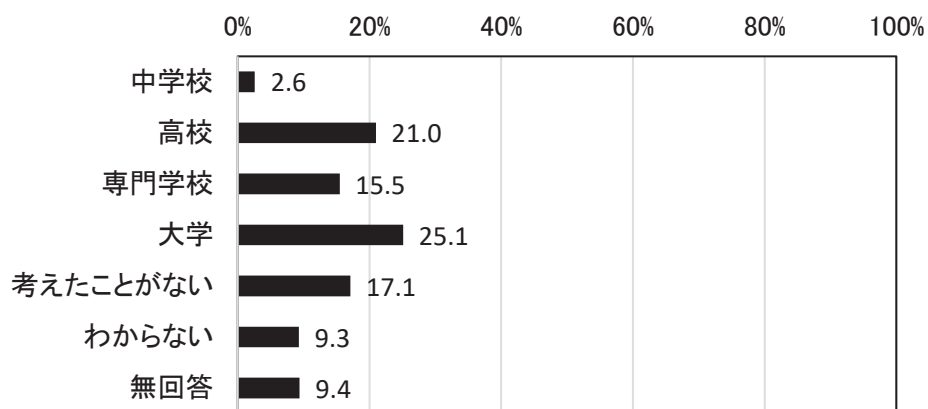


図 183 進路観 <利用する前>

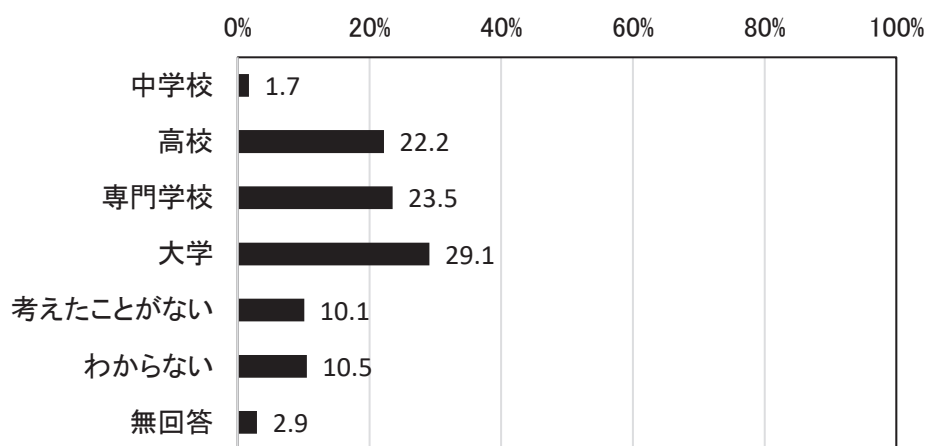


図 184 進路観 <現在>

社会資源の利用前後で回答者の進路観の変化を見ると、希望する進路のうち「大学」が利用前の 25.1%から利用後（現在）は 29.1%へと、「専門学校」が利用前の 15.5%から利用後（現在）は 23.5%へと増加している。

4) 社会資源利用前後の社会的環境の変化 (問 9、問 11)

【子ども】 ふだんの放課後過ごす人

問 9. あなたは、ふだん (月～金曜日) の放課後、だれと過ごしますか。(＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

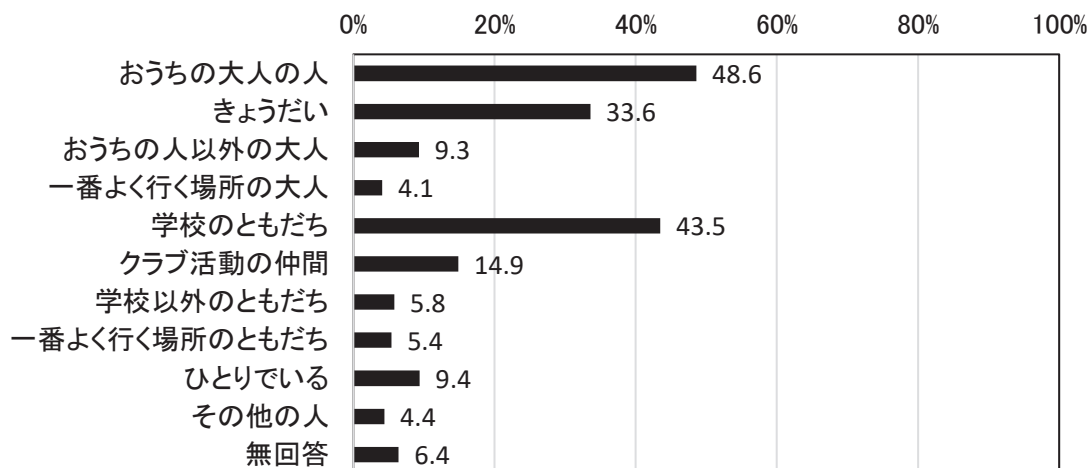


図 185 ふだんの放課後過ごす人 <利用する前>

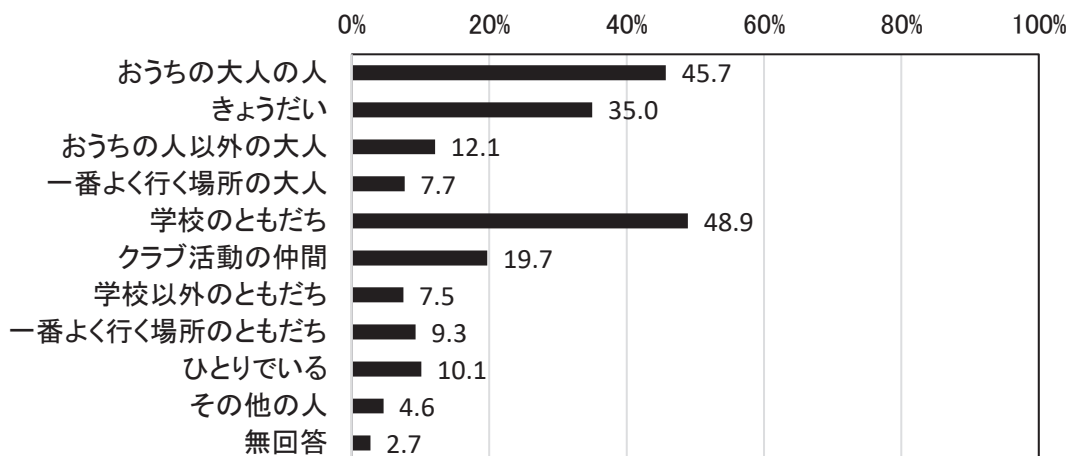


図 186 ふだんの放課後過ごす人 <現在>

社会資源の利用前後で回答者がふだんの放課後過ごす人の変化を見ると、「おうちの大人の人」が利用前の 48.6%から利用後（現在）は 45.7%へと減少しているが、「学校のともだち」は利用前の 43.5%から利用後（現在）は 48.9%へと増加している。

【子ども】周りの人々のサポート環境

問 11. あなたは①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(①～④について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる人

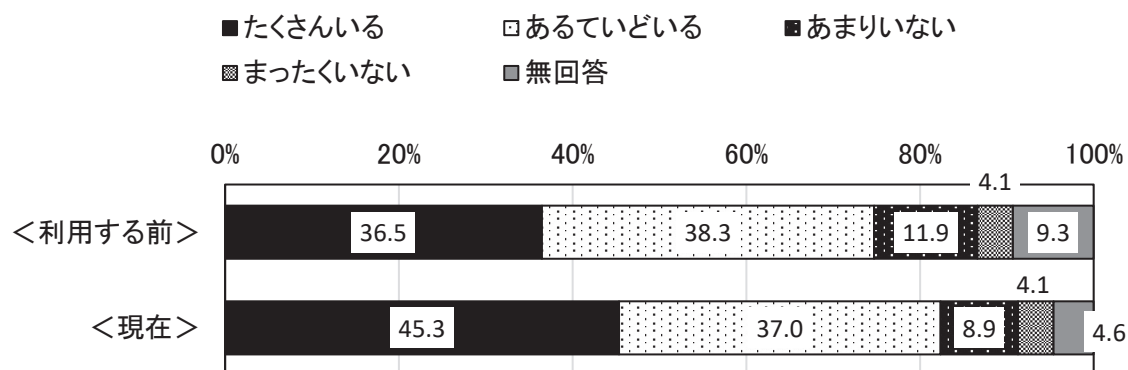


図 187 問 11-① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる人

社会資源の利用前後で回答者が何かに失敗したときに、たすけてくれる人の割合の変化を見ると、「たくさんいる」及び「あるていどいる」の割合が利用する前の 74.8%から利用後（現在）は 82.3%へと増加している。

② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人

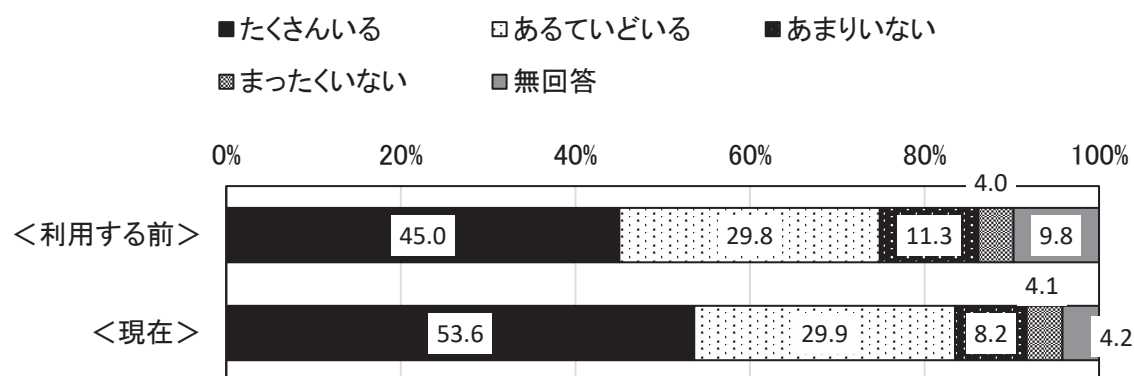


図 188 問 11-② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人

社会資源の利用前後で回答者が勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人の割合の変化を見ると、「たくさんいる」及び「あるていどいる」の割合が利用する前の 74.8%から利用後（現在）は 83.5%へと増加している。

③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人

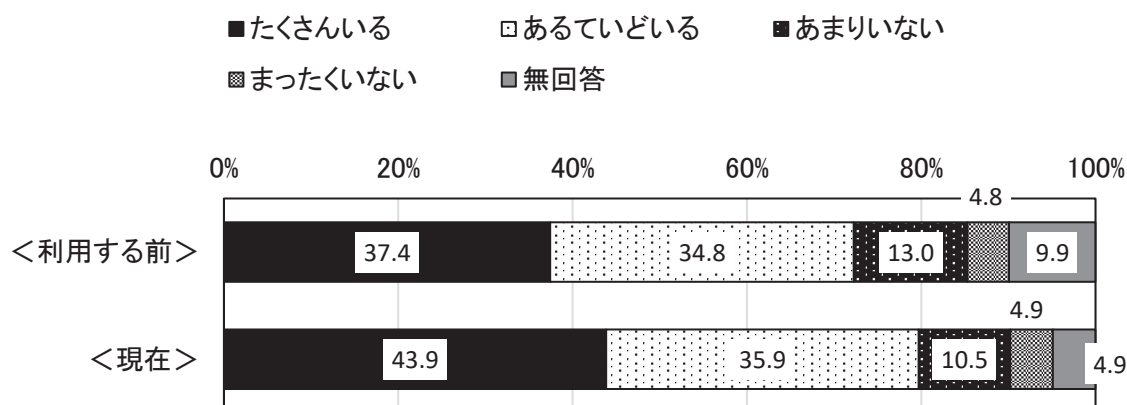


図 189 問 11-③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人

社会資源の利用前後で回答者が一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人の割合の変化を見ると、「たくさんいる」及び「あるていどいる」の割合が利用する前の 72.2%から利用後（現在）は 79.8%へと増加している。

④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人

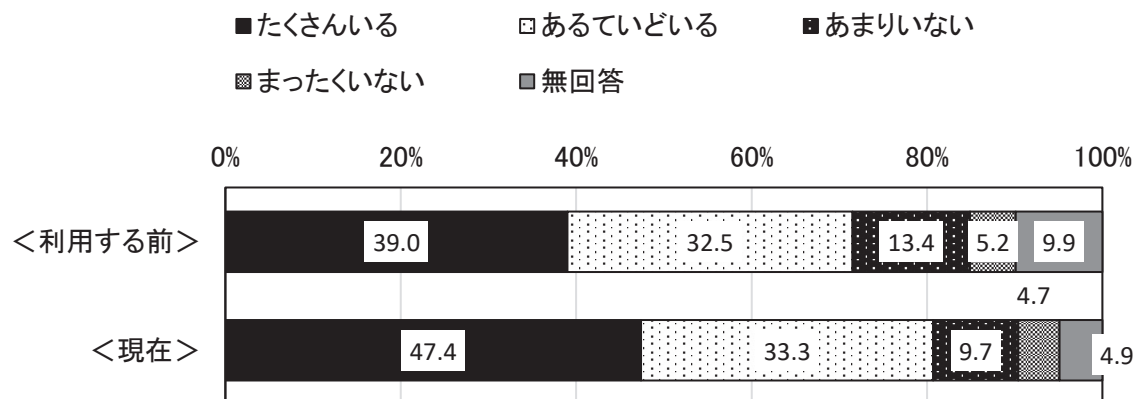


図 190 問 11-④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人

社会資源の利用前後で回答者が悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人の割合の変化を見ると、「たくさんいる」及び「あるていどいる」の割合が利用する前の 71.5%から利用後（現在）は 80.7%へと増加している。

5) 社会資源利用前後の自己効力感 (問 12)

【子ども】自己効力感

問 12. あなたの気持ちについて教えてください。(①～⑥について、あてはまる番号 1 つに ○をつけてください)

① 自分に自信がある

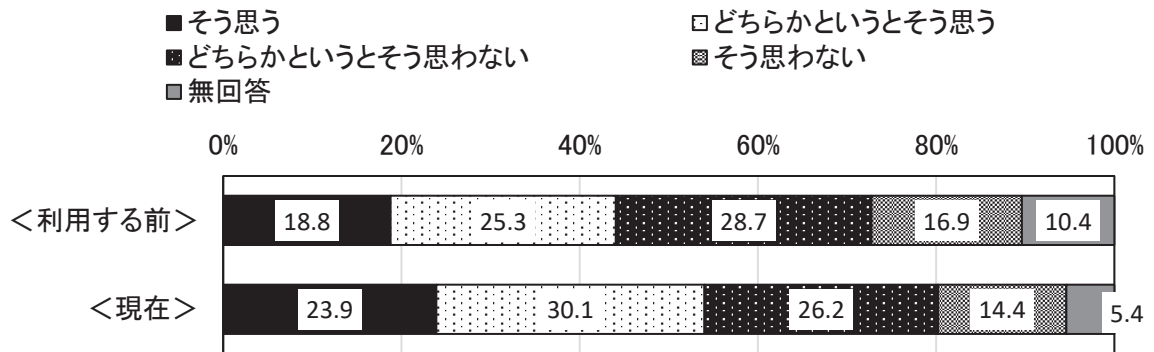


図 191 問 12-① 自分に自信がある

社会資源の利用前後で「自分に自信がある」かどうかの変化を見ると、「そう思う」及び「どちらかというと思う」の割合が利用する前の 44.1%から利用後（現在）は 54.0%へと増加している。

② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

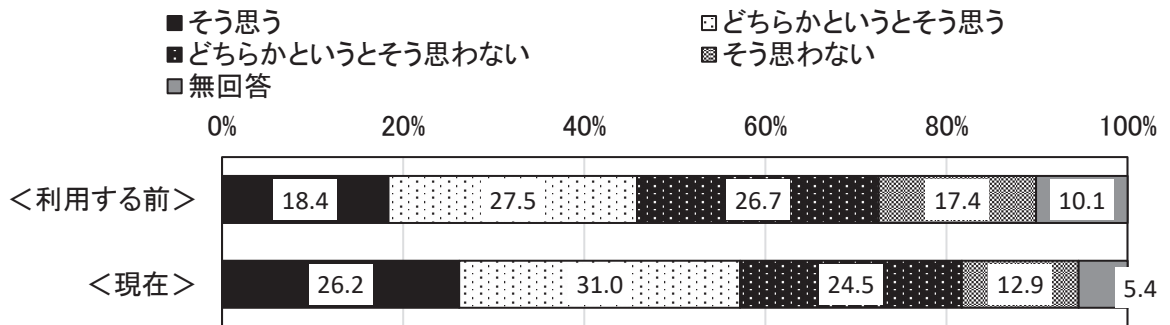


図 192 問 12-② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

社会資源の利用前後で「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」かどうかの変化を見ると、「そう思う」及び「どちらかというと思う」の割合が利用する前の 45.9%から利用後（現在）は 57.2%へと増加している。

③ 大人を信用できる

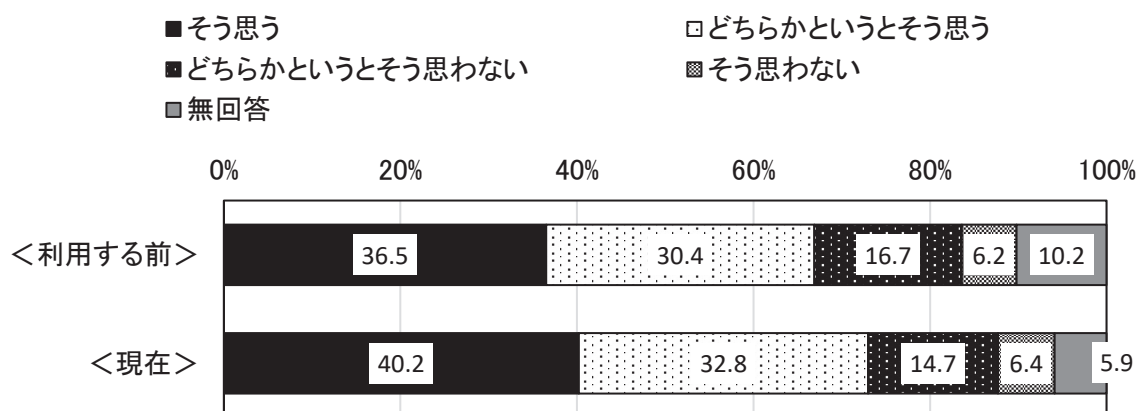


図 193 問 12-③ 大人を信用できる

社会資源の利用前後で「大人を信用できる」かどうかの変化を見ると、「そう思う」及び「どちらかというと思う」の割合が利用する前の 66.9%から利用後（現在）は 73.0%へと増加している。

④ 自分の将来の夢や目標を持っている

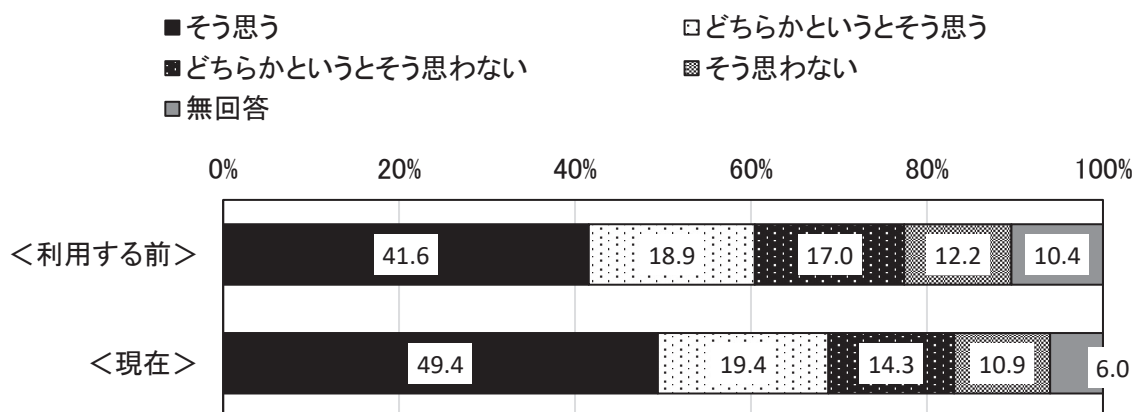


図 194 問 12-④ 自分の将来の夢や目標を持っている

社会資源の利用前後で「自分の将来の夢や目標を持っている」かどうかの変化を見ると、「そう思う」及び「どちらかというと思う」の割合が利用する前の 60.5%から利用後（現在）は 68.8%へと増加している。



⑤ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

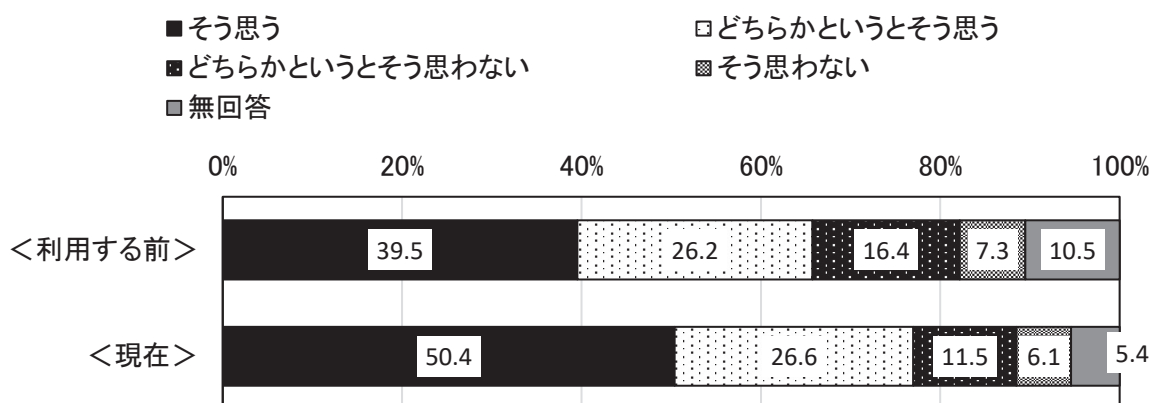


図 195 問 12-⑤ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

社会資源の利用前後で「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」かどうかの変化を見ると、「そう思う」及び「どちらかというと思う」の割合が利用する前の65.7%から利用後（現在）は77.0%へと増加している。

⑥ 将来、働きたいと思う

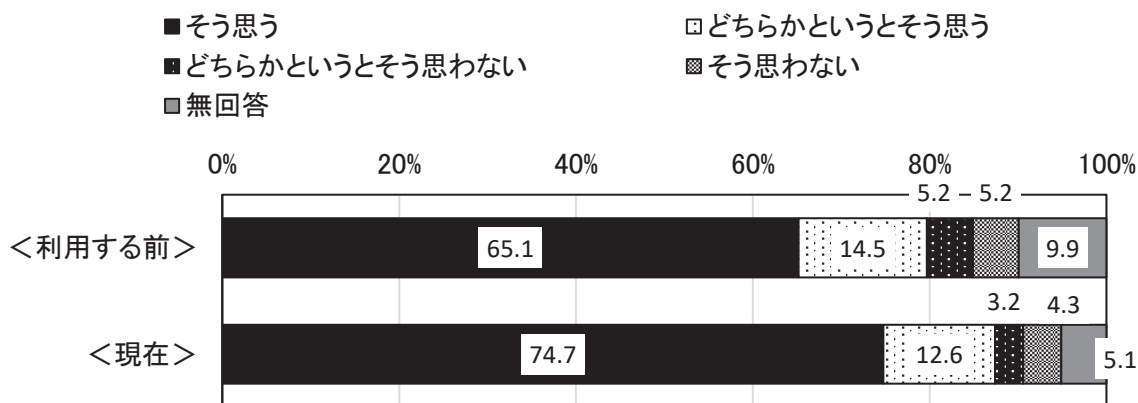


図 196 問 12-⑥ 将来、働きたいと思う

社会資源の利用前後で「将来、働きたいと思う」かどうかの変化を見ると、「そう思う」及び「どちらかというと思う」の割合が利用する前の79.6%から利用後（現在）は87.3%へと増加している。

## 6) 望むこと (問 19)

### 【子ども】望むこと

問 19. あなたはどのようなことを望んでいますか。

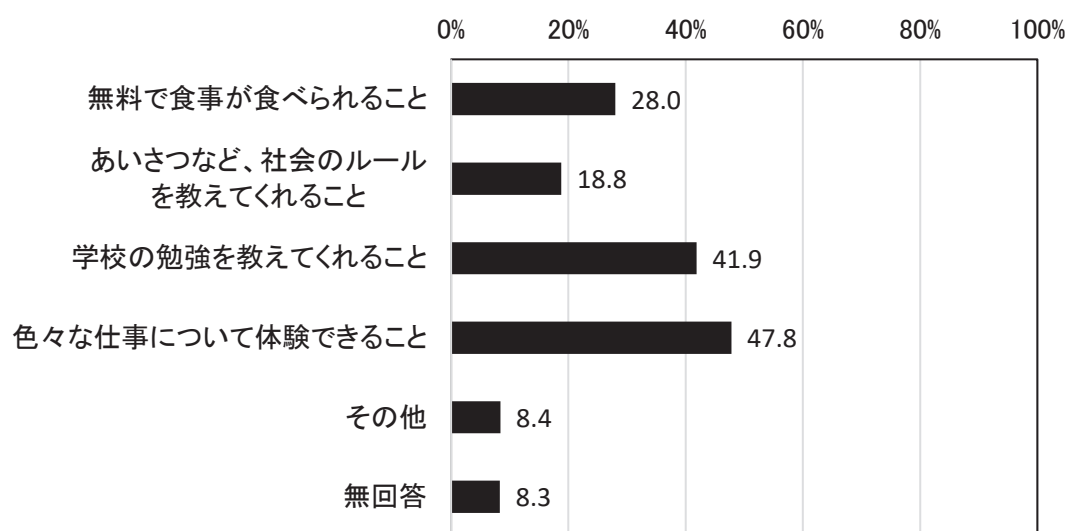


図 197 望むこと

回答者の望むことを見ると、「色々な仕事について体験できること」が 47.8%でもっとも割合が高く、次いで「学校の勉強を教えてくれること」が 41.9%、「無料で食事が食べられること」が 28.0%となっている。

### 3. 経済状況別に見た分析結果

経済状況を測る指標として、大阪府立大学研究チームによって開発されたはく奪指標得点（山野 2019）<sup>4</sup>を用いる。これは、所得以外の生活上の困窮状況をとらえるために開発された指標であり、経済的理由によってはく奪された経験について等価可処分所得との関連をふまえて重み付けを行い得点化したもので、得点が高いほど貧困状況にあるといえる。本調査においても、経済的な理由による世帯の経験をたずねた保護者票問 28 について、この設問に基づき、大阪府調査と同様の手法ではく奪指標得点を作成した。本調査におけるはく奪指標得点の平均は 14.4 点、中央値は 13 点であった。以降の分析では、このはく奪指標得点を「10 点以下」「11～20 点以下」「21 点以上」の 3 つの群に区分し、クロス軸として用いている。

#### 1) 社会資源の利用状況との関連

##### ⇒ 経済状況（問 28、問 29）×社会資源の利用状況（問 1-1～問 2-3）

まず、経済状況と「知っている場所」との関連性を調べるため、9 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルで有意な検定結果は 0 件であり、その関連性を表す項目は発見できなかった。

次に経済状況と「行ったことがある場所」について検定を行った結果、5%以内のレベルで有意な検定結果は 2 件であり、次のようになる。

---

<sup>4</sup> 山野則子（2019）『子どもの貧困調査—子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書店。

行ったことがある場所

問1-1-B. 知っていると答えた場合、その場所に行ったことがあれば、右側の表に○をつけてください。

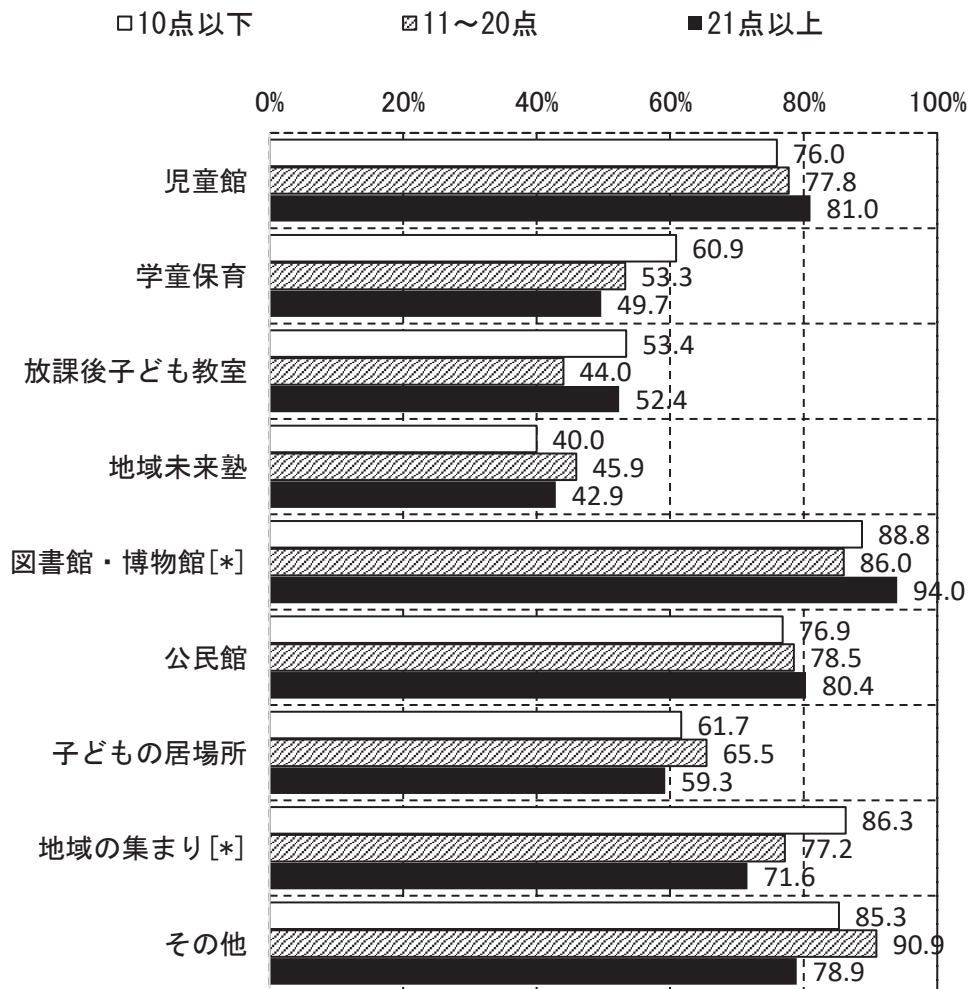


図 198 経済状況別に見た、行ったことがある場所

※[\*\*]: $p < 0.01$ , [\*]: $p < 0.05$

はく奪指標得点と「行ったことがある場所」について、「図書館・博物館」「地域の集まり」が有意な関連を示している ( $p < 0.05$ )。これらの項目について、図 198 で示されたように、特に、「地域の集まり」について、はく奪指標得点が高ければ高いほど、「地域の集まり」に行ったことがある子どもの割合は低くなる傾向が見える。

経済状況と「行ったことがある場所の数」の間では、有意な関連性が見られなかった。

最後に、経済状況と「知っているでも行かない理由」との関連性を調べるため、54 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルで有意な検定結果は3件であり、次のようになる。

**知っているでも行かない理由**

問1-2. 問1-1で場所を「知っている」に○をつけたが「行ったことがある」に○をつけなかった場合は、その理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

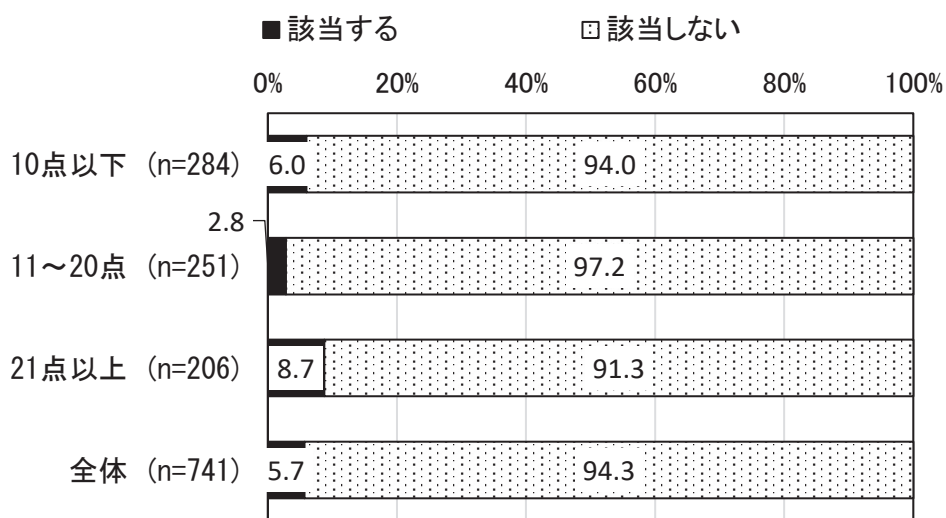


図 199 経済状況別に見た、知っているでも行かない理由 (学童保育：近くに場所がない)

経済状況と「学童保育」において、知っているでも行かない理由が「近くに場所がない」に該当する・該当しない割合との間で、有意な関連を示している(p<0.05)。図 199 で示されたように、「該当する」の割合について、はく奪指標得点が「21 点以上」の群は 8.7%であり、3つの群の中でもっとも高い。「11~20 点」の群は 2.8%であり、3つの群の中でもっとも低い。

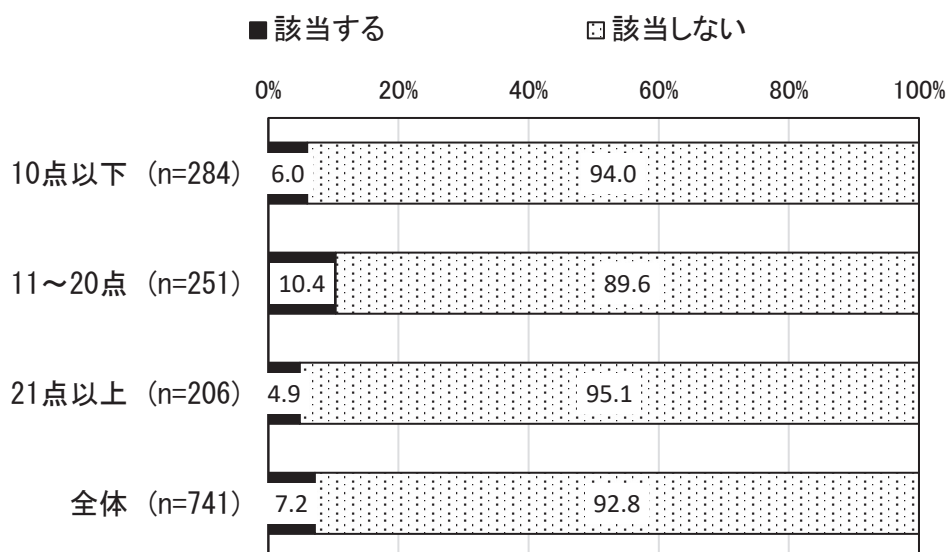


図 200 経済状況別に見た、知っていても行かない理由（図書館・博物館：その他）

経済状況と「図書館・博物館」において、知っていても行かない理由が「その他」に該当する・該当しない割合との間で、有意な関連を示している( $p < 0.05$ )。図 200 で示されたように、「該当する」の割合について、はく奪指標得点が「11~20点」の群は 10.4%であり、3つの群の中でもっとも高い。「21点以上」の群は 4.9%であり、3つの群の中でもっとも低い。

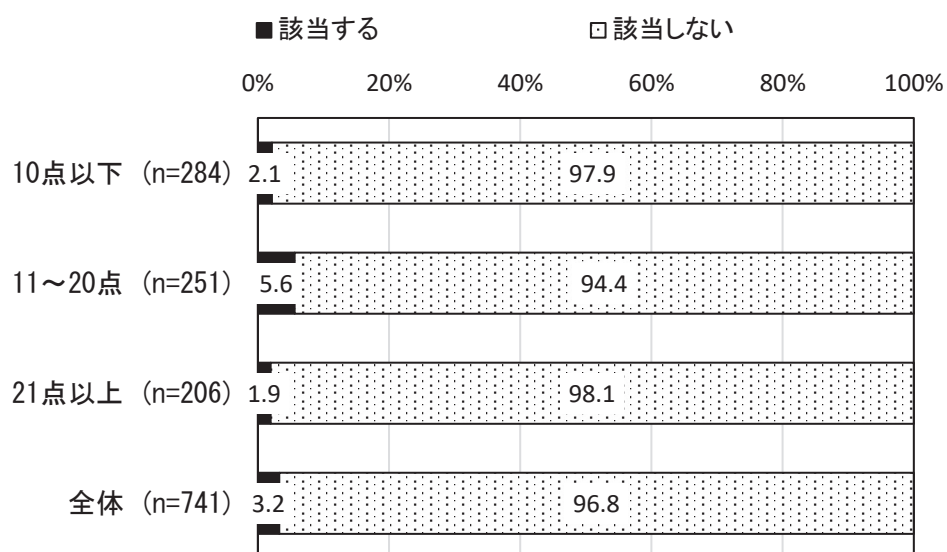


図 201 経済状況別に見た、知っていても行かない理由  
(地域の集まり：クラブ活動や習いごとに行くため)

経済状況と「地域の集まり」において、知っていても行かない理由が「クラブ活動や習いごとに行くため」に該当する・該当しない割合との間で、有意な関連を示している( $p < 0.05$ )。図 201 で示されたように、「該当する」の割合について、はく奪指標得点が「11～20点」の群は 5.6%であり、3つの群の中でもっとも高い。「21点以上」の群は 1.9%であり、3つの群の中でもっとも低い。

2) 生活状況や教育に関する項目との関連

⇒ 経済状況（問 28）×生活状況や教育に関する項目（問 4～問 8、問 10①～⑤、問 12、問 13）

経済状況と生活状況や教育に関する項目との間の関連性を調べるため、17 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルで有意な検定結果は 0 件であり、その関連性を表す項目は発見できなかった。

3) 社会性との関連

⇒ 経済状況（問 28）×社会性（問 2-4、問 3、問 9、問 10-⑥、⑦、問 11）

経済状況と社会性との間の関連性を調べるため、18 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルで有意な検定結果は 2 件であり、次のようになる。



ふだんの放課後に過ごす人

問9. あなたは、ふだん（月～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか<現在>。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

□10点以下（n=284） ▨11～20点（n=251） ■21点以上（n=206） □全体（n=741）

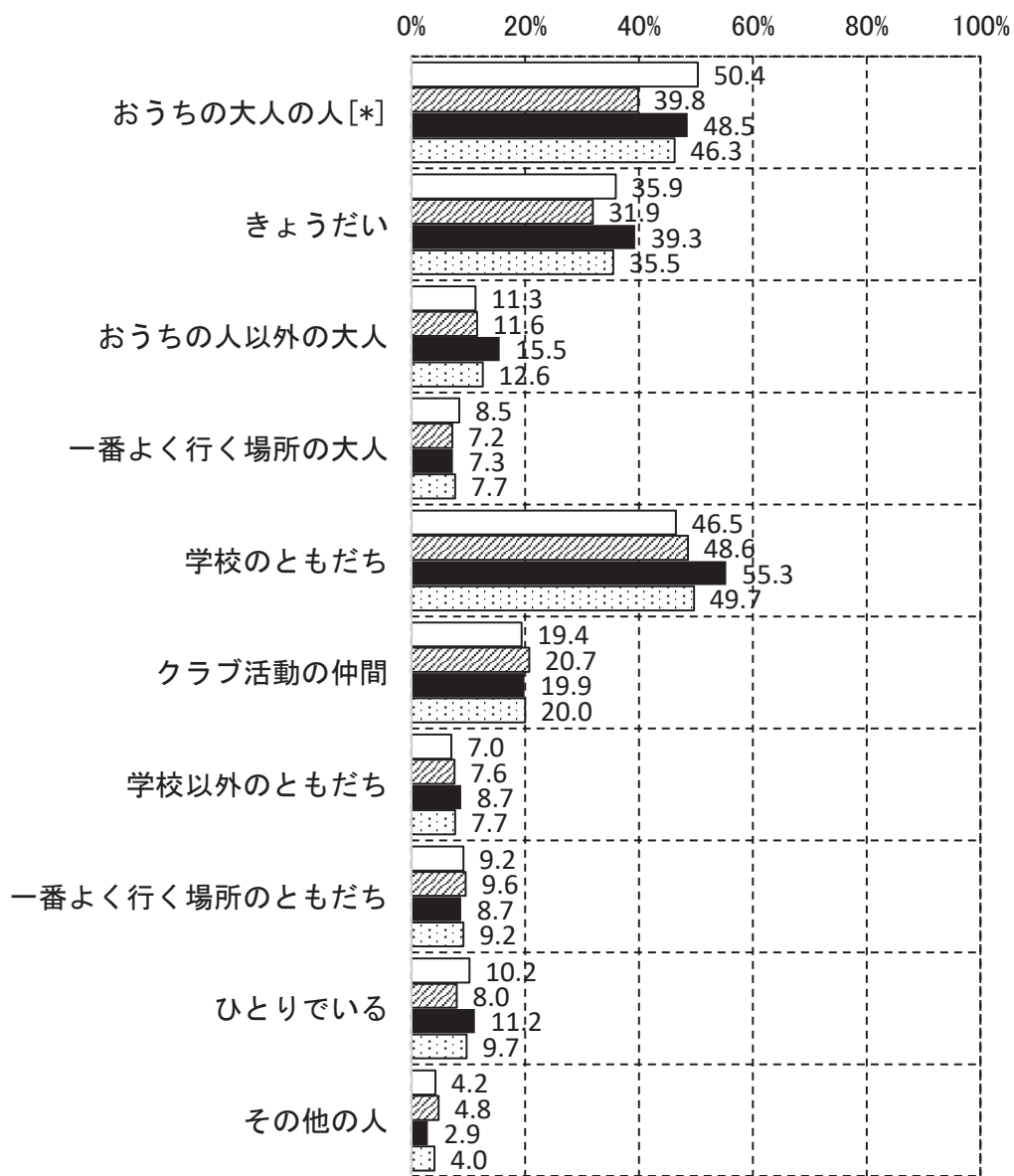


図 202 経済状況別に見た、ふだんの放課後に過ごす人<現在>

※[\*\*]: $p<0.01$ ,[\*]: $p<0.05$

はく奪指標得点と「ふだんの放課後に過ごす人」について、「おうちの大人の人」のみ、有意な関連を示している( $p<0.05$ )。この項目について、図 202 で示されたように、はく奪指標得点が「10 点以下」の群の回答割合がもっとも高い。

一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる

問 1 1. あなたに①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる<現在>

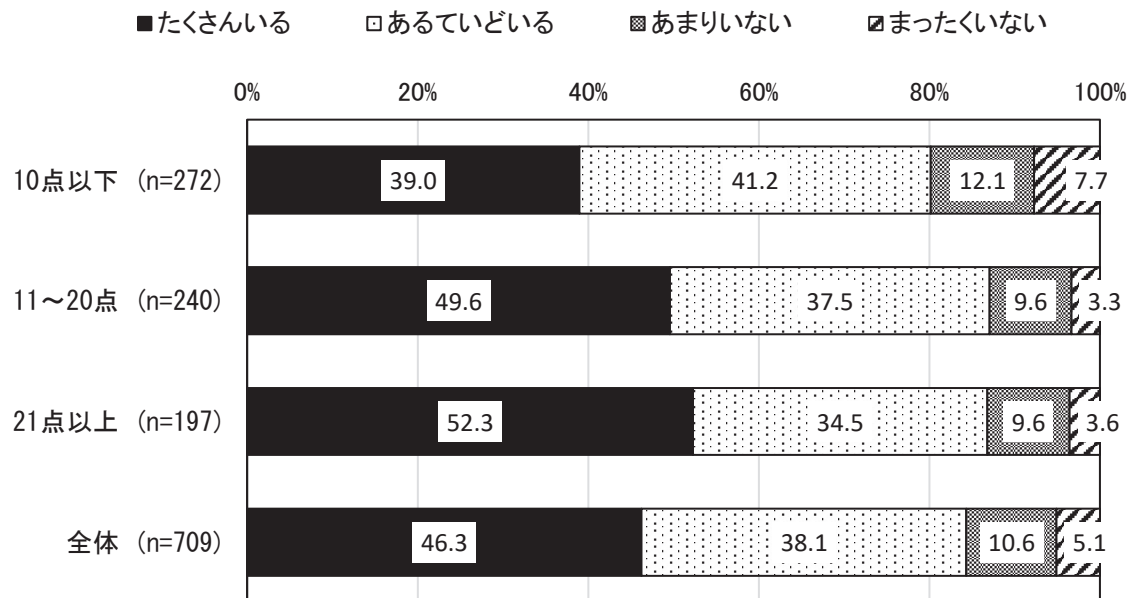


図 203 経済状況別に見た、一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる<現在>

はく奪指標得点と「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる」について、有意な関連を示している( $p < 0.05$ )。図 203 で示されたように、全体的には、はく奪指標得点が高ければ高いほど、「たくさんいる」の割合が高くなる傾向がある。「たくさんいる」の割合について、はく奪指標得点が「10点以下」の群は 39.0%であり、3つの群の中でもっとも低い。「21点以上」の群は 52.3%であり、3つの群の中でもっとも高い。

4) 持ち物（所有物）やふだんの放課後過ごす場所との関連

持ち物（所有物）

問14. あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください  
 <現在>。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

□10点以下 (n=284) ▨11~20点 (n=251) ■21点以上 (n=206) □全体 (n=741)

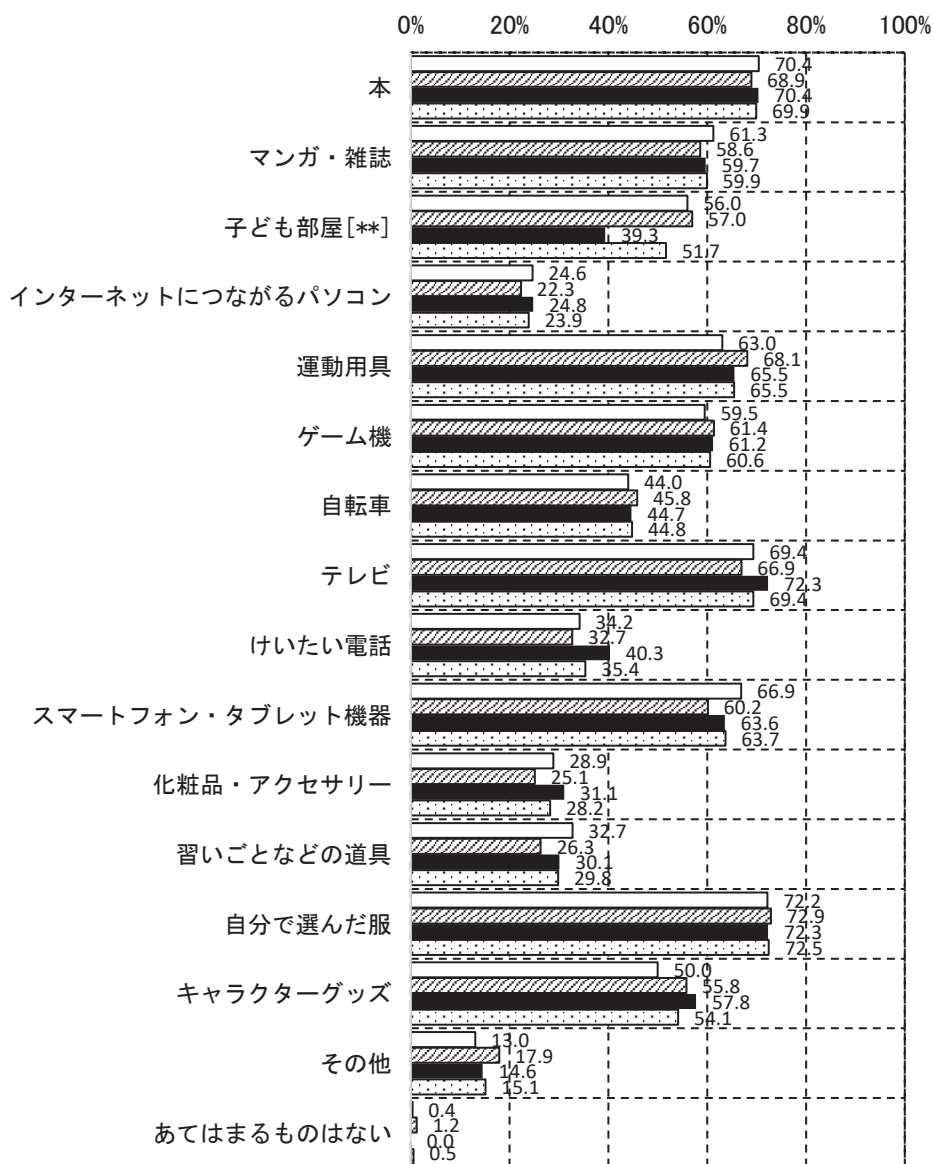


図 204 経済状況別に見た、持ち物（所有物）<現在>

※<sup>[\*\*]</sup>:p<0.01,<sup>[\*]</sup>:p<0.05

経済状況と「持ち物（所有物）」との間の関連性を調べるため、16 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、「子ども部屋」のみ有意な関連を示しており(p<0.01)、図 204 で示されたように、はく奪指標得点が「11~20点」の群の回答割合がもっとも高い。

ふだんの放課後過ごす場所

問18. あなたは、ふだん（月～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか<現在>。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

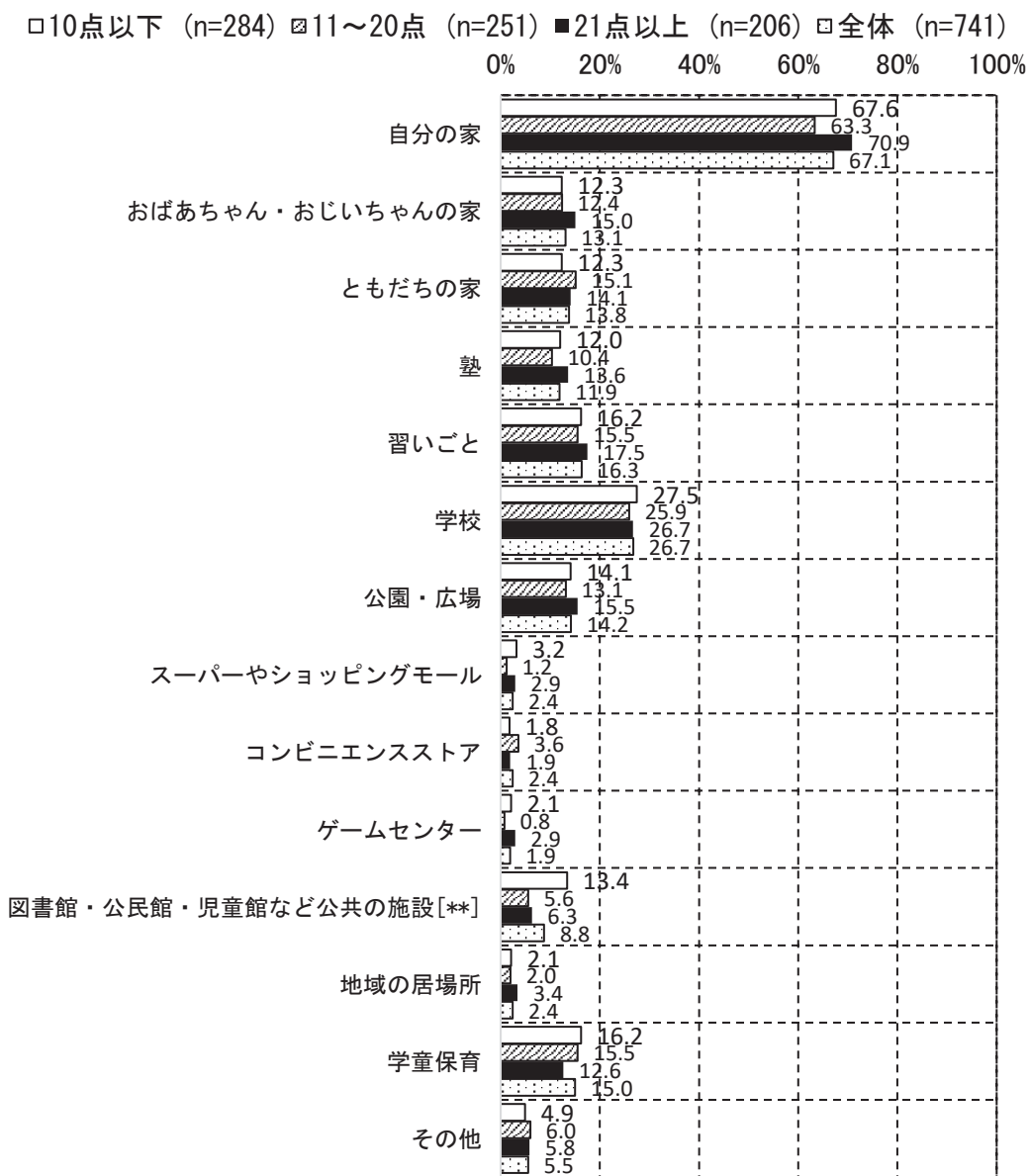


図 205 経済状況別に見た、ふだんの放課後過ごす場所<現在>

※[\*\*]: $p<0.01$ ,[\*]: $p<0.05$

経済状況と「ふだんの放課後過ごす場所」との関連性を調べるため、14 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、項目「図書館・公民館・児童館など公共の施設」のみ、有意な関連を示している( $p<0.01$ )。図 205 で示されたように、この項目を選んだ割合について、はく奪指標得点が「10 点以下」の群の回答割合がもっとも高く、「11～20 点」の群がもっとも低い。

#### 4. 世帯状況別に見た分析結果

##### 1) 生活状況や教育に関する項目との関連

⇒ 世帯状況（問 17）×生活状況や教育に関する項目（問 4～問 8、問 10①～⑤、問 12、問 13）

世帯状況と生活状況や教育に関する項目の関連性を調べるため、17 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルでの有意な検定結果は 2 件であり、次のようになる。

##### 同じ時刻に起きる

問 10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。（あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

① 同じ時刻に起きる<現在>

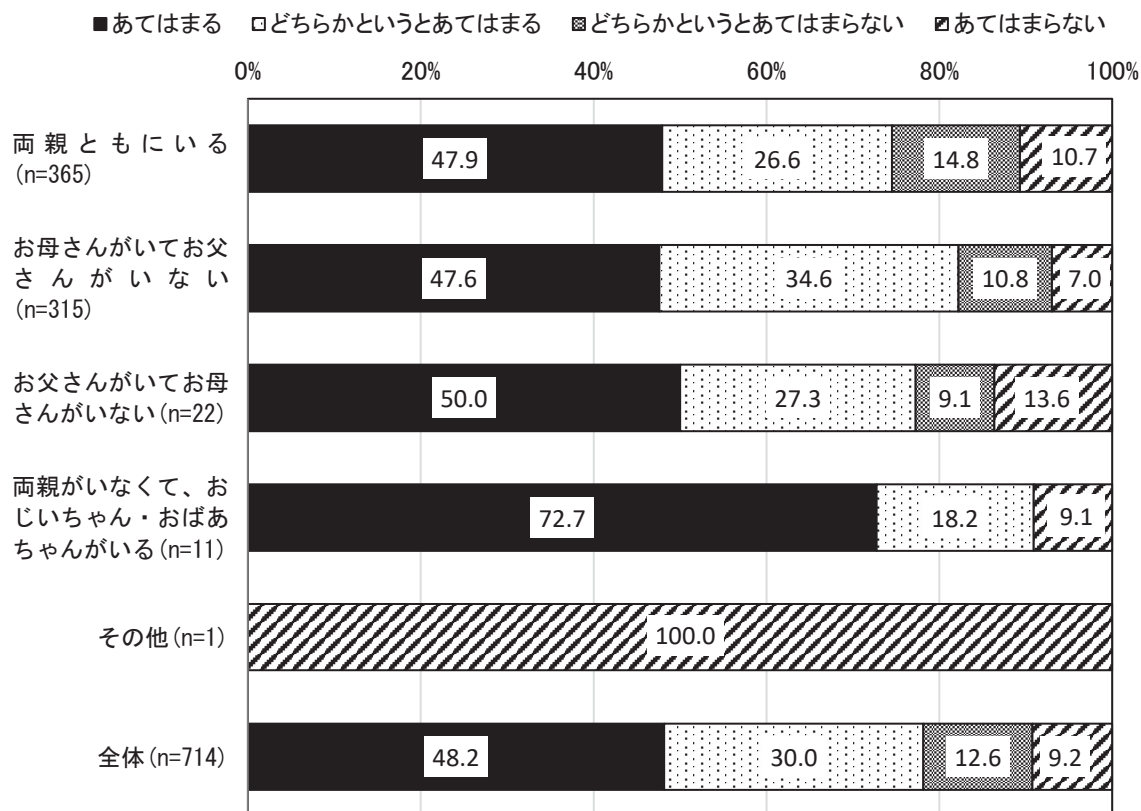


図 206 世帯状況別に見た、同じ時刻に起きる<現在>

世帯状況と「同じ時刻に起きる」の割合との間で、有意な関連を示している ( $p < 0.05$ )。図 206 で示されたように、件数が少ない「その他」の群を除く 4 つの群の中で、「あてはまる」の割合について、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」群は 72.7%でもっとも高い。「お母さんがいてお父さんがいない」の群は 47.6%でもっとも低い。

**健康状態がよい**

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

③ 健康状態がよい (例：おなかが痛くなくなった、など) <現在>

■あてはまる □どちらかというにあてはまる ▨どちらかというにあてはまらない ▩あてはまらない

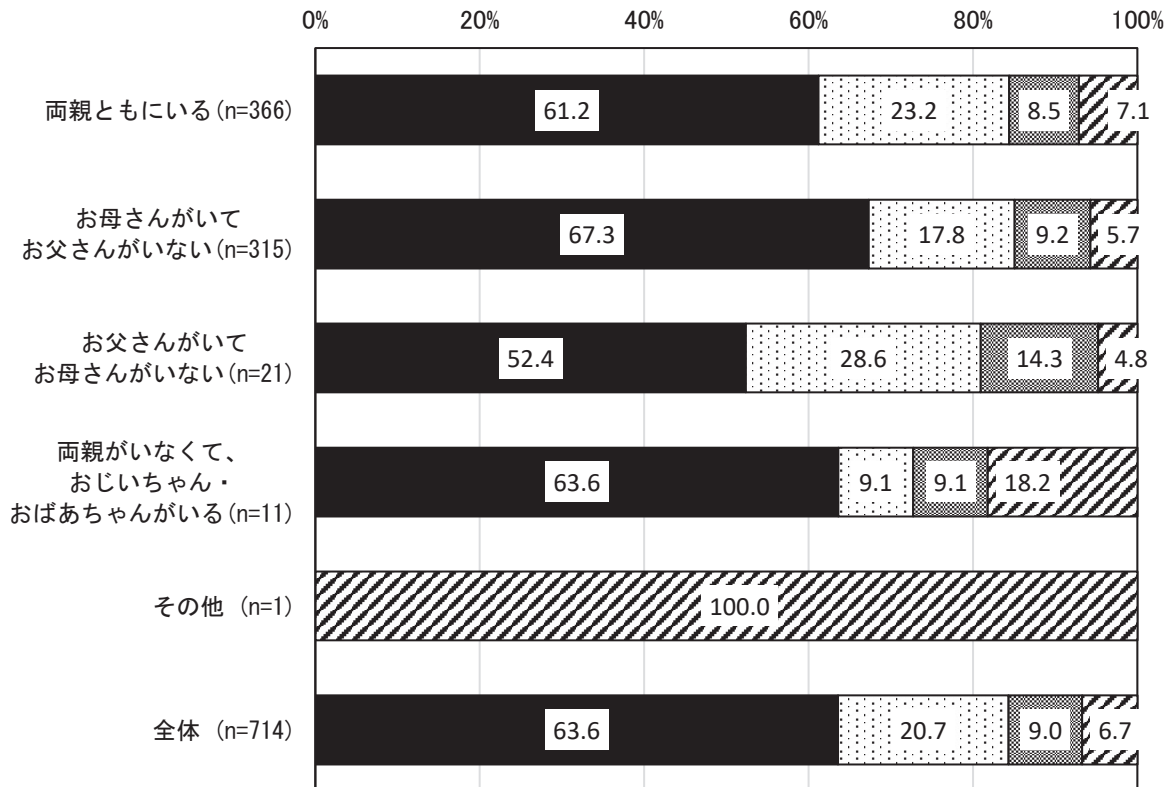


図 207 世帯状況別に見た、健康状態がよい<現在>

世帯状況と「健康状態がよい」の割合との間で、有意な関連を示している( $p < 0.05$ )。図 207 で示されたように、件数が少ない「その他」の群を除く 4 つの群の中で、「あてはまる」の割合について、「お母さんがいてお父さんがいない」の群は 67.3%でもっとも高く、「お父さんがいてお母さんがいない」の群は 52.4%でもっとも低い。

2) 社会性との関連

⇒ 世帯状況 (問 17) × 社会性 (問 2-4、問 3、問 9、問 10-⑥、⑦、問 11)

世帯状況と社会性との関連を調べるため、35 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルでの有意な検定結果は 8 件であり、次のようになる。

**ふだんの放課後に過ごす人**  
 問 9. あなたは、ふだん (月～金曜日) の放課後、だれと過ごしますか<現在>。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

□両親ともにいる (n=362)   □お母さんがいてお父さんがいない (n=306)   ■お父さんがいてお母さんがいない (n=22)   □両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる (n=10)   □その他 (n=1)   □全体 (n=701)

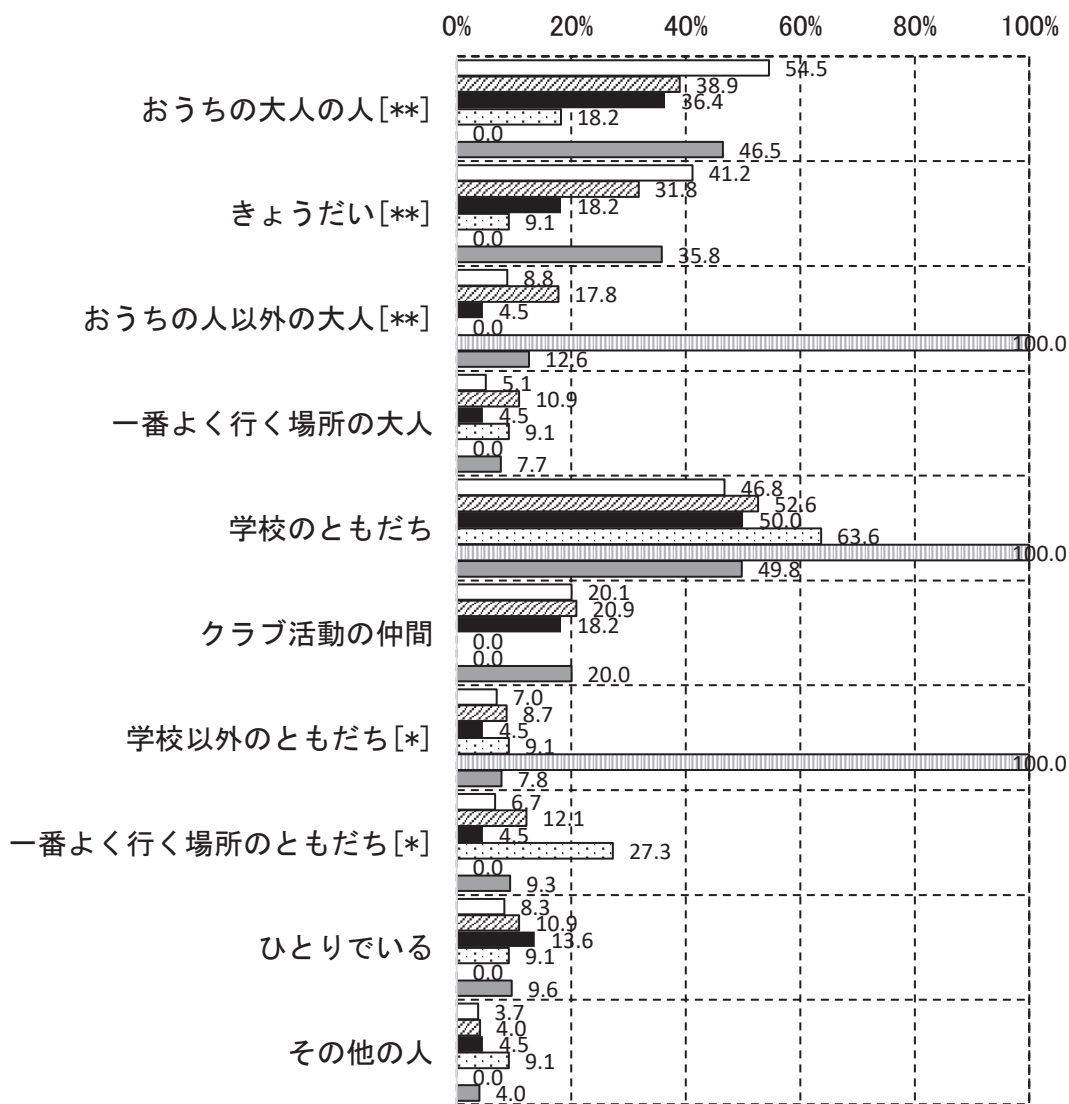


図 208 世帯状況に見た、ふだんの放課後に過ごす人<現在>

※【\*\*】:p<0.01,【\*】:p<0.05

世帯状況と「ふだんの放課後に過ごす人」について、図 208 で示されたように、「おうちの大人の人」「きょうだい」「おうちの人以外の大人」及び「学校以外のともだち」「一番よく行く場所のともだち」の 5 項目が有意な関連を示している（「おうちの大人の人」「きょうだい」「おうちの人以外の大人」 $p<0.01$ 、「学校以外のともだち」「一番よく行く場所のともだち」 $p<0.05$ ）。その中で、「おうちの大人の人」「きょうだい」を回答する割合は、「両親ともにいる」の群がもっとも高く、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群がもっとも低い。「おうちの人以外の大人」の場合、「その他」及び「全体」を除く 4 つの群の中で、「お母さんがいてお父さんがいない」の群がもっとも高く、「お父さんがいてお母さんがいない」の群がもっとも低い。「学校以外のともだち」「一番よく行く場所のともだち」を回答する割合は、「その他」及び「全体」を除く 4 つの群の中で、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群がもっとも高く、「お父さんがいてお母さんがいない」の群がもっとも低い。



あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる

問 1 1. あなたに①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる<現在>

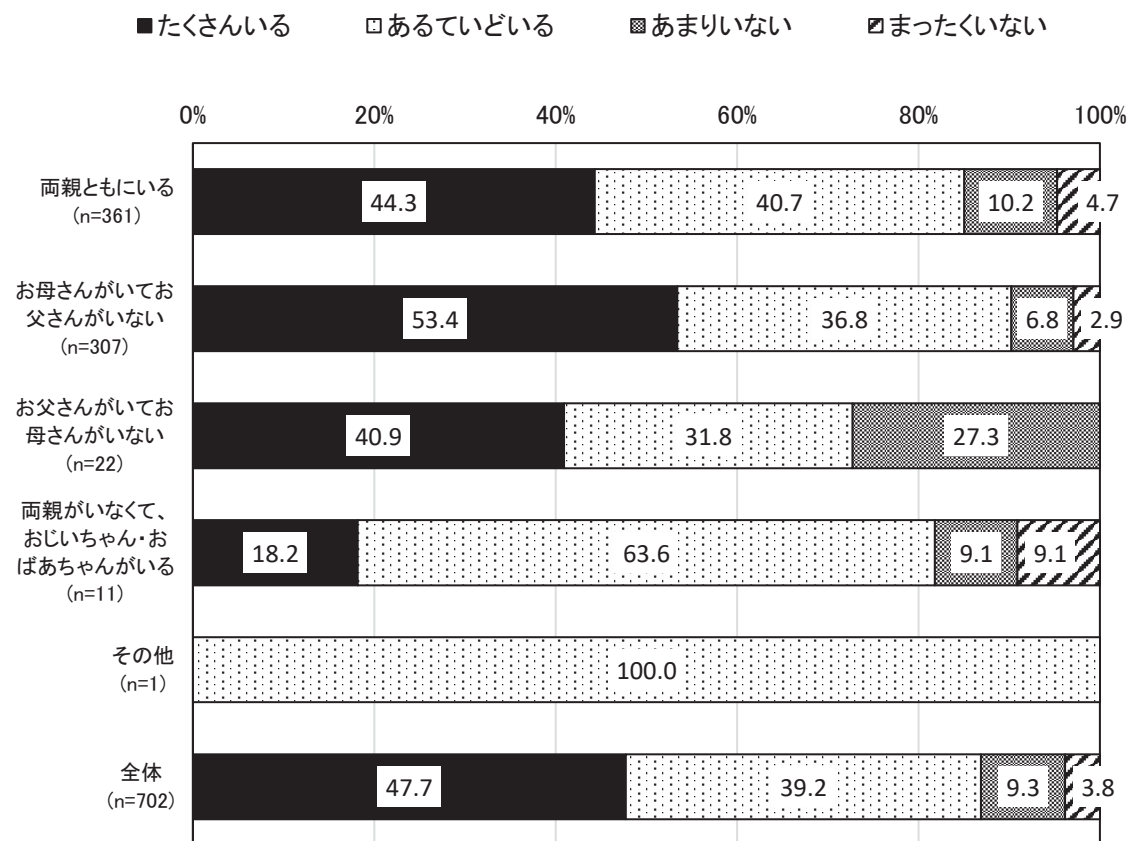


図 209 世帯状況別に見た、あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる<現在>

世帯状況と「あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる」について、有意な関連を示している( $p<0.05$ )。図 209 で示されたように、「たくさんいる」の割合について、件数が少ない「その他」の群を除く 4 つの群の中で、「お母さんがいてお父さんがいない」の群は 53.4%でもっとも高い。「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群は 18.2%でもっとも低い。

一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる

問 1 1. あなたに①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる<現在>

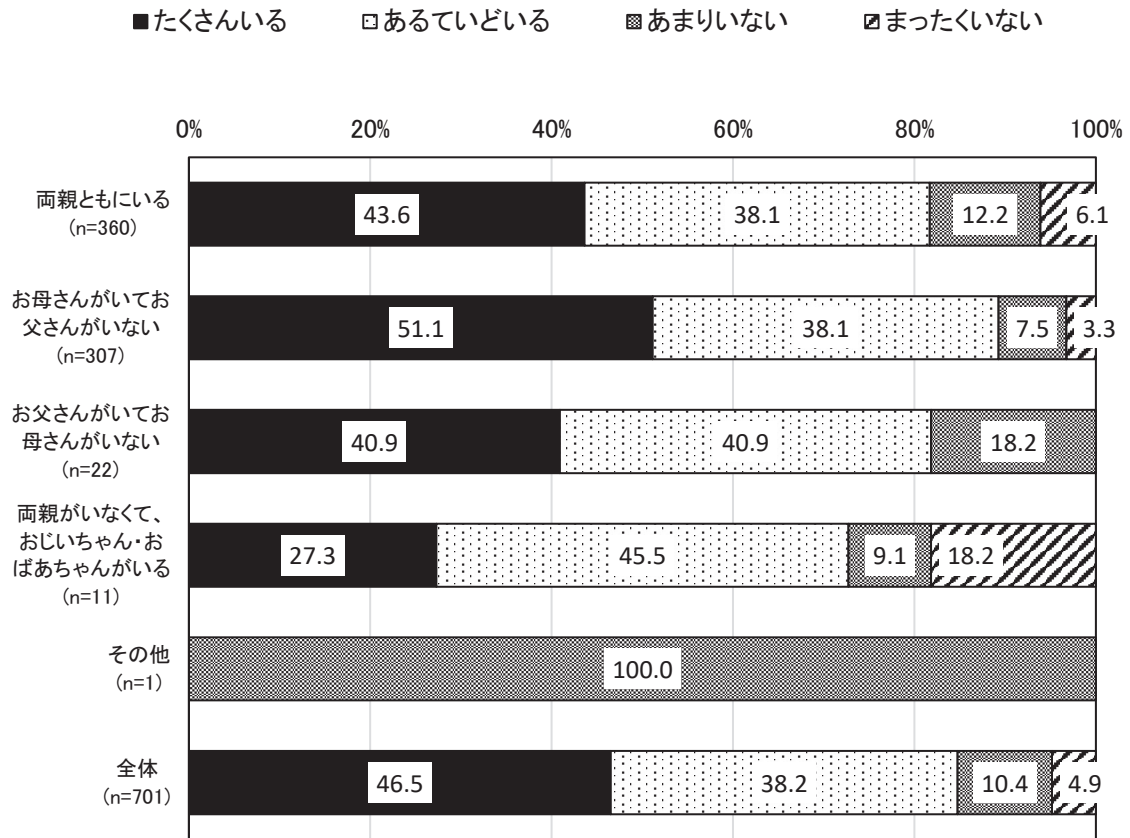


図 210 世帯状況別に見た、一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる<現在>

世帯状況と「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる」人について、有意な関連を示している(p<0.05)。図 210 で示されたように、「たくさんいる」の割合について、件数が少ない「その他」の群を除く 4 つの群の中で、「お母さんがいてお父さんがいない」の群は 51.1%でもっとも高い。「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群は 27.3%でもっとも低い。

あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる

問 1 1. あなたに①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる<現在>

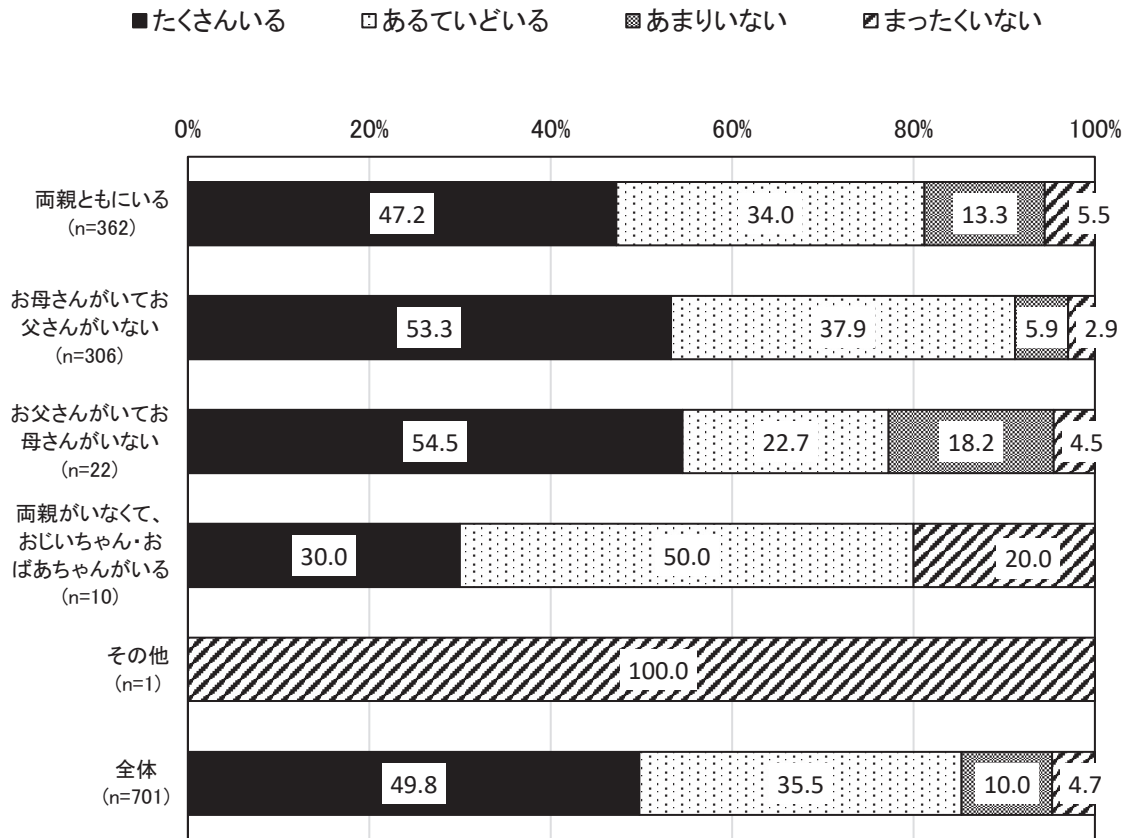


図 211 世帯状況別に見た、あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる<現在>

世帯状況と「あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる」について、有意な関連を示している( $p<0.01$ )。図 211 で示されたように「たくさんいる」の割合について、件数が少ない「その他」の群を除く 4 つの群の中で、「お父さんがいてお母さんがいない」の群は 54.5%でもっとも高く、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群は 30.0%でもっとも低い。

3) 持ち物（所有物）やふだんの放課後過ごす場所との関連

⇒ 世帯状況（問 17） × 所有物（問 14）

**持ち物（所有物）**

問 1 4. あなたが、もっているものや、あなたがつかうことができるものを選んでください  
い<現在>。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

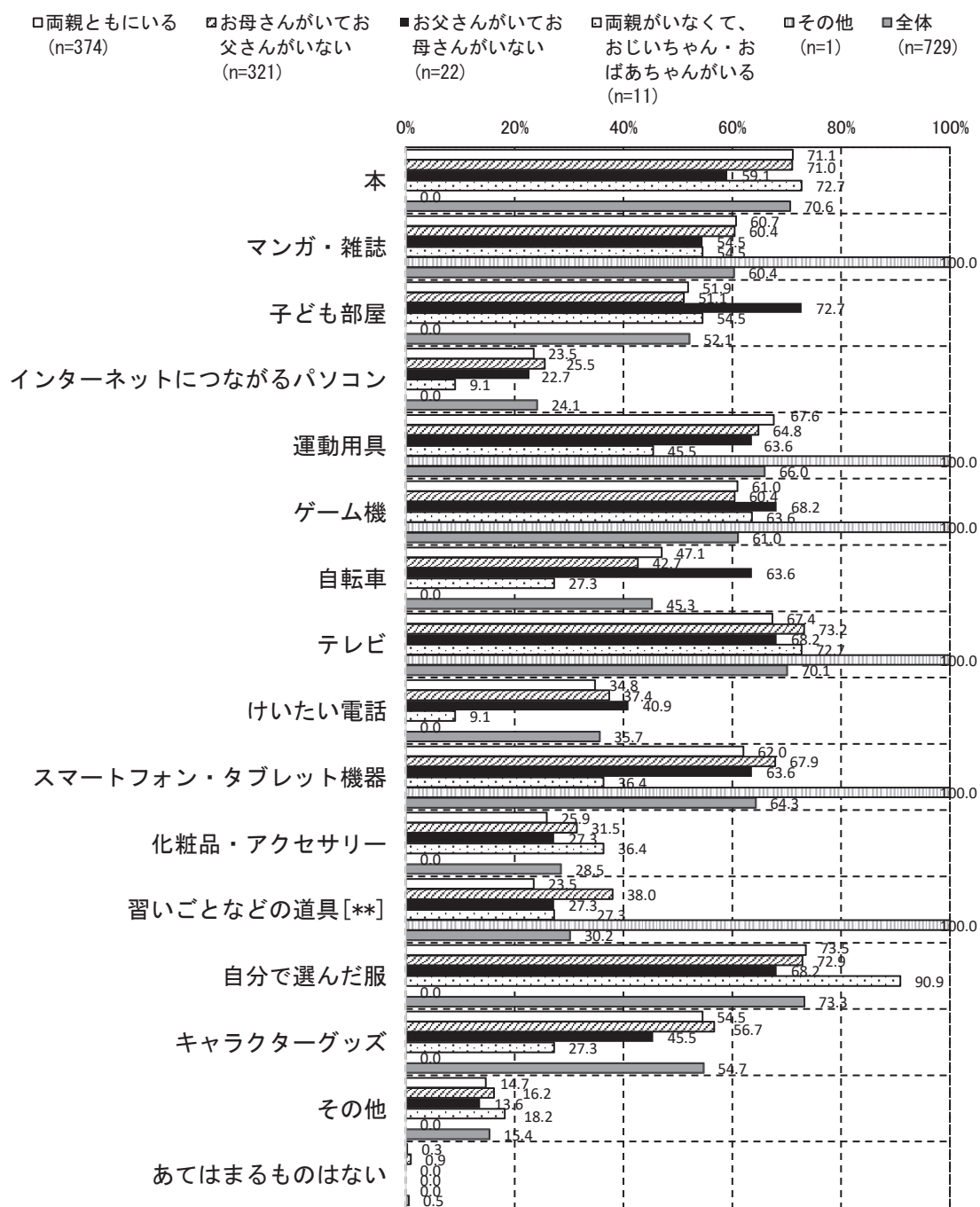


図 212 世帯状況別に見た、持ち物（所有物）<現在>

※[\*\*]:p<0.01,[\*]:p<0.05

世帯状況と「持ち物（所有物）」を調べるため、16 のクロス表を作成し、検定を行った。結果として、図 212 で示されたように、項目「習いごとなどの道具」は有意な関連を示している( $p<0.01$ )。この項目を選んだ割合について、件数が少ない「その他」の群を除く4つの群の中で、「お母さんがいてお父さんがいない」の群は 38.0%でもっとも高く、「両親ともにいる」の群は 23.5%でもっとも低い。

⇒ 世帯状況（問 17）×ふだんの放課後過ごす場所（問 18）

ふだんの放課後過ごす場所

問 18. あなたは、ふだん（月～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか<現在>。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

□両親ともにいる (n=374)   □お母さんがいてお父さんがいない (n=321)   ■お父さんがいてお母さんがいない (n=22)   □両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる (n=11)   □その他 (n=1)   □全体 (n=729)

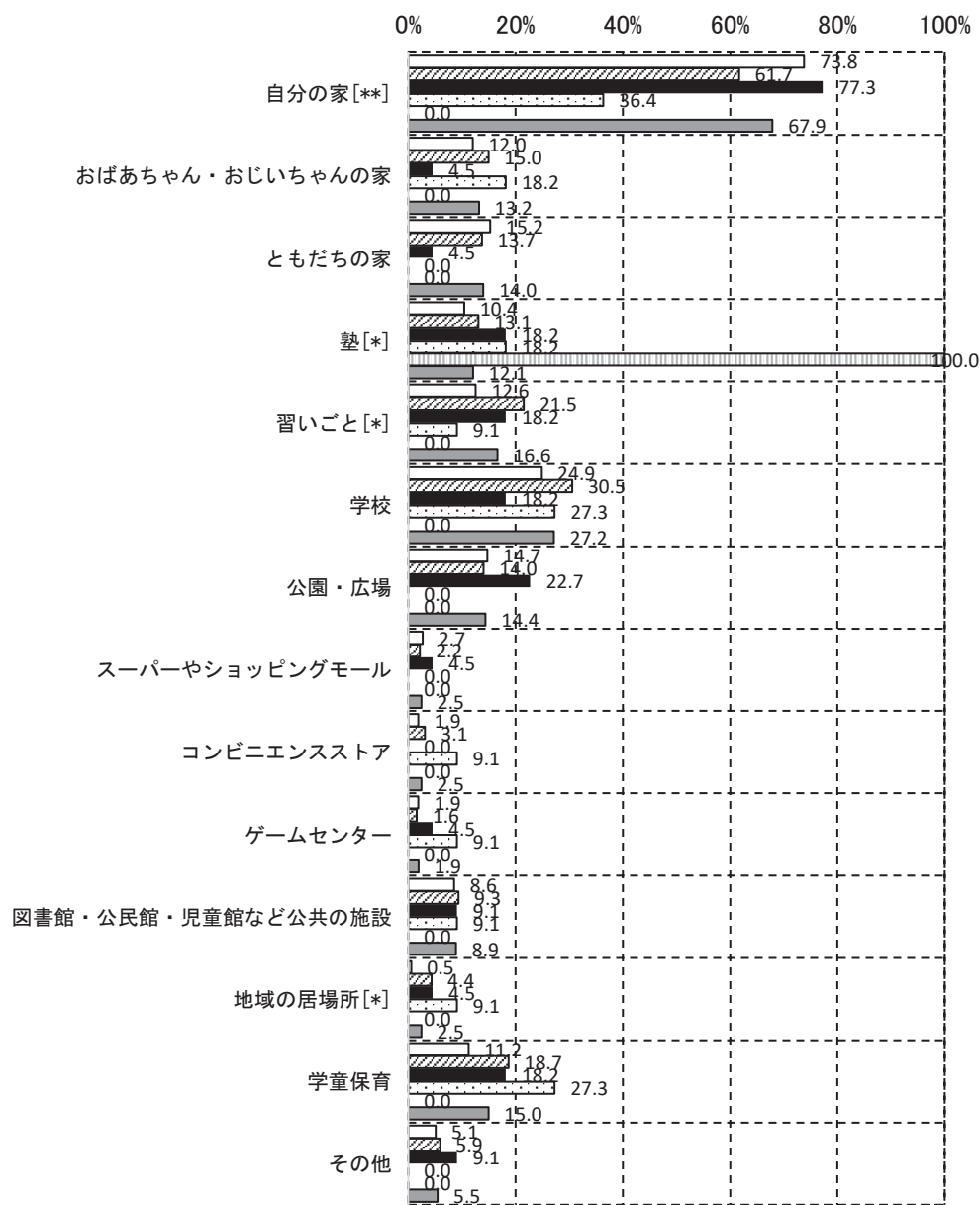


図 213 世帯状況別に見た、ふだんの放課後過ごす場所<現在>

※\*\*]:p<0.01,[\*]:p<0.05

世帯状況と「ふだんの放課後過ごす場所」を調べるため、14 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、「自分の家」「塾」「習いごと」「地域の居場所」の4つの項目が有意な関連を示している(「自分の家」 $p<0.01$ 、「塾」「習いごと」「地域の居場所」 $p<0.05$ )。図 213 で示されたように、件数が少ない「その他」の群を除く4つの群の中で、「自分の家」を選んだ割合について、「お父さんがいてお母さんがいない」の群は77.3%でもっとも高く、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群は36.4%でもっとも低い。「塾」を選んだ割合について、「お父さんがいてお母さんがいない」と「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群は18.2%でもっとも高く、「両親ともにいる」の群は10.4%でもっとも低い。「習いごと」を選んだ割合について、「お母さんがいてお父さんがいない」の群はもっとも高く、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群は9.1%でもっとも低い。「地域の居場所」を選んだ割合について、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群は9.1%でもっとも高く、「両親ともにいる」の群は0.5%でもっとも低い。

## 5. 社会資源の利用状況別に見た分析結果

続いて、社会資源の利用箇所数や利用頻度、利用期間が保護者の子育て意識等に及ぼす効果について検討していく。

### 1) 社会資源の利用箇所数別に見た分析結果

#### (1) 生活状況や教育に関する項目との関連

⇒ 利用箇所数(問 1-1) × 生活状況や教育に関する項目(問 4～問 8、問 10①～⑤、問 12、問 13)

利用箇所数と生活状況や教育に関する項目との関連を調べるため、17 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルでの有意な検定結果は4件であり、次のようになる。



健康状態がよい

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

③ 健康状態がよい (例:おなかが痛くなくなった、など) <現在>

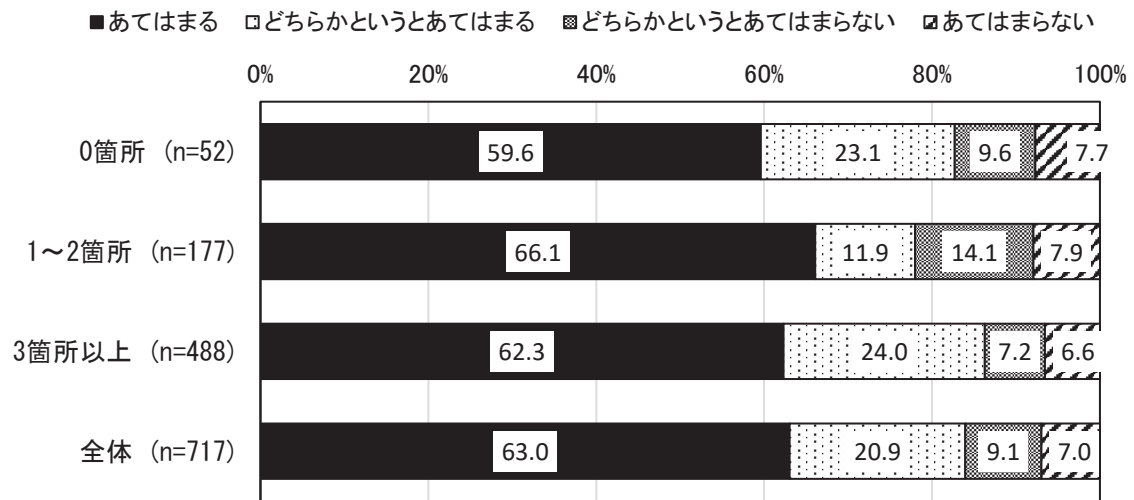


図 214 利用箇所数別に見た、健康状態がよい<現在>

利用箇所数と「健康状態がよい」との間で、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 214 で示されたように、「あてはまる」の割合について、利用箇所数が「1~2 箇所」群は 66.1%であり、3つの群の中でもっとも高く、利用箇所数が「0 箇所」の群は 59.6%であり、3つの群の中でもっとも低い。

いままでの人生で、心から感動したことがある

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

④ いままでの人生で、心から感動したことがある (小説、映画、ドラマ、マンガ、体験、音楽、芸術、スポーツなど) <現在>

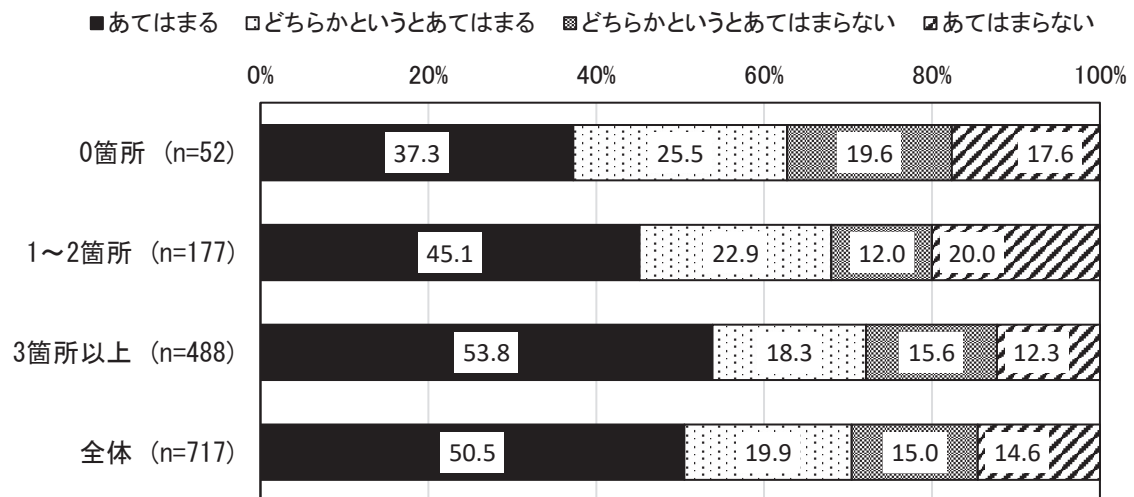


図 215 利用箇所数別に見た、いままでの人生で、心から感動したことがある<現在>

利用箇所数と「いままでの人生で、心から感動したことがある」と感じる子どもの割合との間で、有意な関連を示している( $p<0.05$ )。図 215 で示されたように、「あてはまる」の割合は、利用箇所数が多ければ多いほど高くなる傾向が見える。詳しく見ると、利用箇所数が「3箇所以上」の群は53.8%であり、3つの群の中でもっとも高く、利用箇所数が「0箇所」の群は37.3%であり、3つの群の中でもっとも低い。

自分の将来の夢や目標を持っている

問 1 2. あなたの気持ちについて教えてください。(①～⑥について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

④ 自分の将来の夢や目標を持っている<現在>

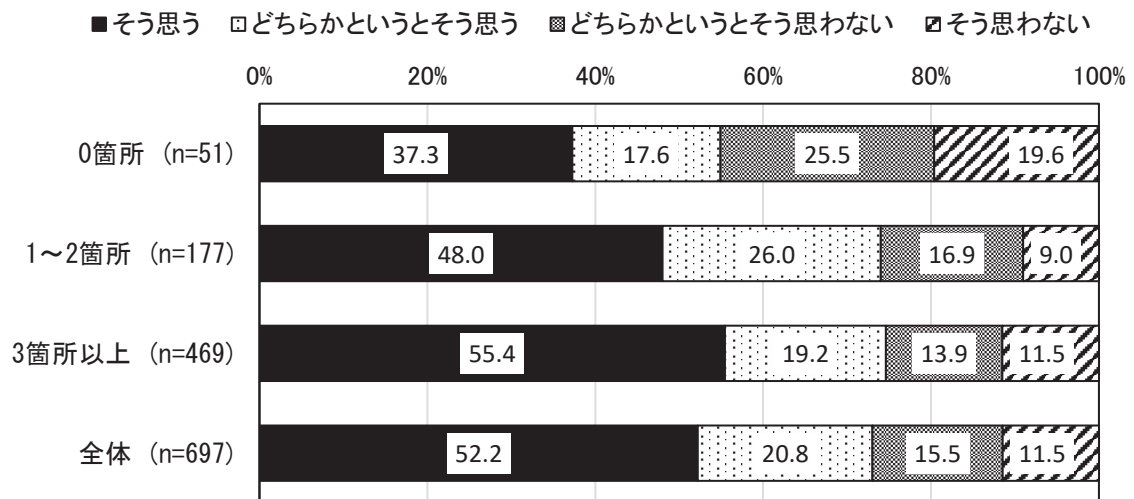


図 216 利用箇所数別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている<現在>

利用箇所数と「自分の将来の夢や目標を持っている」と思う子どもの割合との間で、有意な関連を示している( $p<0.05$ )。図 216 で示されたように、「そう思う」の割合は、利用箇所数が多ければ多いほど高くなる傾向が見える。詳しく見ると、利用箇所数が「3 箇所以上」の群は 55.4%であり、3つの群の中でもっとも高く、利用箇所数が「0 箇所」の群は 37.3%であり、3つの群の中でもっとも低い。

### 将来、働きたいと思う

問 1 2. あなたの気持ちについて教えてください。(①～⑥について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

⑥ 将来、働きたいと思う<現在>

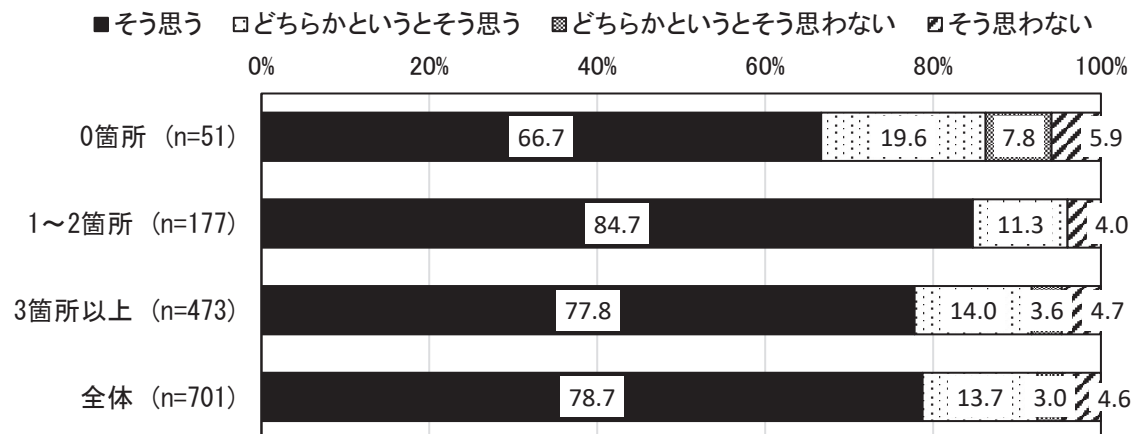


図 217 利用箇所数別に見た、将来、働きたいと思う<現在>

利用箇所数と「将来、働きたいと思う」と思う子どもの割合との間で、有意な関連を示している( $p<0.05$ )。図 217 で示されたように、「そう思う」の割合について、利用箇所数が「1～2箇所」の群は 84.7%であり、3つの群の中でもっとも高く、利用箇所数が「0箇所」の群は 66.7%であり、3つの群の中でもっとも低い。

(2) 社会性との関連

⇒ 利用箇所数 (問 1-1) × 社会性 (問 2-4、問 3、問 9、問 10-⑥、⑦、問 11)

利用箇所数と社会性との関連を調べるため、18 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、5%以内のレベルで有意な検定結果は 4 件であり、次のようになる。

ふだんの放課後に過ごす人

問9. あなたは、ふだん（月～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか<現在>。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

□0箇所 (n=52) ▨1~2箇所 (n=183) ■3箇所以上 (n=500) □全体 (n=735)

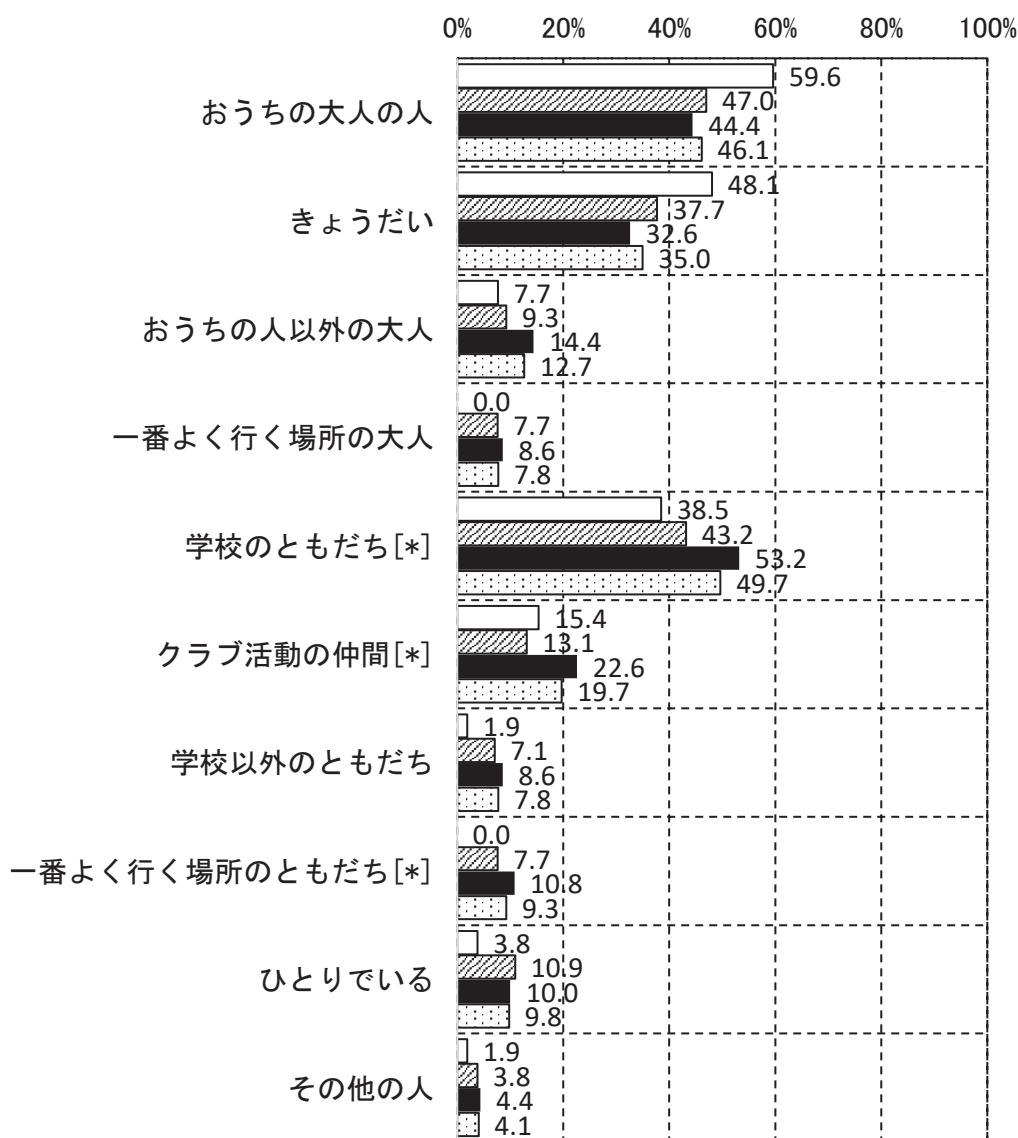


図 218 利用箇所数別に見た、ふだんの放課後に過ごす人<現在>

※[\*\*]: $p<0.01$ ,[\*]: $p<0.05$

利用箇所数と「ふだんの放課後に過ごす人」について、図 218 で示されたように、「学校のともだち」「クラブ活動の仲間」「一番よく行く場所のともだち」の3項目が有意な関連を示している( $p<0.05$ )。この中で、「学校のともだち」「一番よく行く場所のともだち」を選ぶ子どもの割合は、利用箇所数が増加するとともに高くなる傾向がある。

**お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する**

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

⑦ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する<現在>

■あてはまる □どちらかというにあてはまる ▨どちらかというにあてはまらない ▩あてはまらない

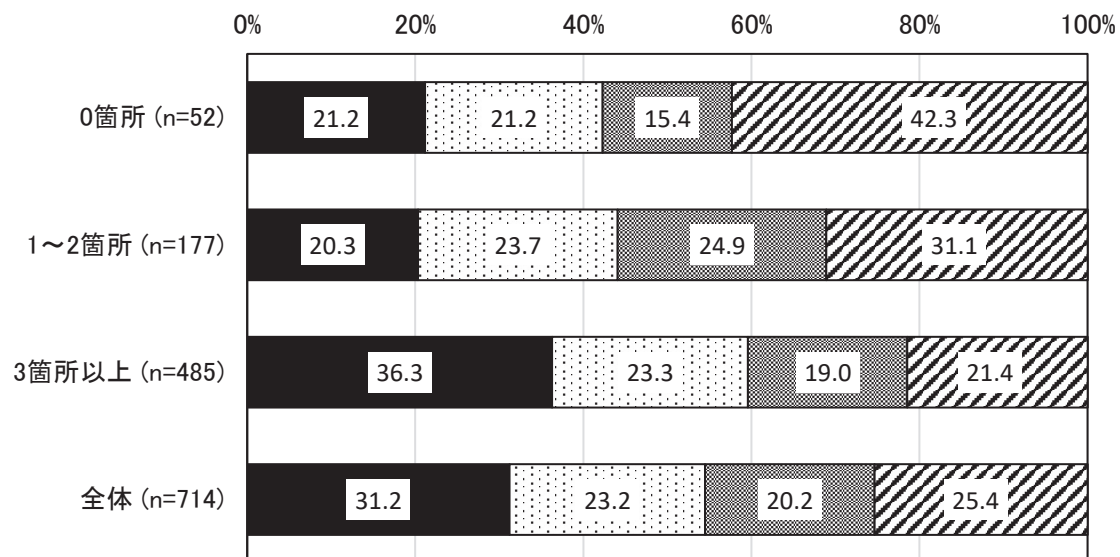


図 219 利用箇所数別に見た、お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する<現在>

利用箇所数と「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する」に該当する子どもの割合との間で、有意な関連を示している( $p<0.01$ )。図 219 で示されたように、「あてはまる」の割合について、利用箇所数が「3 箇所以上」の群は 36.3%であり、3つの群の中でもっとも高く、利用箇所数が「1~2 箇所」の群は 20.3%であり、3つの群の中でもっとも低い。

2) 社会資源の利用頻度別に見た分析結果

(1) 生活状況や教育に関する項目との関連

⇒ 利用頻度(問2-3) × 生活状況や教育に関する項目(問4～問8、問10①～⑤、問12、問13)

社会資源ごとの利用頻度と生活状況や教育に関する項目との関連を調べるため、17のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、有意な検定結果は5件であり、次のようになる。

**登校頻度**

問4. あなたは、週(月～金曜日)にどのくらい学校に登校しますか<現在>。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

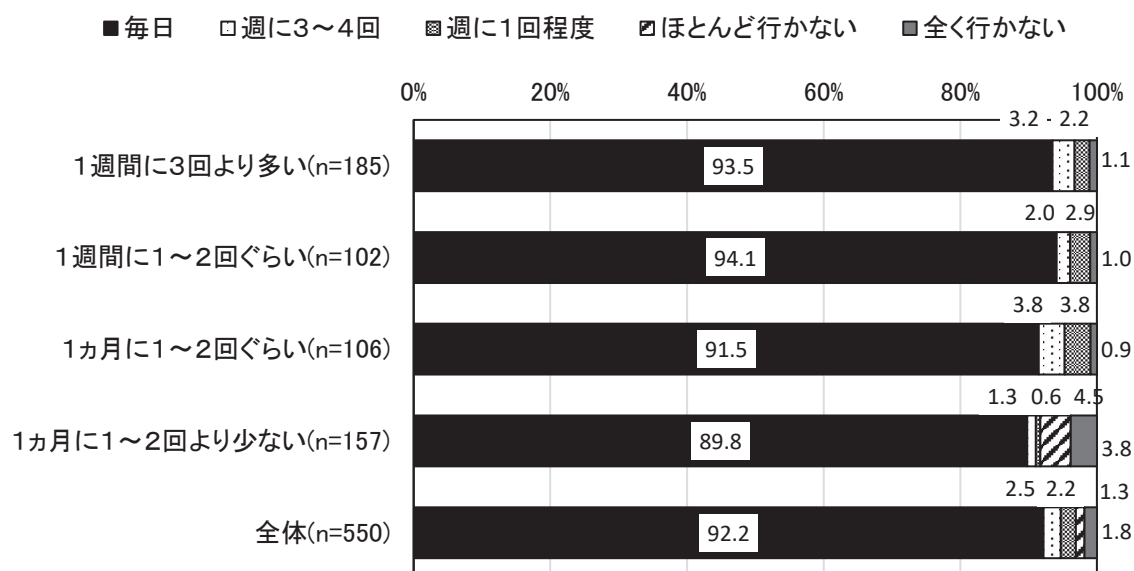


図 220 利用頻度別に見た、登校頻度<現在>

利用頻度と「登校頻度」について、有意な関連を示している(p<0.01)。図 220 で示されたように、「毎日」登校する子どもの割合について、利用頻度が「1週間に1～2回ぐらい」の群は94.1%であり、4つの群の中でもっとも高く、利用頻度が「1カ月に1～2回より少ない」の群は89.8%であり、4つの群の中でもっとも低い。



**学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間**

問6. あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾などの時間も含まれます。）＜現在＞。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- まったくしない
- ▨ 30分より多く、1時間より少ない
- 2時間より多く、3時間より少ない
- わからない
- 30分より少ない
- ▨ 1時間より多く、2時間より少ない
- 3時間より多い

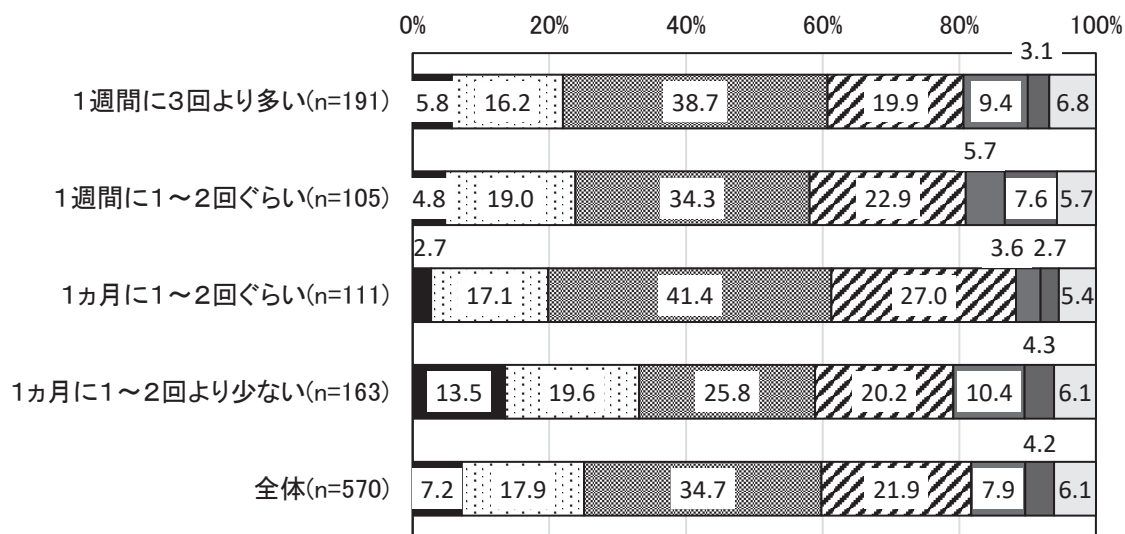


図 221 利用頻度別に見た、学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間＜現在＞

利用頻度と「学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間」について、有意な関連を示している(p<0.05)。図 221 で示されたように、「まったくしない」子どもの割合について、利用頻度が「1カ月に1～2回より少ない」の群は13.5%であり、4つの群の中でもっとも高く、利用頻度が「1カ月に1～2回ぐらい」の群は2.7%であり、4つの群の中でもっとも低い。

同じ時刻に起きる

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

① 同じ時刻に起きる<現在>

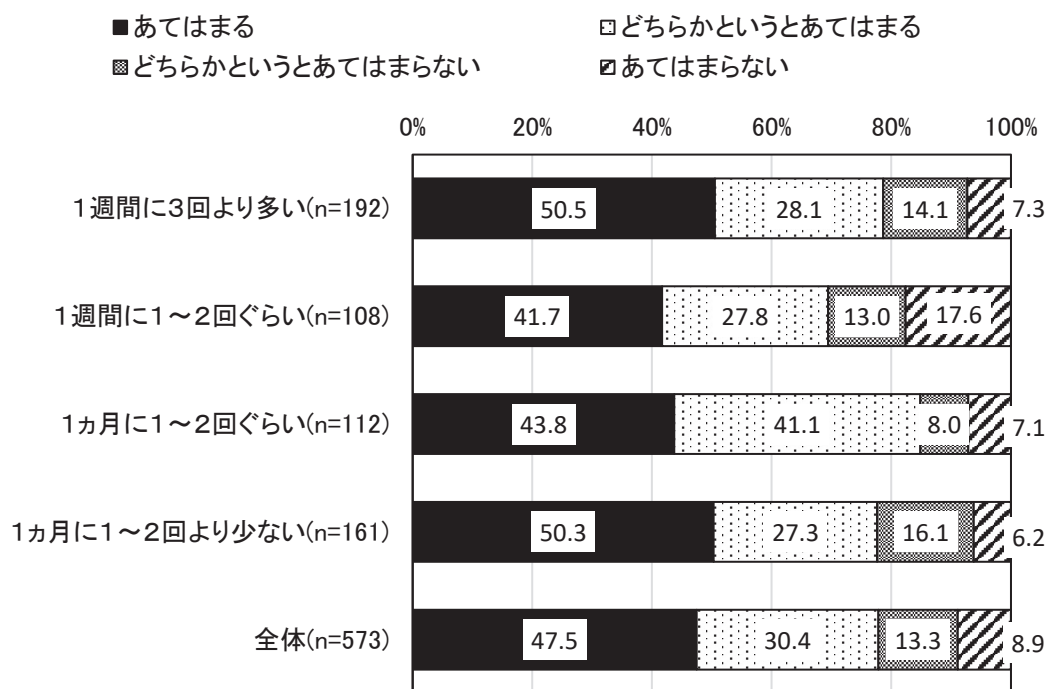


図 222 利用頻度別に見た、同じ時刻に起きる<現在>

利用頻度と「同じ時刻に起きる」について、有意な関連を示している(p<0.05)。図 222 で示されたように、「あてはまる」子どもの割合について、利用頻度が「1週間に3回より多い」の群は50.5%であり、4つの群の中でもっとも高く、利用頻度が「1週間に1～2回ぐらい」の群は41.7%であり、4つの群の中でもっとも低い。

**自分に自信がある**

問 1 2. あなたの気持ちについて教えてください。(①～⑥について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

① 自分に自信がある<現在>

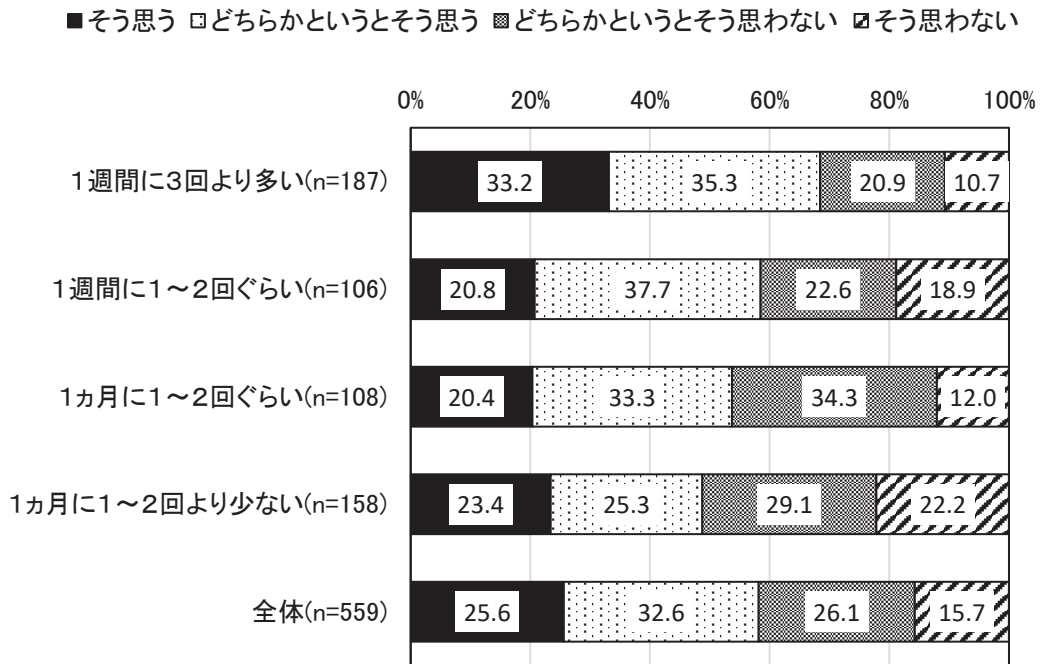


図 223 利用頻度別に見た、自分に自信がある<現在>

利用頻度と「自分に自信がある」について、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 223 で示されたように、「そう思う」子どもの割合について、利用頻度が「1週間に3回より多い」の群は 33.2%であり、4つの群の中でもっとも高く、利用頻度が「1カ月に1～2回ぐらい」の群は 20.4%であり、4つの群の中でもっとも低い。

大人を信用できる

問 1 2. あなたの気持ちについて教えてください。(①～⑥について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

③ 大人を信用できる<現在>

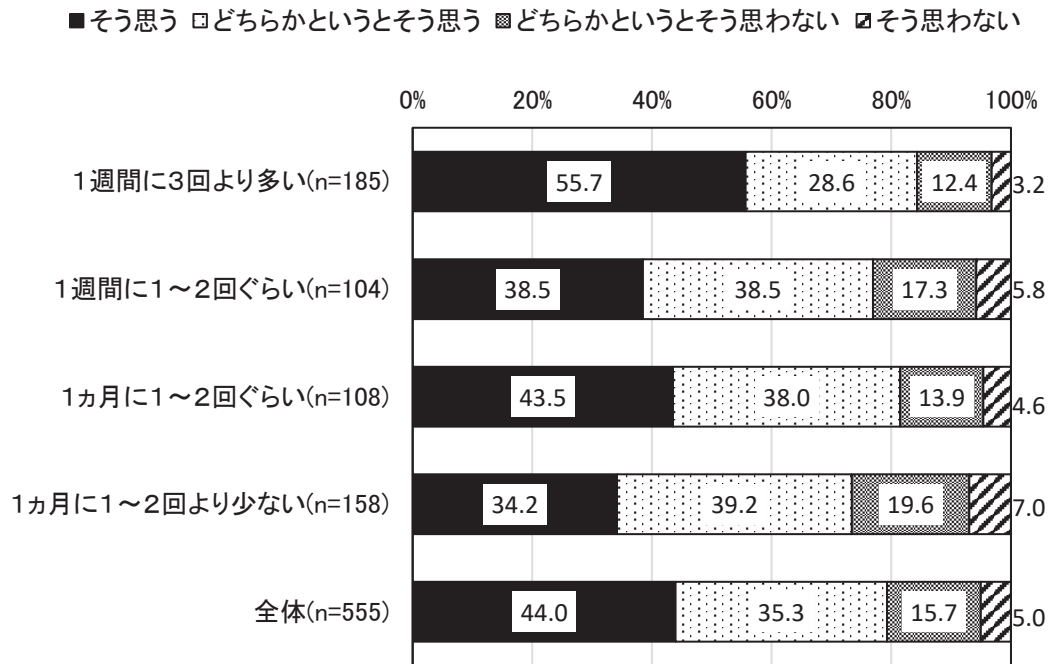


図 224 利用頻度別に見た、大人を信用できる<現在>

利用頻度と「大人を信用できる」について、有意な関連を示している(p<0.01)。図 224 で示されたように、「そう思う」子どもの割合について、利用頻度が「1週間に3回より多い」の群は 55.7%であり、4つの群の中でもっとも高く、利用頻度が「1カ月に1～2回より少ない」の群は 34.2%であり、4つの群の中でもっとも低い。

(2) 社会性との関連

⇒ 利用頻度 (問 2-3) × 社会性 (問 2-4、問 3、問 9、問 10-⑥、⑦、問 11)

利用頻度と社会性との関連を調べるため、9 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、有意な検定結果は 3 件であり、次のようになる。

子どもの交友関係

問 2-4. 問 2-1 で「1 番よく行く場所」と答えた場所に来てから、新しい友達ができ  
ましたか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

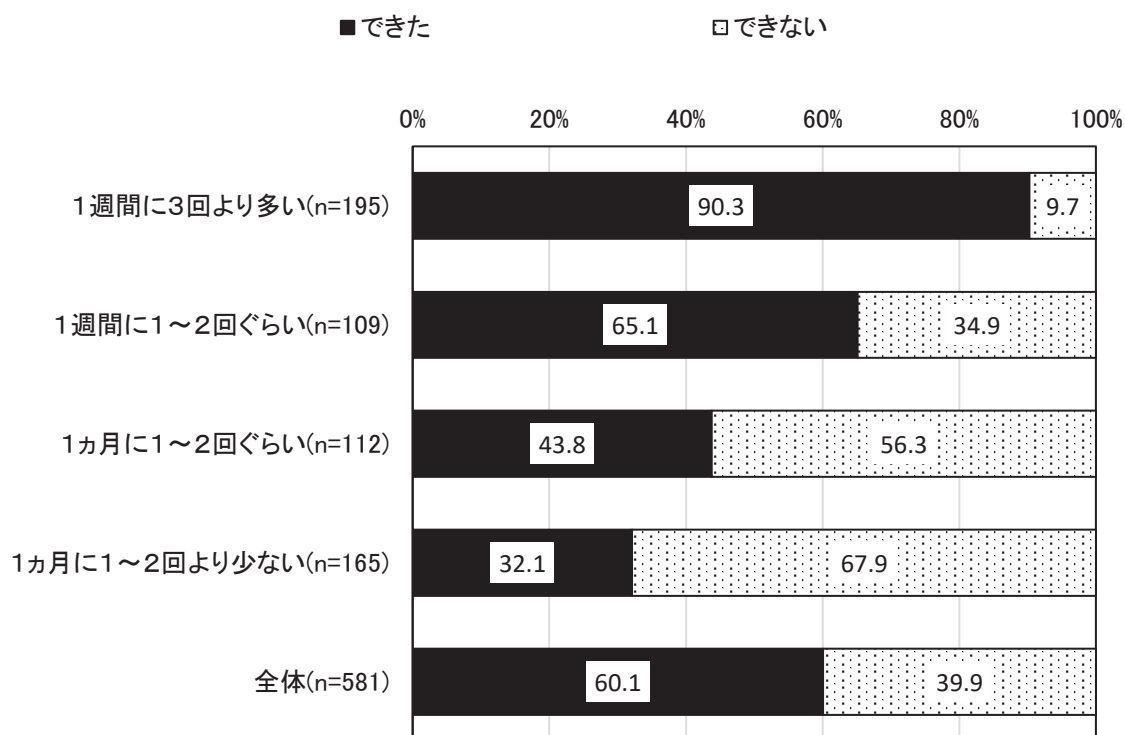


図 225 利用頻度別に見た、子どもの交友関係

利用頻度と「子どもの交友関係」について、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 225 で示されたように、新しい友達が「できた」割合について、利用頻度が「1週間に3回より多い」群は 90.3%であり、4つの群の中でもっとも高く、利用頻度が「1カ月に1～2回より少ない」の群は 32.1%であり、4つの群の中でもっとも低い。

「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思うか。  
 問3. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

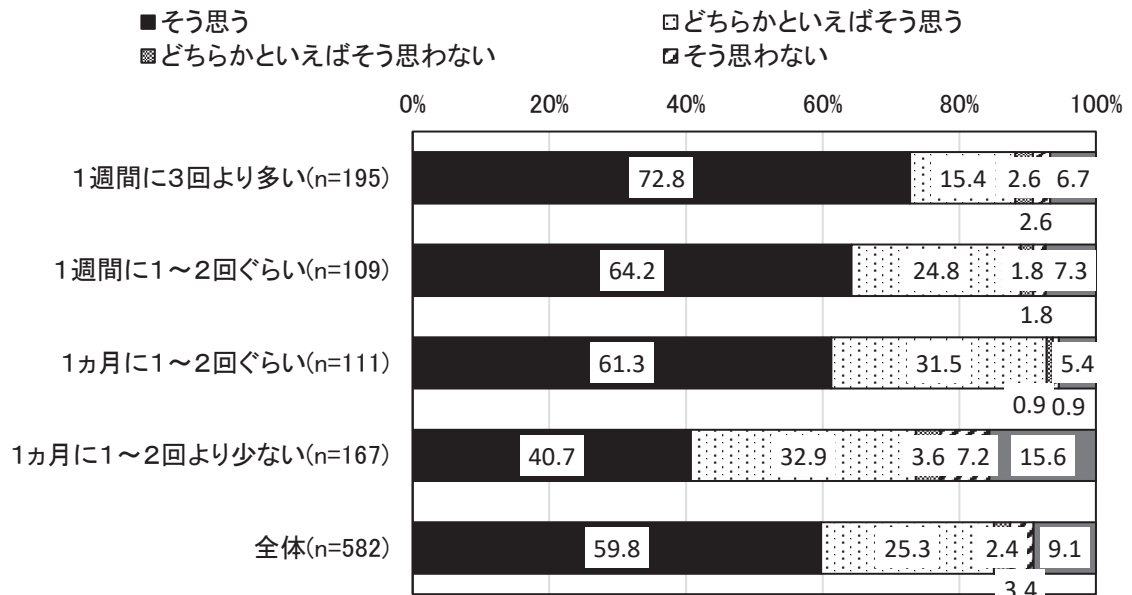


図 226 利用頻度別に見た、「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思うか

利用頻度と「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思うか」について、有意な関連を示している(p<0.01)。図 226 で示されたように、「そう思う」割合について、利用頻度が「1週間に3回より多い」の群は72.8%であり、4つの群の中でもっとも高く、利用頻度が「1カ月に1~2回より少ない」の群は40.7%であり、4つの群の中でもっとも低い。

ふだんの放課後に過ごす人

問9. あなたは、ふだん（月～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか<現在>。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

- 1週間に3回より多い(n=195)
- 1カ月に1～2回ぐらい(n=113)
- 全体(n=585)
- ▨ 1週間に1～2回ぐらい(n=109)
- 1カ月に1～2回より少ない(n=168)

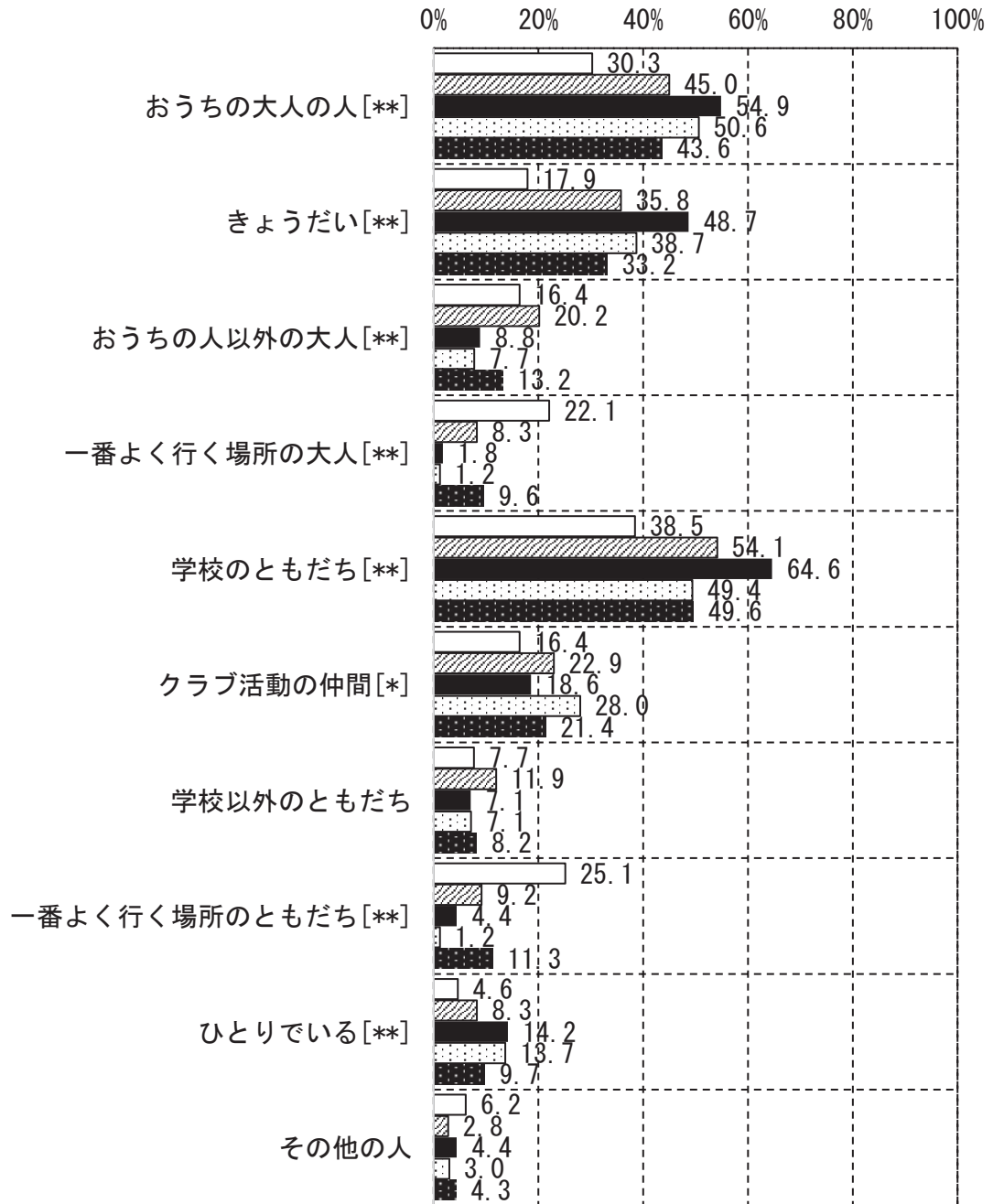


図 227 利用頻度別に見た、ふだんの放課後に過ごす人<現在>

※[\*\*]:p<0.01,[\*]:p<0.05

利用頻度と「ふだんの放課後に過ごす人」について、図 227 で示されたように、「おうちの大人の人」「きょうだい」「おうちの人以外の大人」「一番よく行く場所の大人」「学校のともだち」「クラブ活動の仲間」「一番よく行く場所のともだち」「ひとりである」の 8 項目が有意な関連を示している（「おうちの大人の人」「きょうだい」「おうちの人以外の大人」「一番よく行く場所の大人」「学校のともだち」「一番よく行く場所のともだち」「ひとりである」 $p<0.01$ 、「クラブ活動の仲間」 $p<0.05$ ）。利用頻度が「1 ヶ月に 1～2 回ぐらい」の群は、「おうちの大人の人」「きょうだい」「学校のともだち」「ひとりである」と回答する割合が 4 つの群の中でもっとも高い。「1 週間に 3 回より多い」の群は、「一番よく行く場所の大人」「一番よく行く場所のともだち」と回答する割合が 4 つの群の中でもっとも高い。



3) 社会資源の利用期間別に見た分析結果

(1) 生活状況や教育に関する項目との関連

⇒ 利用期間 (問 2-2) ×生活状況や教育に関する項目 (問 4～問 8、問 10-①～⑤、問 12、問 13)

社会資源ごとの利用期間と生活状況や教育に関する項目の関連性を調べるため、17 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、有意な検定結果は 10 件であり、次のようになる。

**登校頻度**

問 4. あなたは、週 (月～金曜日) にどのくらい学校に登校しますか<現在>。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

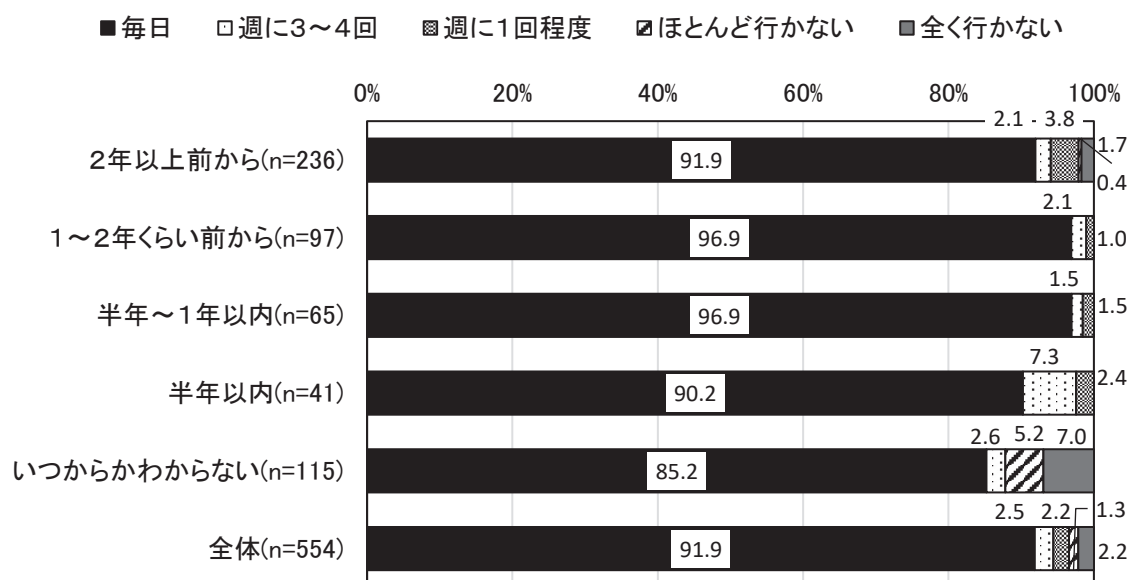


図 228 利用期間別に見た、登校頻度<現在>

利用期間と「学校への登校頻度」について、有意な関連を示している(p<0.01)。図 228 で示されたように、「毎日」登校する割合について、利用期間が「1~2年くらい前から」「半年~1年以内」の群はいずれも 96.9%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 85.2%であり、5つの群の中でもっとも低い。

**学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間**

問6. あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾などの時間も含まれます。）＜現在＞。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

- まったくしない
- ▨ 30分より多く、1時間より少ない
- 2時間より多く、3時間より少ない
- わからない
- 30分より少ない
- ▨ 1時間より多く、2時間より少ない
- 3時間より多い

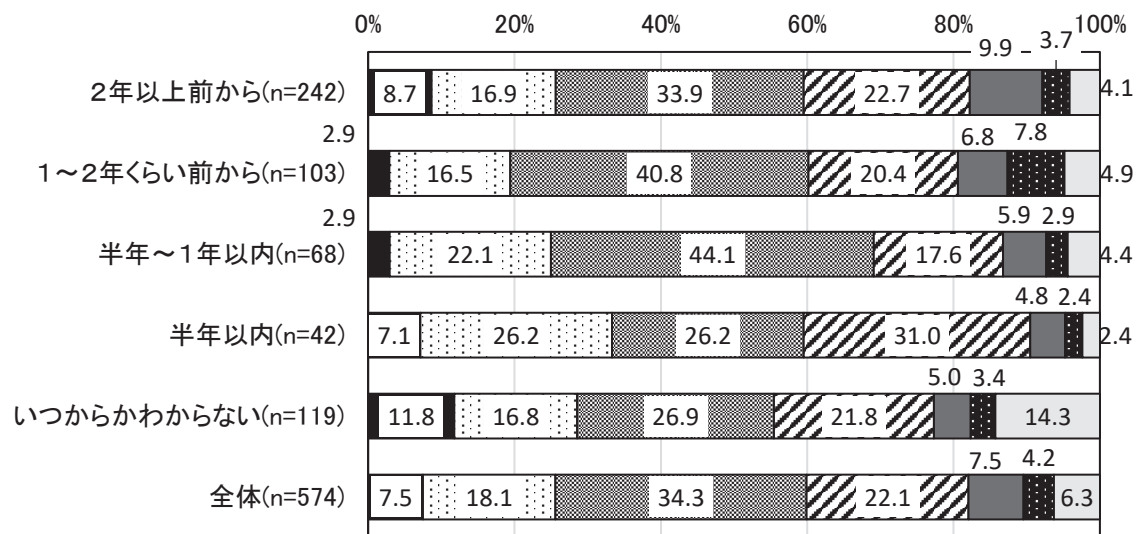


図 229 利用期間別に見た、学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間＜現在＞

利用期間と「学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間」について、有意な関連を示している(p<0.05)。図 229 で示されたように、「まったくしない」と回答する割合について、利用期間が「いつからかわからない」の群は 11.8%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「1～2年くらい前から」及び「半年～1年以内」の群は 2.9%であり、5つの群の中でもっとも低い。

学校の勉強についての気持ち

問7. 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか<現在>。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

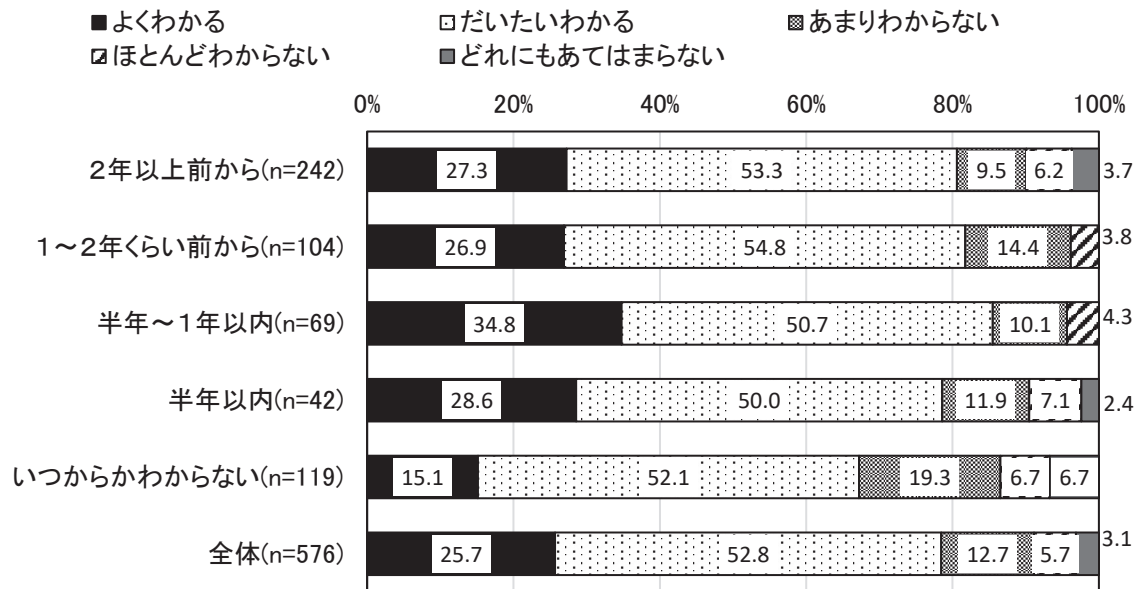


図 230 利用期間別に見た、学校の勉強についての気持ち<現在>

利用期間と「学校の勉強についての気持ち」について、有意な関連を示している(p<0.05)。図 230 で示されたように、「よくわかる」と回答する割合について、利用期間が「半年~1年以内」の群は 34.8%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 15.1%であり、5つの群の中でもっとも低い。

### 学校の授業時間以外の読書時間

問8. あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。）<現在>。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

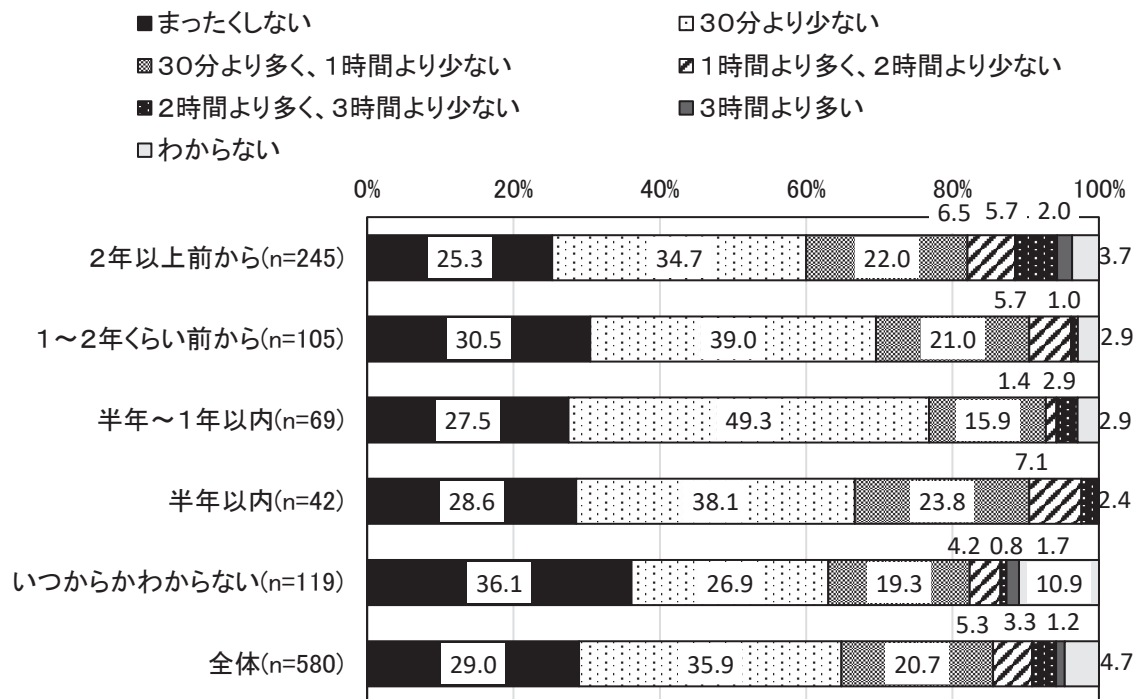


図 231 利用期間別に見た、学校の授業時間以外の読書時間<現在>

利用期間と「学校の授業時間以外の読書時間」について、有意な関連を示している( $p < 0.05$ )。図 231 で示されたように、「まったくしない」と回答する割合について、利用期間が「いつからかわからない」の群は 36.1%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「2年以上前から」の群は 25.3%であり、5つの群の中でもっとも低い。

### 同じ時刻に起きる

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

① 同じ時刻に起きる<現在>

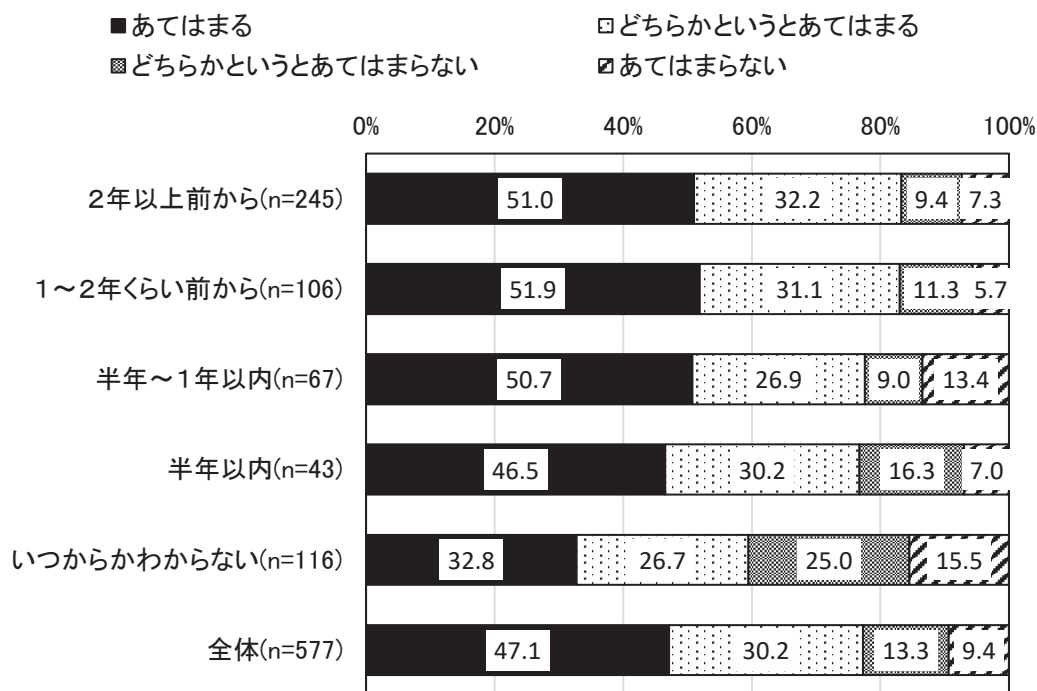


図 232 利用期間別に見た、同じ時刻に起きる<現在>

利用期間と「同じ時刻に起きる」について、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 232 で示されたように、「あてはまる」と回答する割合について、利用期間が「1～2年くらい前から」の群は 51.9%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 32.8%であり、5つの群の中でもっとも低い。

**朝食を食べる**

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

② 朝食を食べる<現在>

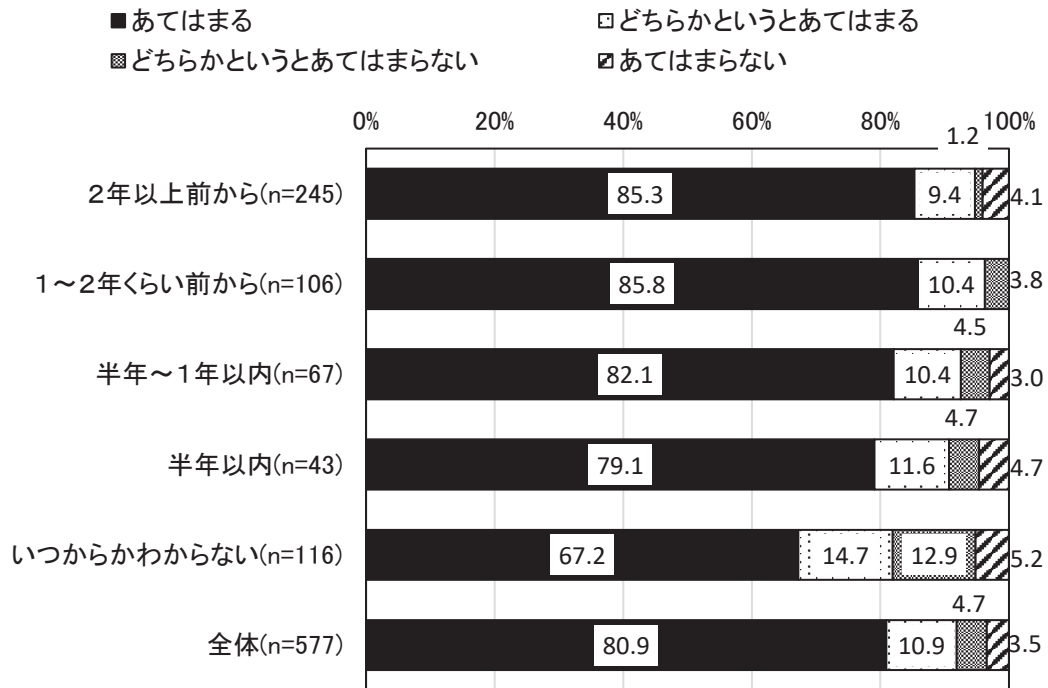


図 233 利用期間別に見た、朝食を食べる<現在>

利用期間と「朝食を食べる」について、有意な関連を示している(p<0.01)。図 233 で示されたように、「あてはまる」と回答する割合について、利用期間が「1～2年くらい前から」の群は 85.8%であり、5つの群の中でもっとも高い。利用期間が「いつからかわからない」の群は 67.2%であり、5つの群の中でもっとも低い。

**健康状態が良い**

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

③ 健康状態がよい(例:おなか痛がなくなった、など) <現在>

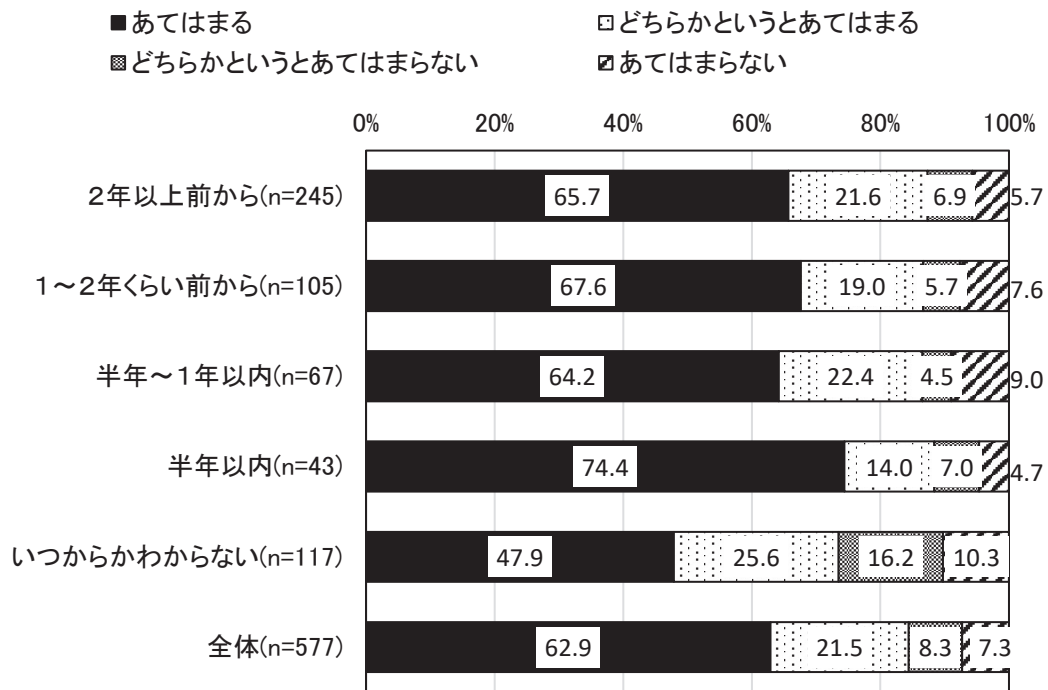


図 234 利用期間別に見た、健康状態がよい<現在>

利用期間と「健康状態がよい」について、有意な関連を示している(p<0.05)。図 234 で示されたように、「あてはまる」と回答する割合について、利用期間が「半年以内」の群は 74.4% であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 47.9% であり、5つの群の中でもっとも低い。

いままでの人生で、心から感動したことがある

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

④ いままでの人生で、心から感動したことがある (小説、映画、ドラマ、マンガ、体験、音楽、芸術、スポーツなど) <現在>

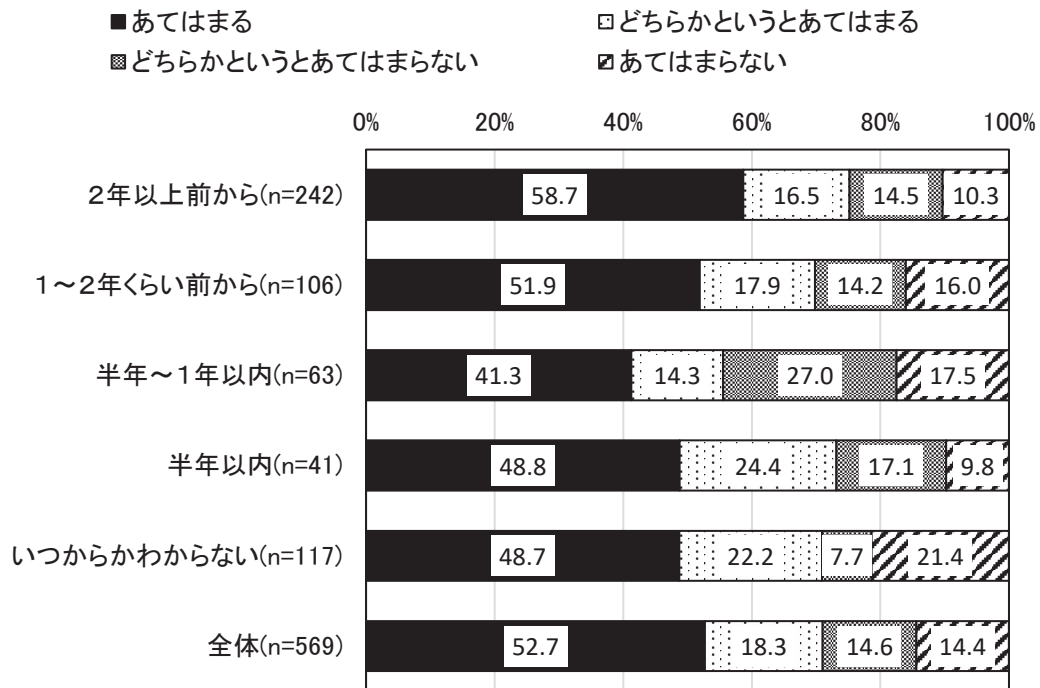


図 235 利用期間別に見た、いままでの人生で、心から感動したことがある<現在>

利用期間と「いままでの人生で、心から感動したことがある」について、有意な関連を示している( $p < 0.05$ )。図 235 で示されたように、「あてはまる」と回答する割合について、利用期間が「2年以上前から」の群は 58.7%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「半年～1年以内」の群は 41.3%であり5つの群の中でもっとも低い。



夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

⑤ 夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある<現在>

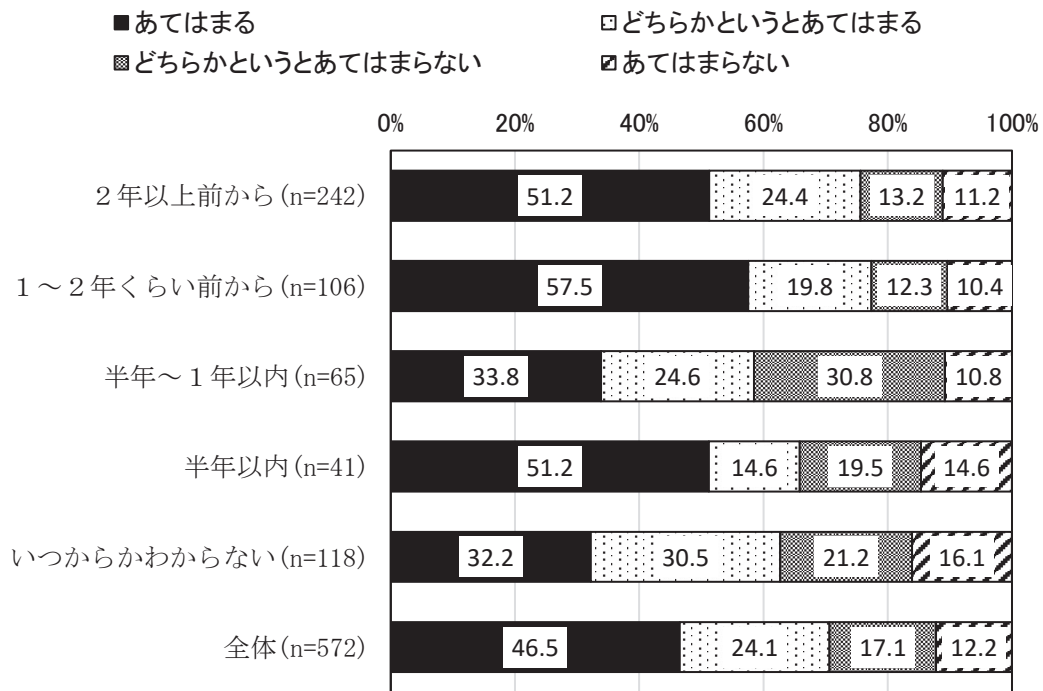


図 236 利用期間別に見た、夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある<現在>

利用期間と「夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある」について、有意な関連を示している( $p<0.01$ )。図 236 で示されたように、「あてはまる」と回答する割合について、利用期間が「1～2年くらい前から」の群は57.5%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は32.2%であり、5つの群の中でもっとも低い。

自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

問 1 2. あなたの気持ちについて教えてください。(①～⑥について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる<現在>

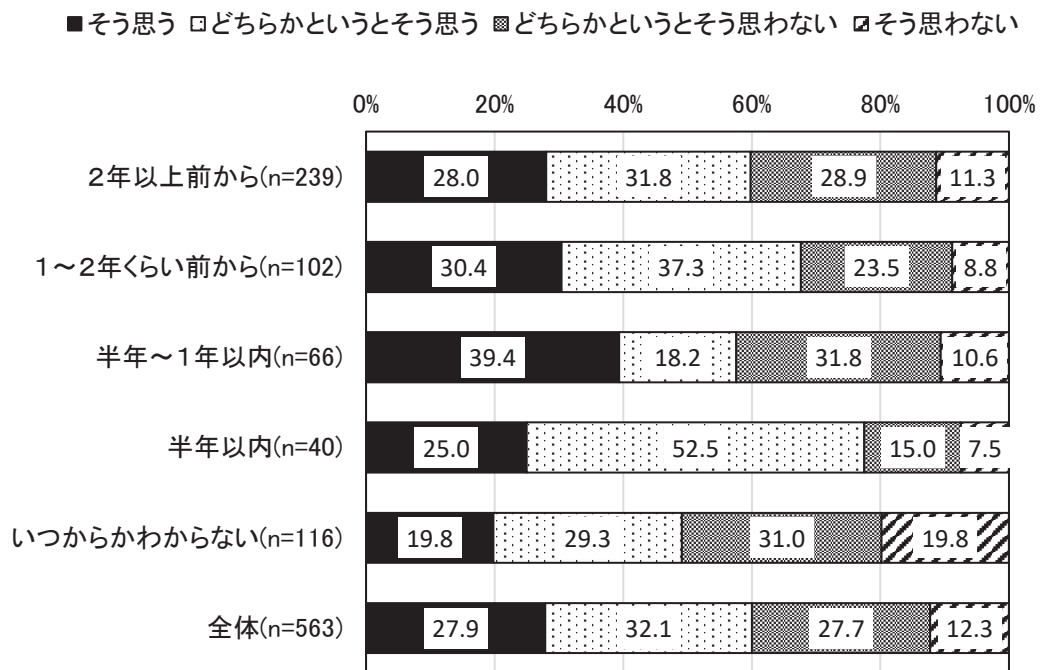


図 237 利用期間別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

利用期間と「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」について、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 237 で示されたように、「そう思う」と回答する割合について、利用期間が「半年～1年以内」の群は 39.4%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 19.8%であり、5つの群の中でもっとも低い。

(2) 社会性との関連

⇒ 利用期間 (問 2-2) × 社会性 (問 2-4、問 3、問 9、問 10-⑥、10-⑦、問 11)

利用期間と社会性との関連を調べるため、9 のクロス表を作成し、検定を行った。その中で、有意な検定結果は 7 件であり、次のようになる。

**子どもの交友関係**

問 2-4. 問 2-1 で「1 番よく行く場所」と答えた場所に来てから、新しい友達ができま  
したか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

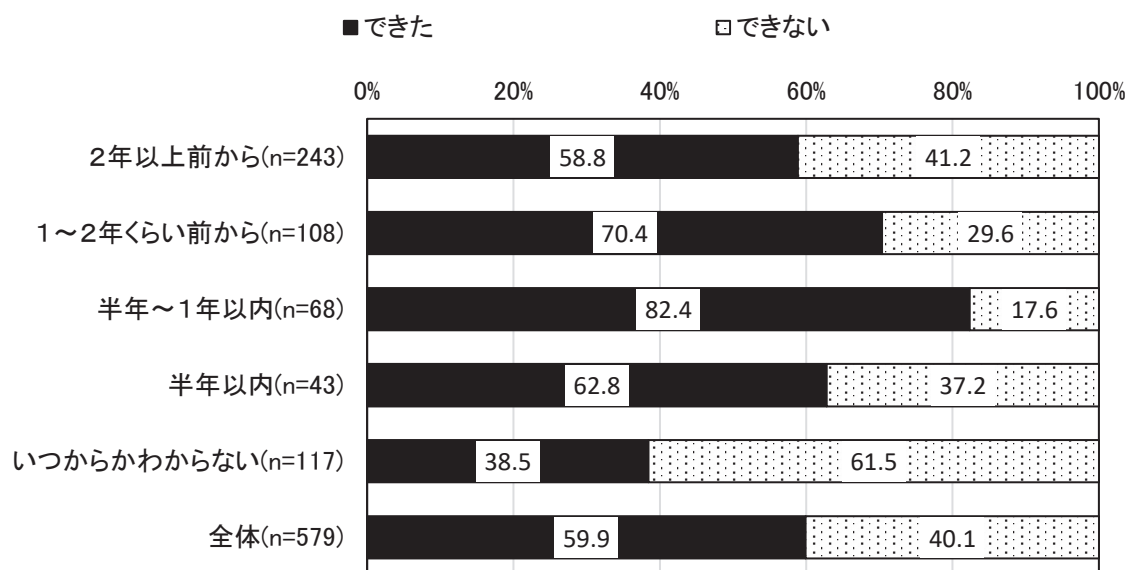


図 238 利用期間別に見た、子どもの交友関係

利用期間と「子どもの交友関係」について、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 238 で示されたように、新しい友達が「できた」と回答する割合について、利用期間が「半年～1 年以内」の群は 82.4%であり、5 つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 38.5%であり、5 つの群の中でもっとも低い。

「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思うか。  
 問3. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

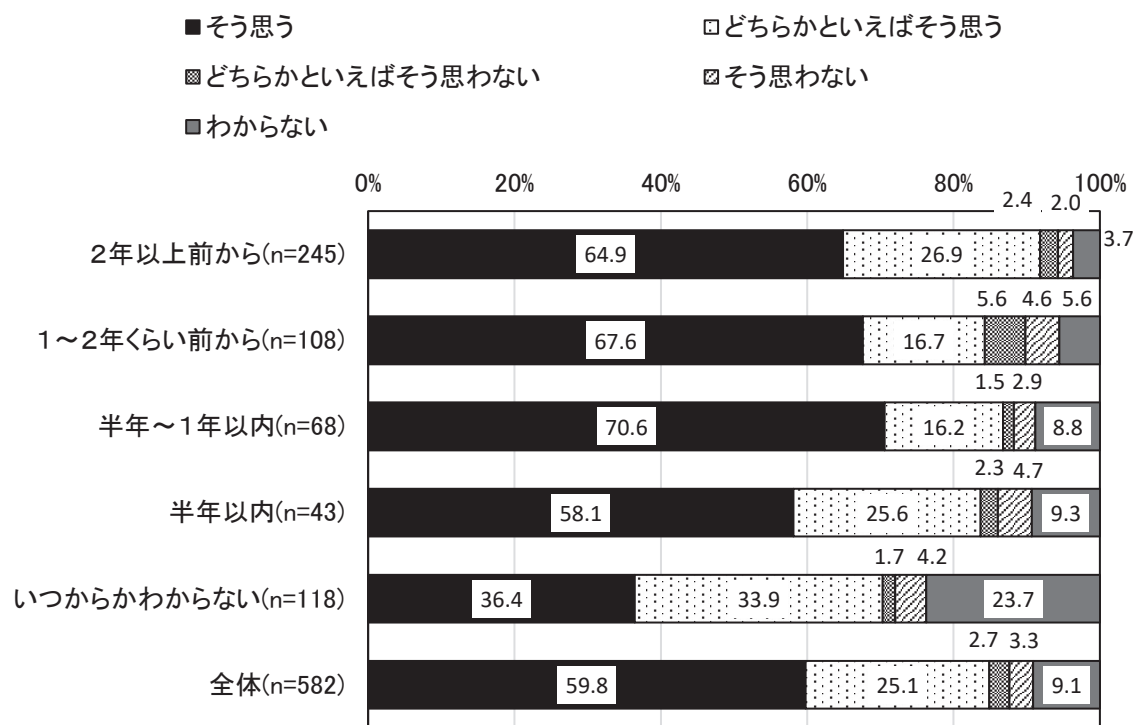


図 239 利用期間別に見た、「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思うか

利用期間と「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思うか」について、有意な関連を示している(p<0.01)。図 239 で示されたように、「そう思う」と回答する割合について、利用期間が「半年～1年以内」の群は 70.6%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 36.4%であり、5つの群の中でもっとも低い。

ふだんの放課後に過ごす人

問9. あなたは、ふだん（月～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか<現在>。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

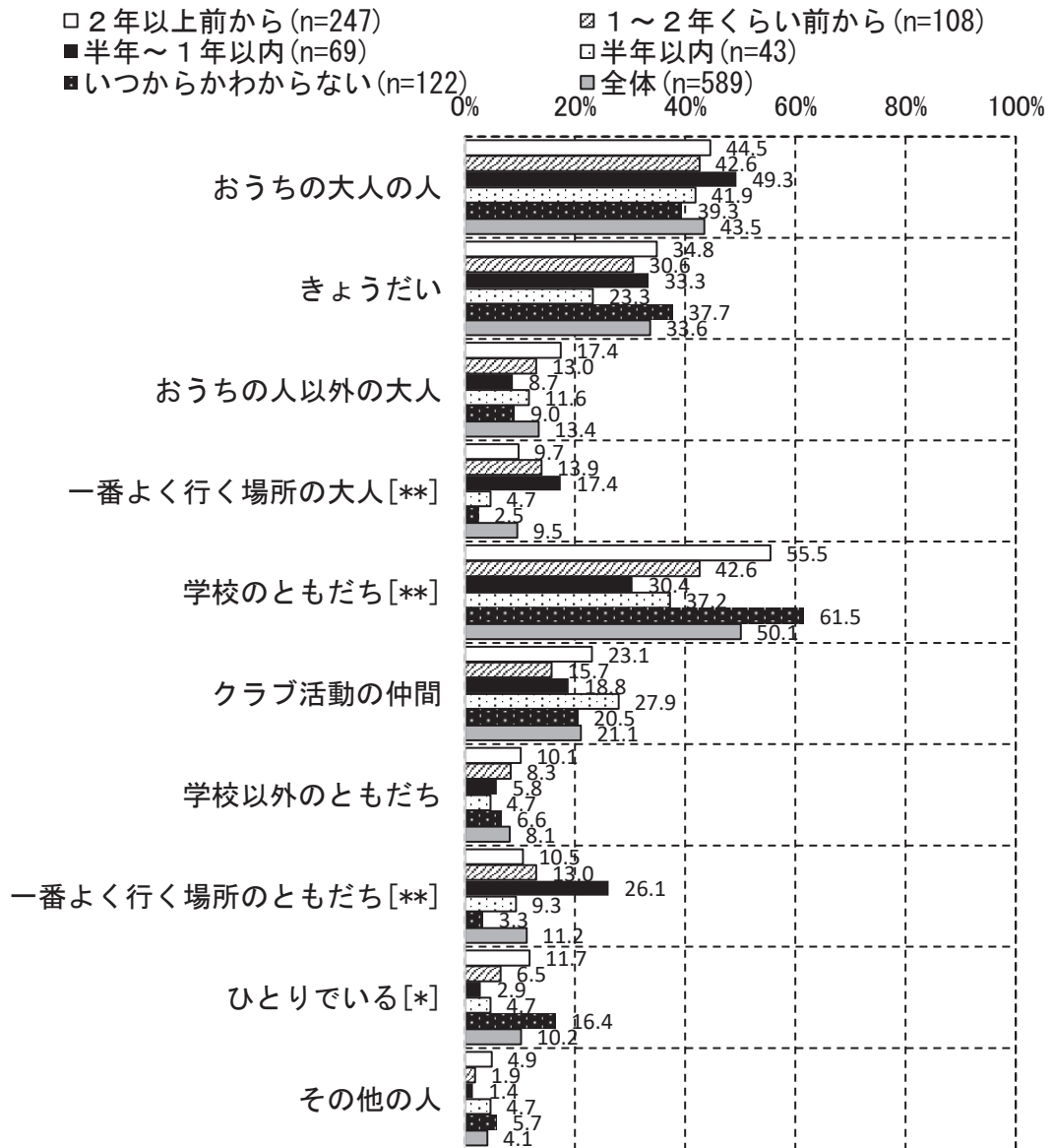


図 240 利用期間別に見た、ふだんの放課後に過ごす人<現在>

※\*\*: $p<0.01$ ,[\*]: $p<0.05$

利用期間と「ふだんの放課後に過ごす人」について、図 240 で示されたように、「一番よく行く場所の大人」「学校のともだち」「一番よく行く場所のともだち」「ひとりである」の4項目が有意な関連を示している（「一番よく行く場所の大人」「学校のともだち」「一番よく行く場所のともだち」 $p<0.01$ 、「ひとりである」 $p<0.05$ ）。利用期間が「半年～1年以内」の群は、「一番よく行く場所の大人」「一番よく行く場所のともだち」と回答する割合が5つの群の中でもっとも高い。

小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

⑥ 小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする<現在>

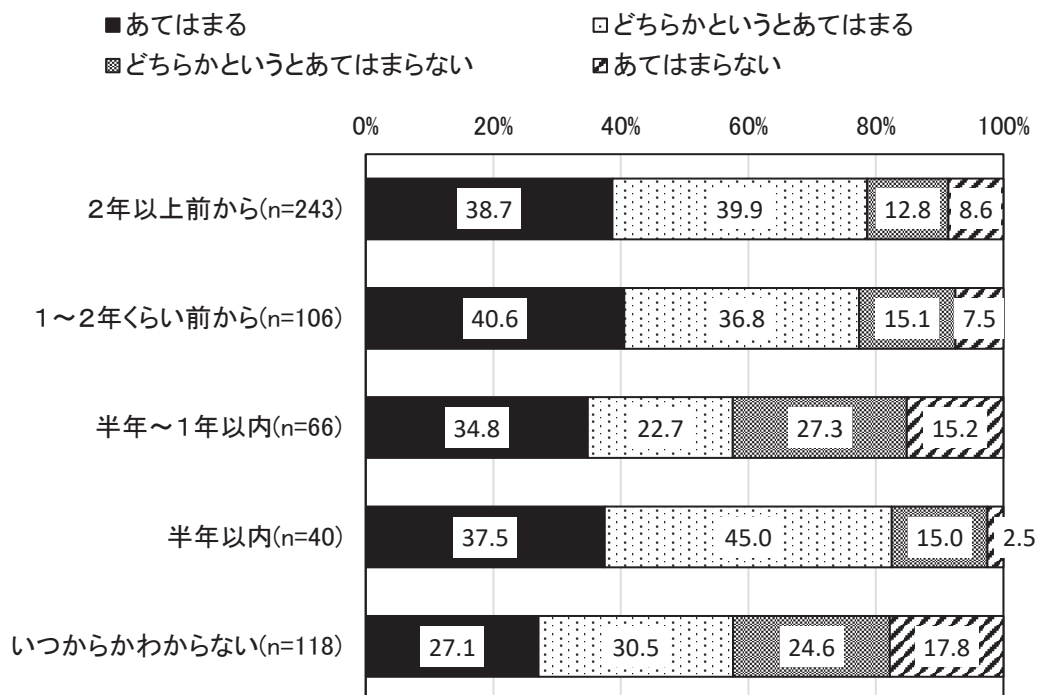


図 241 利用期間別に見た、小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする<現在>

利用期間と「小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする」について、有意な関連を示している(p<0.01)。図 241 で示されたように、「あてはまる」と回答する割合について、利用期間が「1～2年くらい前から」の群は 40.6%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 27.1%であり、5つの群の中でもっとも低い。

あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる

問 1 1. あなたは①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる<現在>

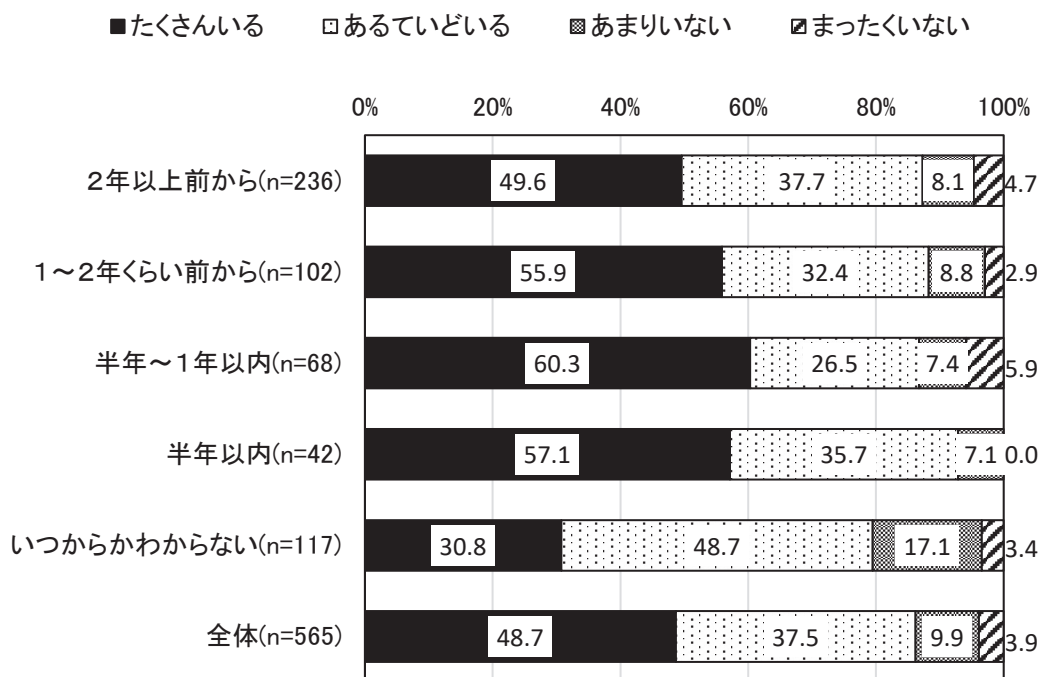


図 242 利用期間別に見た、あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる<現在>

利用期間と「あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる」について、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 242 で示されたように、「たくさんいる」と回答する割合について、利用期間が「半年～1年以内」の群は 60.3%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 30.8%であり、5つの群の中でもっとも低い。

あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる

問 1 1. あなたは①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる<現在>

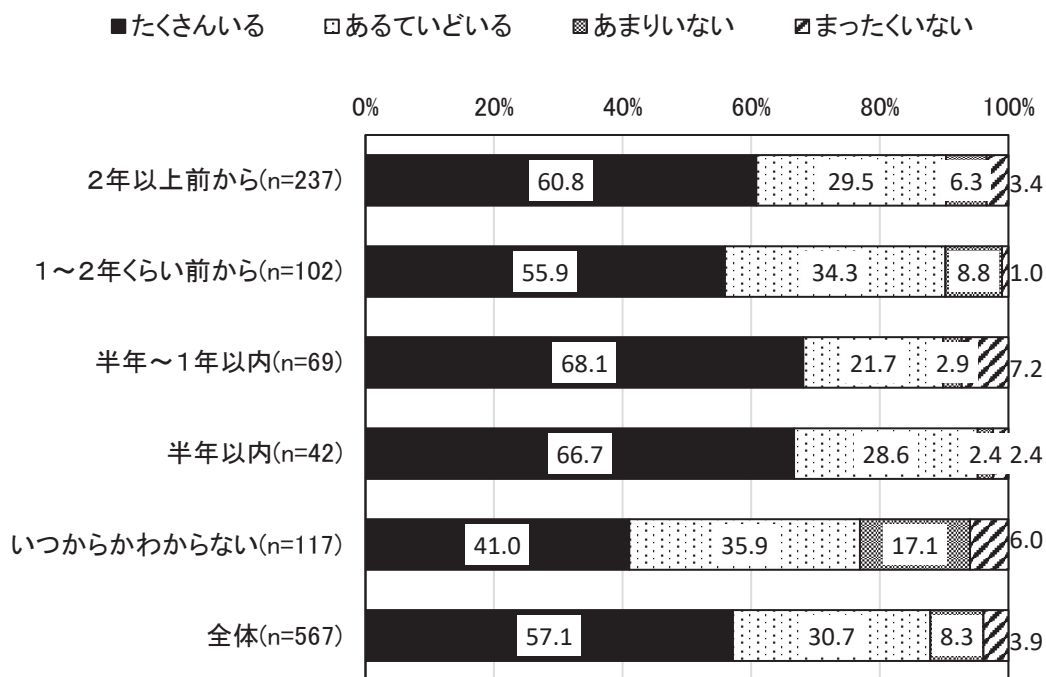


図 243 利用期間別に見た、あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる<現在>

利用期間と「あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる」について、有意な関連を示している( $p < 0.01$ )。図 243 で示されたように、「たくさんいる」と回答する割合について、利用期間が「半年～1年以内」の群は 68.1%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 41.0%であり、5つの群の中でもっとも低い。



一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる

問 1 1. あなたは①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる<現在>

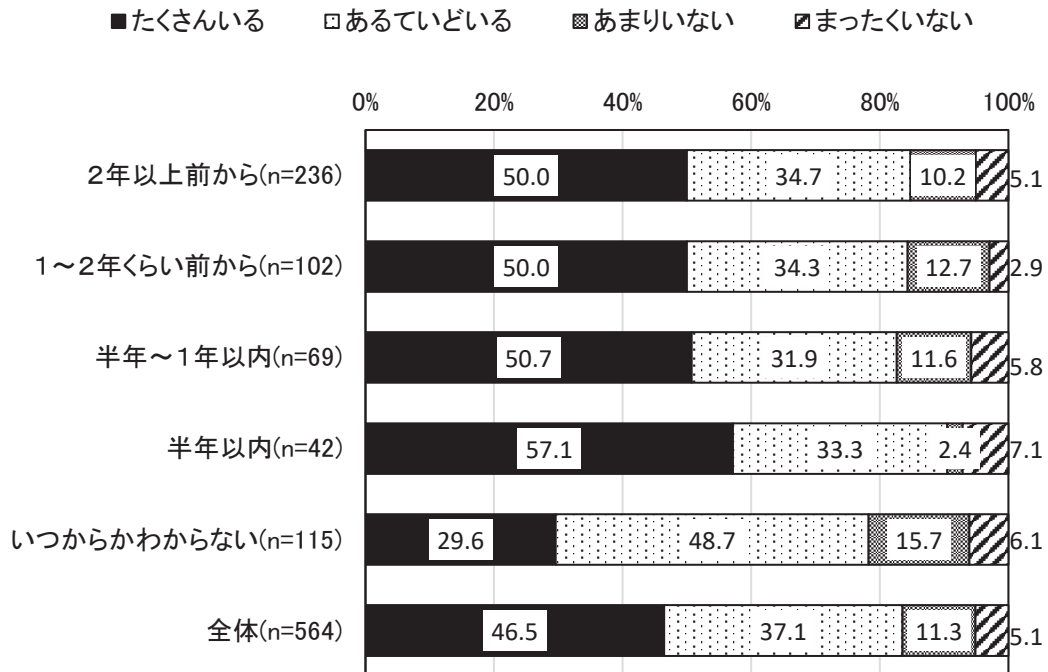


図 244 利用期間別に見た、一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる<現在>

利用期間と「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる」について、有意な関連を示している( $p<0.05$ )。図 244 で示されたように、「たくさんいる」と回答する割合について、利用期間が「半年以内」の群は 57.1%であり、5つの群の中でもっとも高く、利用期間が「いつからかわからない」の群は 29.6%であり、5つの群の中でもっとも低い。

## 6. 自由記述

※自由記述では調査票で得られた回答の原文をそのまま記載する。(個人が特定できる可能性のある表現は〇〇と表記する)

### (1) 1番よく行く場所に行く理由(選択肢8. その他)

問2-5) 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に行く理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

#### カテゴリー1:「学習・読書」

- ・勉強のため。
- ・学校の図書館だから。
- ・本を読みたいだけ(学校の)。
- ・本をかりにいたり、本をよんだりする。
- ・本を借りるため。
- ・本をよむ。
- ・ひまだし本をかりるため。
- ・本が好きだから。
- ・本をたくさん読むため。
- ・ただ単に本読むため。
- ・たまに本を借りるため。
- ・母と一緒に利用!! 本を借りたり、DVDを借りに行く。
- ・本を借りるため。(休日に家族と博物館に行ったりするため)。
- ・学校でつかう資料等の調べ物でしようしている。
- ・学校の課題の資料集めなどのため。
- ・すきな本があるから。
- ・おもしろい。ものがたりとであえるから。
- ・学校(図書室)で行くから。
- ・ほんがおもしろいから。
- ・しらべるため。

#### カテゴリー2:「習い事・部活動」

- ・習字に行くため。
- ・たいりよくをつけるため。
- ・そろばん
- ・部活
- ・空手教室に参加するため。

- ・うんどうをするため。
- ・バスケットをするため。
- ・サッカーがうまくなるため。
- ・クラブかつどう
- ・スポーツするため。
- ・部活に入っているから。
- ・ならいごと。
- ・ラジオたいそう
- ・エイサーをするため。
- ・バレーボールをするため。
- ・子ども育成会
- ・ダンスの場所がそこだから。
- ・バスケを上手になりたいから。
- ・ピアノ
- ・サッカーのぎょうじ。
- ・スポーツが好きだから。
- ・塾
- ・習いごと等。

### **カテゴリー3：「行事」**

- ・地域行事。
- ・まつりでおもちやをとるため。
- ・まつりなど。
- ・行事に参加するため。
- ・いべんとがあるため。
- ・行事で呼ばれるから。

### **カテゴリー4：「家庭事情」**

- ・お母さんが学童の先生だから。
- ・お母さんがいるから。
- ・おかあさんがしごとについているから。
- ・お母さんがはたらいているから。
- ・母がいるから。
- ・家が遠いからむかえをまつ。
- ・両親仕事のため。
- ・いとこの家

- ・祖父・祖母を見にいくため。

#### **カテゴリー5：「友人」**

- ・みんなでいく。
- ・みんなと本をかりにいく。
- ・友だちをつくるため。
- ・友達と話ため。
- ・友だちと公園に行ける！！

#### **カテゴリー6：「その他」**

- ・きょうみがあるから。
- ・遊ぶため。
- ・買い物。
- ・地域の人とかかわるため。
- ・ひまつぶし
- ・もういってない。
- ・楽しいから。
- ・ひまだから。
- ・母に行こうと言われたから。
- ・一回しか行った事がないから分からない。
- ・遊ぶものがあるから。
- ・これが一番よくいくから。
- ・車をのるため。
- ・話合いをするため。
- ・無理矢理いかされてる。
- ・親に言われた。
- ・行ってない。
- ・家でひまだから。
- ・ネットがある。
- ・氷を入れに。
- ・食事・買い物・あそび
- ・下校、帰り道危険をさける為。
- ・たまたま。
- ・母に入れさせられた。
- ・だいたい行ってないから。
- ・家に相手してくれる人がいない

## (2) 家族構成 (選択肢5. その他)

問17) いっしょに暮している保護者の方について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

### カテゴリー1:「親と祖父母がいる」

- ・お父さんがいてお母さんいないけど、祖父と祖母がいる。
- ・おばあちゃん。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんがいる。

### カテゴリー2:「おじ・おばがいる」

- ・祖父・祖母・弟・叔母

### カテゴリー3:「兄弟がいる」

- ・きょうだいや両親がいる。
- ・おとうと

### カテゴリー3:「その他」

- ・お母さんが糸満市にいて、お父さんがやんばるにいます。
- ・答えたくない。
- ・お母さんが家、お父さん単身赴任中。
- ・お母さんと、子ども。

## (3) 望むこと (選択肢5. その他)

問19) あなたはどのようなことを望んでいますか。

### カテゴリー1:「趣味・遊び」

- ・たくさんあそびたい。
- ・工作と手げい。
- ・スポーツを教えてください。
- ・そろばんいきたい。
- ・スポーツをならう。
- ・やきゅうせん手
- ・えをおしえてくれたりするところ。
- ・あそぶところべんきょうできるところ。
- ・パソコンをおしえてくれるところ。

- ・友達とあそぶ所。
- ・魚つりしたい。
- ・野球
- ・たくさんのK-POPの店ができること。
- ・家から近い広い公園。
- ・ゲームができる場所。
- ・こうえん
- ・吹奏楽がしたい。

### **カテゴリー2：「経済面」**

- ・お金が欲しい。
- ・子どもが無料であそべる場所。
- ・むりょうでなんでも買えること。
- ・バス通無料
- ・家賃が無料。
- ・無料でゲームができる。
- ・しょうらい努力してけんきゅう者になってお金をかせぐこと。

### **カテゴリー3：「安全・平和」**

- ・幸せな人生。
- ・相談をきがるにできる所。
- ・家族の幸せ。
- ・みんなが悲しまない。けんかやいじめがない。
- ・ぎゃくたいがなくなること。
- ・平和

### **カテゴリー3：「その他」**

- ・何も望んでいない。
- ・1人になること。
- ・分からない。
- ・何もしたくない。
- ・今で十分。
- ・全室にWi-Fi
- ・宇宙に行けること。
- ・勉強がちゃんとできること。

#### (4) 行ける場所に行って良かったこと、望むこと等

問20) あなたが行ける場所に行って良かったことや、望むこと、その他何でも思うことについて書いてください。

【行って良かったこと】

##### カテゴリー1:「学習・読書」

- ・学校の勉強ができる。
- ・知識がふえた。
- ・行ける場所に行って良かったことは、図書館です。本が読めて、楽しいからです。
- ・図書館に行き、あまりきょうみのなかった本もかり、いろんな種類の本を読むことができた。
- ・学校の勉強を教えてくれるところに行けて分からない所も難しかったところも先生に教えてもらえるから、行けてよかった。
- ・そろばんにいけてたすひくができてうれしかった。
- ・べんきょうをおしえてくれる。あそべる。あそんでくれる。
- ・学校(中学校)→たくさん勉強できた。福祉センター→福祉のことについて学べた。保育園→保育のことについて学べた。
- ・べんきょうが、すこしおわるし、べんきょうが学どうでおわったら、あそべるし、べんきょうがおわるから、家に帰ったら、べんきょうしないで、あそべるから。
- ・勉強がわかるようになった。
- ・地域の居場所は、無料で食事や勉強をしてくれるので、あきらめかけていた将来の夢も頑張ってみようと思いました。
- ・おんなそんのとしょかんで本をかりたときとてもうれしかったです。そしてかでの本やさんでイベントや本をかえたのがなによりもうれしかったです。
- ・本をよむことがすきになった。
- ・公民館や図書に行って宿題や本が読めたこと。
- ・学校の課題の資料集めのために市立図書館を利用したりするのですがその際に、本はインターネットとは違って正しい情報を集めることができるので、とても助かっています。
- ・与勝じゅくは行けてよかった。
- ・図書館にいて前よりもごい力が上がった。
- ・図書館に行って知識を深めることができて良かったです。
- ・大学生とかに勉強を教えてもらって、分かりやすかったし席次が上がった。

##### カテゴリー2:「学校・行事」

- ・学校に通って色々なことが分かったから良かった。
- ・いろいろな体験や旅行などです。

- ・学校で勉強や部活ができる。
- ・地いきの祭りなどを友達と行けて楽しかった。
- ・学校でべんきょうができるしともだちもできてまいにちまいにちであいがある。
- ・部活にはいって、あいさつや敬語ができるようになった！
- ・じょうすい場と倉敷ダムとかに学校でいけたのでよかったです。
- ・がっこうであそぶのがたのしい！
- ・きのう（日ようび）こどもフェスティバルにいけてよかったです。
- ・社会科見学で、仕事たいけんして、仕事は、大切だと思いました。
- ・同じ学年の友達と同じ部屋でねて、初めて修学旅行だと感じた。おみやげもかって楽しむことができた。
- ・自分の為にもなる体験や活動など、高校の体験入学で将来の職業について学べたこと。
- ・公民館で祭りに来たこと。
- ・私は、部活やじゅく、習い事で、友だちもたくさんいるし、学校のべんきょうにもついていけたり、自分の好きな事をたくさんできたりして良かったです。
- ・部活に入って良かったと思った。なぜなら、友達やチームワークの大切をしったから。
- ・なかきす児童センター
- ・サッカー部
- ・学童に行って良かったこと。アイススケート場や、ダンボール迷路、県総で自転車に乗ることなどの体けんや、1りん車大会やドッジボール大会に行けること。友だちがいっぱいいること。学童でいろんなことが強くなったり、うまくなったりすること。
- ・意外と学校に行けない人がいるので、ぼくは学校に行けることが良かったと思います。また、良かったと思った事は、勉強ができたり、友達が作られたり、給食が食べられたりすることができることです。
- ・太陽じどうかん
- ・ダンス部として使って、かがみがあるから自分を見ておどれるから行って良かった！
- ・吹奏楽部に入っています。部活に入ってやりがいをととても感じています！！ 家族もおうえんしてくれているので一生懸命がんばる！！という心意気です。

### **カテゴリー3：「趣味・遊び」**

- ・公園→たくさん遊べた。海→きれいで、たのしかった。
- ・サッカーの試合に行きかんせんして、サッカーの知識がまなべた。
- ・トイザラスに行って良かった。
- ・沖縄セルラースタジアムで、沖縄の高校野球やプロ野球を見れるから。
- ・みやこじょうにいてよかった。またいきたい。
- ・せなが島のぜっけい。
- ・中国に行ったり、アメリカに行ったりして良かったと思う。



- ・ボーリングに行けてよかった。パルコシティに行けてよかった。
- ・映画館に行ったこと。
- ・ゲームセンターに行って千円分ゲームができたこと。
- ・じどうかんについて、うんどうがすきになった。
- ・ハッキンに行って、欲しいものがそろったのでよかった。
- ・美ら海水族館 キレイな海を見ることができたから。
- ・美術館、博物館などいろいろな人の考え方、好み、個性などが見れて面白いと思う。
- ・ステーキたべにいった。
- ・ピアノが楽しい。
- ・家族みんなで、いろいろな場所にお出かけに行って楽しかった！
- ・まほうのびじゅつかんでいっぱいあそんでよかったとおもいました。
- ・スケートリンク（サザンヒルズ）
- ・大阪に行って楽しかった。
- ・マンガをかしてもらってよかった。
- ・ぼくは、3年生までになにも部分とか入っていなかったけど、4年生になって友達にさそわれて野球をして楽しかったから行って良かった。
- ・ライカム→（いろいろな物がかえた）。 ちゃたん→（かんこう客がみれた）。
- ・学どうにドッチボールクラブがあつてよかったです。ドッチボールがつよくなるしキャッチもうまくなるからです。

#### **カテゴリー4：「人間関係」**

- ・友達などがふえたから。
- ・家族といっしょにいられること海に行ったこと友達を大切にしたい。
- ・その場所にいくことによって友達が増えいろいろな人と関わる事が増えたことが良かった。
- ・児童館に行って他の小学校の人と仲良くなれて、きちょうなイベントに参加できて良かったと思う。
- ・新しい友達はできなかったが、友達との仲がもっと良くなった。
- ・友達と勉強できた。
- ・太陽児童センターに行つて良かったと思う。パフォーマンスクラブのメンバーと仲良し、先生たちとかかわつて、たくさんなことを学んだ。イベントにもたくさん参加して、たくさんの人とかかわることができた。もっとマネージャーや人の役に立つ人になりたいと思うようになった。
- ・地域で関わりをもてる所や公共の場があるんだなと思いました。
- ・ともだちとかもいっぱいいるしおかあさんがおそくなくてもそこでまっつていてふあんもないから。

- ・絵をかくのがとくいなことや、イライラした時など、へんなおしなくていいでいてくれる先生がいて良かった。
- ・行ける場所に行って良かったことは、友達ができて、その友達が時々宿題をおしえてくれることです。
- ・学校にいてまいにちおともだちやまいにちかぞくといっしょにごはんをたべたりテレビがみれるだけでまいにちがしあわせ。

#### **カテゴリー5：「その他」**

- ・こうみんかんにいってとてもよかった。
- ・デイサービスにいけてよかった。いけるところはいっぱいあるのでいいです。
- ・公園と自分の家。
- ・じどうかんにいってよかったとおもう。
- ・にゅうぎょう。
- ・楽しくできる。
- ・自分もみんなのやることがわかった。
- ・だんたいになれることができた。
- ・たい力がついた。
- ・いろいろな体験ができていいと思う。
- ・土よう日にごはんがたべられる。
- ・地域未来塾
- ・図書館に行くと、落ち着くから行って良かった。
- ・公民館に行くと、水などをもらえる。また、親切にもらえる。
- ・なかきすにいけてよかった。
- ・スーパーにいけてよかった。
- ・ばば、じじの家に行けてよかった。
- ・ほうかごこども教室にいて良かったことは、自分の足が速くなったことや、気持ちがつよくなったことだと思います。
- ・私が行ける場所に行って良かったことは、お家です。なぜかと言うと、お家が好きだからです。楽しくて、いやなことがわすれられる場所だからです。

#### **【望むこと】**

#### **カテゴリー1：「学校」**

- ・小学校にもお着がえする場所（部屋）がほしい。
- ・イベントをあと1つだけ増やしてほしい。
- ・学校に勉強用タブレットを入れてほしい。そしたら分からない所何回もたしかめられる。
- ・学校が嫌になった時の居場所を増やしてほしい。

- ・学校の先生の言葉えぐい（傷ついて夢をあきらめた）。
- ・給食まずい、もっとおいしくしてほしい。
- ・校則きびしすぎる、スカート長い、眉、前髪、なんでだめなのか、ちゃんと教えてほしい。
- ・学校の先生達の言葉づかいでたくさん傷ついた。直してほしい。
- ・給食がおいしくない。おいしくしてほしい。
- ・先生達の保身がすごい。やめてほしい。なぐるとか言うのもやめてほしい。
- ・学校にしょうらい使わないじゅぎょうが多すぎるからなくしてほしい。
- ・学校に行きたくない。理由はべんきょうがいや、休み時間がすくない。家でやりたいことができない。学校にいる時間がながすぎる。
- ・同じクラスで仲がいい友達の〇〇といっしょに勉強したい（べつきょうしつで←学校内にある）
- ・あんまりながく6校時までとかは学校にいたくない。
- ・体育館にクーラーをつけてほしい。トイレを洋式にしてほしい。
- ・のぞむことは、もっとわかりやすくべんきょうをおしえてほしい。
- ・校則をもう少しゆるくしてほしい。例に眉そるのOK。
- ・学校行きたくない。
- ・先生がうるさい。
- ・学校のみんな口が悪すぎる。
- ・学校にゴキブリがいっぱいいるから、なんとかしてほしい。
- ・また前のクラスに戻りたいです。
- ・あやはし小学校のきょうとう先生とこうちょう先生がやさしくていいです。
- ・中学校にいきたくない。
- ・きゅうしょくをたべたくない。
- ・べんきょうをしたくない。
- ・はっぴょうをしたくない。
- ・みんながいつもはしらなかったらせんせいは、どなったりしないのにみんながはしるからせんせいは、いつもどなる。
- ・てんこうしたい（友達のこと）。先生きびしい（イライラとまらん）。がっこういや（いろいろあった）。一人がいい（おちつく）。だれにもじゃまされない。
- ・学校に信頼出来る人がほしい。ちゃんと相談のつてくれる人がほしい。中学校に入学して行ってみてよかった。でも、その分、辛いことは小学生の時よりも増えたから、自分の事を信じてくれる人がほしい。
- ・無理だと思うけど、中学もズボンあればなあと思う。
- ・成績表の詳しい採点基準。
- ・がっこうがふるい。
- ・学校にいる時間を少なくして、家族とすごしたり、友だちと遊びたい。

- ・学校の先生がいつもそをつく。かんちがいでおこられる。
- ・学校にスマホ、タブレット持ちこみOK。
- ・じゅぎょう中とかに音楽をながしてほしいです。

### **カテゴリー 2 : 「趣味・遊び」**

- ・ 1ヶ月に1回、みんなでえいがを見たいです。もう1回ラウンドワンに行きたいです。
- ・部活やめてしまったけれど、また、クラブに入りたい (テニス)。
- ・沖縄にゆうえんちができてほしいです。
- ・スマホがほしいです。
- ・りょこうへいきたい。とうきょうディズニーランドに行きたい。
- ・コストコがちかくにできてほしい。
- ・猫をかいたい。
- ・かぞくりょこうに行きたいな。
- ・ディズニーランドやUS Jに行きたいです！！
- ・韓流ショップ
- ・韓国の俳優さんに会いたい。
- ・望むこと。「L I V E」に行きたい！！ 沖縄でライブ！！！！ TWICE B T S。
- ・毎日、ゲームがしたい。勉強、きらい。
- ・アニメのようふく。
- ・ライカム
- ・サッカーがうまくなりたい。
- ・カラオケトマトにW i - F i。
- ・ちかくに、ゲームセンターやこうえん、かいものできるところがほしい。
- ・はくらん会 自由に博物館などが入れたらいい。
- ・家から近い広い広園。・広いしきち。
- ・ 아이폰がほしいあとギガも。
- ・有名なサッカー選手になりたい。
- ・ロナウドに会いたい。
- ・糸満に大きいショッピングモールできてほしい。
- ・ 아이폰 (ギガがある) がほしい

### **カテゴリー 3 : 「場所・設備」**

- ・子供の遊ぶ所がないので、もっと増やしてほしい。(ゲームセンターやカラオケに行っても怒られる。先生達に)。
- ・無料で食事と勉強をおしえてくれる場所が近くにほしい。

- ・子どもで公園以外に遊ぶ所があればいい。高学年でも楽しめる所があればいい。近くにもっと店があるといい。
- ・米須・真壁にコンビニ増やしてほしい。通学路に、灯り増やしてほしい。
- ・近くに勉強をおしえてくれるところがほしです。あと社会のルールをおしえてくれるところも。
- ・勉強する場所が欲しい。勉強できる場所がぜんぜんない。
- ・みんながしあわせになれるところ、やさしい人が話をきいてくれるばしょ。
- ・糸満は遊ぶところがない。
- ・みんなに相談できないことをきがるに相談できる所があるといいと思う。
- ・沖縄にも39マートや遊園地、17Kgなど、ないちにあるものをつくってほしい。
- ・飲食店はもういらぬから、公園など、体が動かせるところをつくってほしい。
- ・としょかんが、もっと広くなってほしい。
- ・児童館がもっと学校の近くにあつたらいいなと思う。(屋ヶ名児童館)
- ・屋ヶ名のグランドの公園の遊具を早くなおしてほしい。遊べなくて早くなおしてほしいとみんなではなしをしている。小学校の春の遠足も公園だったけど全部こわれててあそべないからさみしかった。
- ・児童館の庭にゆうぐをつけてほしい。
- ・屋ヶ名の公園をなおしてほしい。
- ・近くにゆうえんちやお店がたくさんあつたらいいと思う。
- ・簡単に勉強する場所や、無料の食べ物を提供してくれたり高校生でも色々な仕事や物事を体験できたりする場が欲しい。
- ・児童館について広くしてほしい。低学年が多く、高学年が少なくてコミュニケーションがなりたたない。
- ・もっと、近場に学校の勉強などを教えてくれる場所や、気軽に大人の人の話せる場所があつたらいいなと、思っています。
- ・公園があつたら地域の子も遊べるんじゃないかな。
- ・信号は増やしてほしい(横断歩道も)。
- ・市立図書館での勉強を可能にしてほしい。
- ・もっとたくさんの音楽活動の場、無料で出来る場。
- ・ゆらてくみたいな施設(勉強できる場所)を増やして欲しいです。
- ・もっといろんな物や所を増やして田舎を活発にしてほしい。(しすぎるのは良くない)。
- ・もっと安心して遊べる所がいっぱいふえてほしい。
- ・学童にジムを作ってほしい。(トレーニングをしたいから)。学童を広くしてほしい。
- ・勝連より(中央図書館)本の種類を増やしてほしい。
- ・ぼくはスポーツがすきで、いろんなどころに行ったことあるんですが、そのばしょがこわれてつかえなかったり、時間がかぎられていたり、金がかかるところがあるので、ぼくは、

そうゆうところを考えるともらえたらうれしいです。

- ・無料でごはんやおやつがたべれてゲームができてユーチューブがみれるところを望んでいます。あとキッザニアみたいなのところをのぞんでいます。
- ・相手を信じ、信じ合える人とお話をしたい。夕方とか公園で。
- ・汚い川をそのままにせず、きれいに飲み水や遊べる川にしてほしい。

#### **カテゴリー4：「安全・平和」**

- ・みんなで困っている人を助ける。
- ・遊ぶところない、ちあんわるい。
- ・はんざいやさつじんがなくなってほしい。ほかの人の気持ちがわかってほしい。
- ・国の子ども1人1人が教育を受られる。
- ・国の人会員が幸せって感じられる世の中になってほしい。
- ・戦争があった場所へ行って、おいのりをしたり、ぎせいになった人々の気持ちを理解して、「戦争があったから今の平和な日本があるよ！」と伝えたい。
- ・せんそうなくなってほしい。
- ・日本にあるアメリカのきちをへらしてほしい。
- ・家族に支えてもらったことがたくさんあります。それをかえしていけるようにみんながいきたいところに行かせられるように頑張っています。今望むのは家族笑顔ただそれだけです！！（絶対家族にはいわないですけどw）。
- ・いじめがぜったいにない。みんな笑顔を望む。自分一人の時間がとてもほしい。
- ・のぞむことは、社会がバランスよく生活できることです。
- ・のぞむことは、せかいがへいわになってほしいことです。
- ・みんなが平和で幸せだったらなんでもいい。

#### **カテゴリー5：「経済面」**

- ・バスの賃金が高い。
- ・物の値段を安くしてほしい。新しい物をつくりすぎないようにしてほしい。
- ・お金がほしい。
- ・何でもむりょう。
- ・働らかなくて金はいる。
- ・自分がすきなことができる。
- ・税金がない。
- ・乗りたい車が無料で乗れる。
- ・PCが高すぎる。
- ・お小遣いがたりなすぎる。
- ・ごはんがお金かかってもしょうひぜい、ぜいこみ0%がいいです。

- ・お母さんがびんぼうなので、安心して大学に行ける国からの援助。
- ・物の税金が10%から5%か8%になること。
- ・美味しくて安いものが食べたい。
- ・高校や専門学校、大学の授業料をもう少し安くしてほしい。
- ・もう少し具志川か田場に勉強を教えてくれるしせつか、習い事がむりょうでできるしせつを増やしてほしい。
- ・税金があがってさらにお金がきつくなっているから、せめて税ぬきのねだんを低く（安く）、してほしい。
- ・勝連ふっ活プロジェクトでお金を使うのもいいけど、もっと教育や、給食費を無料にすることにお金をかけてほしい。
- ・童話お話大会の賞状がガクブチに入っていていいけど親たちの税金使ってるし、親としてはすてるのはどうしたらいいかわからないと思うし、ムダ！ だから、子どもがもらって喜ぶ「図書券」でお金を使ってほしい。

#### **カテゴリー6：「将来」**

- ・しょうらい、テレビアナウンサーになりたいです。
- ・将来のために今からでも色々な仕事をちょっとだけ体験してみたい。職場体験は1つの場所なので他の所も体験したい。
- ・ファミリーマートの店長になりたい。
- ・向陽高校行けるかと思っている（笑）。
- ・わたしもそんなおもしろいかなしい本を書いてみたいです。
- ・しょうらいの夢がかなってほしい。
- ・高校受験をなくして欲しい。
- ・高校受かりたい。
- ・いとこのめんどろをみてたらほいくしになりたいと思った。
- ・わたしのゆめは、おかしやさんのステラやさんです。
- ・私の夢は、はえばる高校に行って郷土芸能部に入って三線やおどりを学ぶか、かんごしになるためにとみしろ南高校に行っかんごについて学びたいです。
- ・しょうらいのことをもっとがんばって中2でがくしゅうをがんばる。
- ・将来のためにも、色々なことを体験したりして、自分の夢をもって望んでいくことです。
- ・じょゆうになってゆうめいになって、キャーっていわれたい。
- ・問19で答えた色々な事を体験する、というのが将来につながる気がして良いのでは、と思いました。
- ・みさきとくべつしえんがっこうにはいりたい。
- ・仕事について生活できるお金があれば良い。中卒でもいいから。早く働いた分、知識とかも学べると思う。自分の生きてる道は自分らしい人生にしたいから、まわりに、あーだこー

だいわれるのは好きじゃない。心配してくれているのは分かるけど、心配されすぎるとストレスになる。あと、人を信じるのが難しい。いつも自分だけにマイナスになってしまう。こんな自分がきらい。

- ・甲子園。甲子園に行くためにきつい練習をがんばろうと思うから。

#### **カテゴリー7：「その他」**

- ・公民館で、勉強をおしえてほしい！
- ・勉強を教えてくれるとさらなるかくじつに自分のためになると思う。
- ・ひこうきにのりたくない。
- ・親孝行する。
- ・彼氏ほしいww。
- ・頭がよくなる。
- ・本をもう少しみたい。
- ・マホウがつかえたらいい。
- ・たべほうだいにいきたい。
- ・宿泊学習。自転車がほしい。塾に行くこと。
- ・その他。家族がいてよかった。
- ・地域（なかきす）の児童館で「行っても楽しくない」と答えた理由は、いつも人が多くて落ち着かず、気軽に行きたいところが、先生のような大人がいて、楽しくあそべないところが、私はいやです。
- ・望むことは、だれにでも、優しくできる人と、がんばっている人がいつかむくわれることです。私は、心がキレイな人になりたいです。
- ・子どもの時にいっぱいけんしたい。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんとデーサービスみたいにあそびたい。
- ・このようなアンケートは、中学生や小学校高学年なら学校の別室でも答えられると思うので、家庭ではなく別の場所で書かせた方が正直に答えられる。（虐たいなどを受けていたら本当のことが言えない人もいると思う）。
- ・がくどうをやめたらバスでかえりたいので、バスののりかたをしりたい。
- ・じえいたいをたいけんしたい。おそらの。
- ・夏休みのときとか、春やすみのときに1日だけ学どうにもってきてはいけないものをもってきてきたい。



## IV 考察

以下では、これまでの分析結果についてのまとめと考察を行っていく。

### 第1章 社会資源量調査のまとめ及び考察

#### 1. 調査結果（単純集計）のまとめ

##### ○社会資源の種類及び対象

回答の得られた社会資源の種類割合を見ると、うるま市では「学童保育」(37.9%)、糸満市では「公民館」(59.7%)がもっとも高い割合となっている。社会資源の対象者は、うるま市、糸満市いずれも「小学生」がもっとも回答割合が高い。

##### ○対象エリア及び送迎サービス

うるま市の社会資源のうち68.1%が、糸満市の社会資源のうち76.6%が対象エリアを設定しており、エリアの範囲はうるま市、糸満市いずれも「小学校区」がもっとも高い割合となっている。また、うるま市、糸満市いずれの社会資源も送迎サービスを「実施していない」割合が高くなっている。

##### ○開設状況

社会資源の開設頻度はうるま市が「週6日から週7日」(49.1%)がもっとも回答割合が高く、次いで「週3日から週5日」(20.7%)となっている。糸満市の場合、「週3日から週5日」(28.6%)がもっとも回答割合が高く、次いで「週6日から週7日」(27.3%)であり、うるま市、糸満市において回答の得られた社会資源が割と高い頻度で開設されていることがわかる。

開設日はうるま市が「平日及び土日・祝日」(57.8%)に次いで「平日」(37.9%)が回答割合が高く、糸満市の場合「平日」(44.2%)に次いで「平日及び土日・祝日」(41.6%)が回答割合が高くなっている。開設時間はうるま市が「9時から18時以降の夜間」次いで「13時から18時」、糸満市が「13時から18時」次いで「9時から18時」の回答割合が高い。

両市の開設状況を見ると、うるま市の社会資源が糸満市の社会資源より開設頻度や開設時間が幅広く設定されていることがわかる。

##### ○定員

社会資源の定員の有無を見ると、うるま市の社会資源は「定員がある」が52.6%で「定員はない」より高い回答割合となっているのに対し、糸満市の社会資源では「定員はない」が42.9%で「定員がある」より高い回答割合となっている。定員を設定している社会資源の定員数を10人ごとに分類して見ると、うるま市の場合「21人～30人」(32.8%)次いで「31人～40人」(29.5%)、糸満市の場合「31人～40人」(42.9%)次いで「21人～30人」(23.8%)

の回答割合が高くなっており、全体で見ると定員数は両市ともおおむね 20 人～40 人の幅で設定していることがわかる。

#### ○一日当たりの平均利用人数

1 日当たりの平均利用人数を 10 人ごとに分類して見ると、うるま市では「11 人～20 人」(25.0%)、糸満市では「1 人～10 人」(11.7%) がそれぞれ回答割合が高くなっており、社会資源の 1 日当たりの平均利用人数は両市ともおおむね 20 人以内となっていることがわかる。

#### ○利用料

社会資源の利用料の有無は、うるま市の場合「利用料なし」が「利用料あり」より割合が高く、糸満市の場合は「利用料あり」が「利用料なし」より割合が高くなっており、自治体間で相違が見られる。

利用料の妥当性に関しては、うるま市、糸満市いずれも 8 割以上の社会資源で「妥当だと思う」と考えられていることがわかる。利用料の妥当性に関しては本調査では支援の提供者側のみ質問しており、利用者にとって利用料が妥当かどうか、支援提供者側の結果と相違は見られるのかは今後の研究の課題として挙げられる。

#### ○提供サービス

社会資源の提供サービスは、うるま市の場合「学習に関する支援」、「場の提供」が 13.7% と同率で回答割合が高く、糸満市の場合「場の提供」が 28.6%、次いで「学習に関する支援」が 13.4% で回答割合が高くなっており、両市とも「学習に関する支援」、「場の提供」に関するサービスを提供している社会資源の割合が高いことがわかる。

## 2. 調査結果（クロス集計）のまとめ

### ○対象者別に見た社会資源の種類

対象者別に社会資源の種類割合を見ると、「未就学児」を対象としている社会資源は、うるま市では「児童館」、糸満市では「児童館」及び「子どもの居場所」がもっとも割合が高い。「小学生」を対象としている社会資源は、うるま市では「学童保育」、糸満市では「公民館」がもっとも割合が高い。「中学生」を対象としている社会資源は、うるま市では「子どもの居場所」、糸満市では「公民館」がもっとも割合が高い。「高校生」を対象としている社会資源は、うるま市では「児童館」及び「子どもの居場所」、糸満市では「子どもの居場所」がもっとも割合が高い。「義務教育修了以上の若者」を対象としている社会資源は、うるま市では「児童館」、糸満市では「地域の集まり」がもっとも割合が高い。対象を「特定しない」社会資源は、うるま市、糸満市いずれも「公民館」がもっとも割合が高い。

また、世帯別では、「障害者世帯」を対象とする社会資源は、うるま市、糸満市いずれも「学童保育」がもっとも割合が高い。「低所得世帯」を対象とする社会資源は、うるま市では「学童保育」及び「子どもの居場所」、糸満市では「子どもの居場所」がもっとも割合が高い。「ひとり親世帯」を対象としている社会資源は、うるま市、糸満市いずれも「学童保育」がもっとも割合が高い。「その他」を対象としている社会資源は、うるま市では「学童保育」及び「子どもの居場所」、糸満市では「放課後子ども教室」がもっとも割合が高い。

以上のことから、うるま市と糸満市において回答の得られた社会資源のうち、「公民館」は両市において対象を「特定しない」割合が高く、「学童保育」は両市ともに「障害者世帯」や「ひとり親世帯」を対象に含んでいる割合が高くなっていることがわかる。その他の対象者においてはうるま市と糸満市で社会資源の種類に相違が見られる。

### ○社会資源の種類別に見た対象エリア

社会資源の種類別に対象エリアの有無を見ると、うるま市では「児童館」及び「図書館・博物館」において「対象エリアはない」の割合が100%となっている。対象エリアを設定している社会資源を見ると、うるま市では「地域未来塾」が100%、糸満市では「学童保育」、「放課後子ども教室」、「図書館・博物館」が100%となっている。また、糸満市では全体的に「対象エリア」を設定している社会資源が大半を占めている。

社会資源においては図書館・博物館等の幅広いサービスの提供を行う社会資源を除き、特定のサービスを提供する社会資源においては、運営面や施設環境等の理由から、ある程度対象エリアを限定し、サービスを提供していることが考えられる。

### ○社会資源の種類別に見た送迎サービス実施の有無

社会資源の種類別に見た送迎サービス実施の有無を見ると、うるま市では「地域未来塾」及び「図書館・博物館」、糸満市では「児童館」、「放課後子ども教室」、「図書館・博物館」、「地域の集まり」がそれぞれ送迎サービスを実施していない割合が100%となっている。送迎サービスを実施している社会資源は、うるま市、糸満市いずれも「学童保育」がもっとも割合が高くなっている。

### ○社会資源の種類別に見た開設状況

社会資源の種類別の開設頻度は、うるま市では「児童館」及び「図書館・博物館」、糸満市では「図書館・博物館」がそれぞれ「週6日から週7日」の割合が100%となっており、ほぼ毎日開設している。一方開設頻度が低い社会資源を見ると、うるま市では「地域未来塾」が80.0%、糸満市では「放課後子ども教室」が100%の割合で「週1日から週2日」の開設頻度となっている。糸満市の「地域の集まり」は100%の割合で「月2日から月3日程度」の開設頻度となっている。

開設日を見ると、うるま市では「児童館」及び「図書館・博物館」、糸満市では「図書館・博物館」が「平日及び土日・祝日」の割合が100%とほぼ毎日開設しており、開設頻度の割合とそれぞれ関連していることがわかる。

開設時間をみると、「13時～18時」の午後のみ開設している割合が高い社会資源はうるま市、糸満市いずれも「放課後子ども教室」がもっとも高い割合となっている。また、「9時～18時以降」の長時間開設している割合が高い社会資源は、うるま市では「児童館」、糸満市では「図書館・博物館」となっている。

### ○社会資源の種類別に見た定員

社会資源の種類別に定員の有無を見ると、うるま市では「学童保育」を除く全ての社会資源、糸満市では「学童保育」及び「放課後子ども教室」を除く全ての社会資源において「定員なし」の割合が高くなっている。

基本的に両市いずれも対象エリア範囲などの地域的な制限は設けている割合が高いが、定員においては制限なしに、すべての子どもを受け入れている社会資源が多いことが考えられる。

社会資源の種類別の定員数を見ると、両市とも社会資源の種類及び施設ごとに多様に設定されていることがわかる。ただし、うるま市では「学童保育」及び「公民館」、糸満市では「学童保育」が他の社会資源より比較的定員数を多く設定している。

### ○社会資源の種類別に見た1日当たりの平均利用人数および定員に占める割合

社会資源の種類別に1日当たりの平均利用人数を見ると、1日当たりの平均利用人数が多い「51人以上」の割合が高い社会資源は、うるま市、糸満市いずれも「児童館」となっている。一方比較的利用人数が少ない「1人～10人」の割合が高い社会資源は、うるま市では「地域未来塾」、糸満市では「児童館」となっている。このことから、糸満市における「児童館」では場所によって1日当たりの平均利用人数に大きく差が見られることが考えられる。

また、1日当たりの利用人数が定員に占める割合を見ると、利用人数が定員の50%未満となっている社会資源は、うるま市では社会資源全体の23.0%、糸満市では社会資源全体の4.8%となっている。利用人数が定員の80%以上を満たしている社会資源は、うるま市では社会資源全体の37.7%、糸満市では社会資源全体の52.4%となっている。

この項目においては、社会資源ごとに開設日や、開設時間、定員、提供サービスの内容などによって、平均利用人数が左右されるため、社会資源によって解釈が異なることに留意したい。

### ○社会資源の種類別に見た利用料の状況

社会資源の種類別の利用料の有無は、うるま市では「児童館」、「地域未来塾」、「図書館・博物館」、糸満市では「児童館」、「図書館・博物館」、「地域の集まり」がそれぞれ「利用料なし」が100%となっている。一方うるま市では「学童保育」が93.2%、糸満市では「学童保育」及び「放課後子ども教室」が100%の割合で「利用料あり」となっている。

### ○社会資源の種類別に見た提供サービス

うるま市、糸満市において社会資源の種類ごとにもっとも高い割合で提供されているサービスの内容を見ていく。まず「児童館」の提供サービスのうち、もっとも割合の高いサービスは、うるま市では「基本的な生活習慣に関する支援」、「保護者に対する子育て全般に関する相談支援」、「非行等に関する支援」、「就業・就労に関する支援」、「その他」(100%)、糸満市では「食事提供を行う支援」、「基本的な生活習慣に関する支援」、「場の提供」、「関係機関へのつなぎ」(66.7%)となっている。

「学童保育」の提供サービスのうち、もっとも割合の高いサービスは、うるま市では「基本的な生活習慣に関する支援」(90.9%)、糸満市では「学習に関する支援」(93.3%)となっており、「放課後子ども教室」の提供サービスのうち、もっとも割合の高いサービスは、うるま市では「基本的な生活習慣に関する支援」(75.0%)、糸満市では「その他」(100%)となっており、両市の間で違いが見られた。「地域未来塾」はうるま市のみ回答が得られ、もっとも割合の高い提供サービスの内容は「基本的な生活習慣に関する支援」(100%)となっている。

「図書館・博物館」の提供サービスのうち、もっとも割合の高いサービスは、うるま市で

は「学習に関する支援」及び「経済的な支援」(100%)、糸満市では「学習に関する支援」、「就業・就労に関する支援」、「場の提供」(100%)となっており、うるま市、糸満市の図書館・博物館では「学習に関する支援」が共通して高い割合で提供されていることがわかる。

「公民館」の提供サービスのうち、もっとも割合の高いサービスは、うるま市では「非行等に関する支援」(69.6%)、糸満市では「場の提供」(91.3%)となっており、両市の間で違いが見られた。「子どもの居場所」の提供サービスのうち、もっとも割合の高いサービスは、うるま市では「非行等に関する支援」、「就業・就労に関する支援」、「関係機関へのつなぎ」(100%)、糸満市では「食事提供を行う支援」(100%)となり、両市の間で違いが見られた。「地域の集まり」は糸満市のみ回答が得られ、もっとも割合の高い提供サービスの内容は「場の提供」(100%)となっている。

うるま市、糸満市ともに社会資源の種類が同一であっても、機関・施設ごとに多様な機能を持つことから、提供されるサービスも多様化していることが推測される。



## 第2章 支援状況等調査のまとめ及び考察

### 1. 保護者に関する分析結果まとめ

#### ○回答者の基本属性

##### 1) 基本情報

回答者の有効サンプルは493名である。子どもからみた回答者の続柄をみると、「お母さん」が83.4%と大半を占めている。また、回答者の年齢は「40代」が42.6%、「30代」が36.9%となっている。回答者の家族の人数は、「4人」が23.3%でもっとも回答割合が高く、家族構成は、「母親がいて父親がいない」が46.7%でもっとも回答割合が高い。

##### 2) 経済状況

回答者の約6割が「新しい衣服・靴を買うのを控えた」「食費を切りつめた」「趣味やレジャーの出費を減らした」という経験をしている。子どもに関しても回答者の約5割が「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」、約4割が「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」「子どもを習い事に通わすことができなかった」「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」という経験をしており、経済的に厳しい状況におかれた世帯が多いことが窺える。主に生計を支えている方の就労状況は、「正規の職員・従業員」が約3割だが、「パート・アルバイト」も約2割となっている。また、「働いていない」と回答した方の就労していない理由を見ると、「家事や育児に専念」及び「その他」が約3割となっており、次いで「病気療養」が約2割となっている。

#### ○単純集計から見た分析結果

##### 1) 社会資源の利用状況

回答者の社会資源に対する認知度は、「学童保育」がもっとも高く、次いで「図書館・博物館」、「児童館」の順となっている。回答者が認知する子どもの社会資源の利用状況を見ると、子どもが利用したことのある社会資源は1人目、2人目、3人目の子どもいずれも「その他」がもっとも高く、次いで「図書館・博物館」、「地域の集まり」の順となっている。

「図書館・博物館」や「地域の集まり」は定員や利用条件等の制約が少なく、比較的誰もが利用しやすい社会資源であると考えられるため利用率が高くなっていることが考えられる。1人目、2人目、3人目の子どもいずれも「その他」の社会資源の利用率がもっとも高くなっているが、今回の調査では「その他」にどういった社会資源が含まれているのかの把握に限界があり、今後の課題として挙げられる。

子どもが行ったことがある社会資源の数を見ると、1人目及び2人目は「2カ所」がもっとも多いが、3人目の子どもは「0カ所」及び「2ヶ所」がもっとも多くなっている。3人目の子どもになると社会資源の利用数において「0カ所」の割合が増加することから、子ど

もの人数が多くなると社会資源の利用に何らかの制約がかかる可能性が推測されるが、その原因や背景に関しては今後明らかにする必要があるだろう。

社会資源を知っているが利用しない理由を社会資源ごとに見てみると、1人目、2人目、3人目いずれも「児童館」、「地域未来塾」、「図書館・博物館」では「無回答」や「その他」を除くと「近くに場所がないため」利用しない理由が多くなっている。「放課後子ども教室」、「公民館」、「子どもの居場所」では「通わせる必要性を感じられない」ため利用しない理由が多く、「学童保育」の場合「利用料が高い」がもっとも多くなっている。子どもが普段1番よく行く社会資源を種類ごとに見ると、1人目の場合「学童保育」に次いで「図書館・博物館」が多く、2人目の場合「その他」に次いで「学童保育」、3人目の場合「その他」に次いで「図書館・博物館」が多くなっている。1人目、2人目、3人目の間で1番よく利用する社会資源の種類にやや違いが見られるが、よく行く社会資源を利用する理由は、1人目、2人目、3人目ともに「子どもが行きたいと言ったから」がもっとも多くなっている。

## 2) 子どもの生活・教育・社会的環境の変化

子どもの社会資源を利用するようになってからの子どもの行動範囲や積極性に関して、「そう思う」及び「どちらかとそう思う」と回答した群が7割以上を占めており、回答者は社会資源の利用が及ぼす肯定的な効果を感じていることがわかる。

回答者から見た子どもの生活状況を表す項目である、「同じ時刻に起きる」、「朝食を食べる」、「健康状態がよい」の3項目すべてで、1人目、2人目、3人目いずれも利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どもの生活状況に効果的な影響を与えていることが考えられる。

同様に、回答者から見た子どもの教育環境を表す項目である、「授業時間以外にも勉強する」、「授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る」の2項目すべてで、1人目、2人目、3人目いずれも利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の群の割合のほとんどが増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どもの教育環境へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

回答者から見た子どもの社会環境を表す項目である、「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する」、「勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる」の2項目すべてで、1人目、2人目、3人目いずれも利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どもの社会環境へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

回答者から見た子どものヒューマンキャピタル（人的資本）を表す項目である、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」、「自分の将来の夢や目標を持っている」、「年下



の子どもたちに対してやさしい」、「誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける」、「自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）」、「他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）」、「他人の気持ちをよく気づかう」の7項目すべてで、1人目、2人目、3人目いずれも利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どものヒューマンキャピタル（人的資本）へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

以上の結果から社会資源の利用は、回答者から見た子どもの生活環境、教育環境、社会環境、そしてヒューマンキャピタルと、多様な側面から効果的な影響を及ぼしていることがわかる。これらの項目で着目すべきは、子ども自身の評価ではなく、子どもの保護者からの評価であるということ、つまり保護者から見た子どもの姿が社会資源を利用することによって、肯定的に変化しているということがわかる。

### 3) 社会資源利用前後の保護者の状況

回答者と子どもとの関係性を表す項目である、「お子さんと会話をしますか」、「お子さんと十分時間を過ごしていますか」、「お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか」、「お子さんの将来の夢について話し合っていますか」、「お子さんを信頼していますか」の5項目で、1人目、2人目、3人目いずれも利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が回答者と子どもとの関係性へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

しかしながら、6項目中、「お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか」及び「お子さんと一緒に図書館に行きますか」の2項目に関しては、「どちらかというにあてはまらない」及び「あてはまらない」群の割合が肯定的な群と比べ高くなっており、就学援助世帯において図書館は社会資源としての認知度や子どもの利用率が高いことが明らかとなったが、保護者と子どもがともに図書館へ行く機会や読んだ本の感想を語り合うなど、時間を共有する機会が少ないことがうかがえる。

回答者の子育てに関する項目である、「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」は、社会資源の利用前後に関わらず半数以上の保護者が「あてはまる」もしくは「どちらかというにあてはまる」と回答している。ただし、社会資源の利用前後で「どちらかというにあてはまらない」及び「あてはまらない」群の割合が1人目、2人目、3人目ともに増加しており、社会資源の利用が保護者の子どもに対する不安やイライラの感情へある程度肯定的な影響を与えることがうかがえる。同様に、「子どもを育てるために我慢している」、「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」の項目においても社会資源の利用前後で「どちらかというにあてはまらない」及び「あてはまらない」群の割合が1人目、2人目、3人目ともに増加している。

「子どもの世話にはあまり関心がない」、「お子さんと離れたい、と思うことがある」の2項目では社会資源の利用前後に関わらず「どちらかというとあてはまらない」及び「あてはまらない」の群が約8割以上を占めており、社会資源の利用後はその割合が増加している。

子育てに関する感情を表す項目である「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」「子どもを育てるために我慢している」「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」「子どもの世話にはあまり関心がない」「お子さんと離れたい、と思うことがある」の5項目すべてで、1人目、2人目、3人目いずれも利用する前に比べ、利用後（現在）において「どちらかというとあてはまらない」及び「あてはまらない」群の割合が増加し、社会資源の利用が回答者の子育てに関する感情へ効果的な影響を与えていることが推測される。

回答者の子育てに関する社会的な環境を表す項目である「近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人が数人いる」、「育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりすることが好き」の2項目すべてで、1人目、2人目、3人目いずれも利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」及び「どちらかというとあてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が回答者の子育てに関する社会的な環境へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

回答者の子どもに対する進路観は、社会資源の利用後において1人目、2人目は「大学」がもっとも高い割合になっているのに対し、3人目は「高校」がもっとも高い割合となっている。子どもに対する進路観に関しては世帯の経済状況が大きく影響を与えることが考えられ、子どもの人数が多くなるほど世帯の経済状況が圧迫され、進路観へも影響を与えることが示唆される。

#### 4) 支援状況・支援に対する要望

回答者の約8割近くが市町村の支援員から支援を受けていないと回答しており、子どもに関する要望は「学習支援」(59.6%)がもっとも多く、次いで「キャリア形成等支援」(48.7%)、「生活指導」(31.6%)となっている。

### ○経済状況別に見た分析結果

#### 1) 子育て意識や進路観との関連

経済状況と子育て意識、進路観との間の関連性を調べた結果、「読んだ本の感想の話し合い」、「子どもに受けさせたい教育」の2項目について、有意な関連性が見られた。

読んだ本の感想の話し合いについて「あてはまる」と回答する割合は、はく奪指標得点が10点以下、つまり経済状況に比較的余裕のある群が他の群より高くなっている。ただし、次いで21点以上、つまり経済状況が厳しい群において「あてはまる」の割合が高くなっており、はく奪指標との間に一定の規則性は見られない。

子どもに受けさせたい教育は、経済状況が厳しくなるほど「大学」の回答割合が減少して

おり、経済状況によって保護者が希望する子どもの進路観に影響を与えることが示唆される。

#### 2) 育児負担感（虐待関連、孤立感、孤独、向社会性）との関連

経済状況と育児負担感との間の関連性を調べた結果、「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」、「子どもを育てるために我慢している」、「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」の3項目について、有意な関連性が見られた。3項目すべてではく奪指標得点が高いほど「あてはまる」の回答割合が高くなっており、経済状況が厳しいほど育児負担感が高まることが示唆される。

#### 3) 保護者から見た子供の状況との関連

経済状況と子どもの状況との間の関連性を調べた結果、「自分からすすんでよく他人を手伝う」の項目でのみ有意な関連性が見られた。「あてはまる」と回答する割合は、はく奪指標得点が21点以上、つまり経済状況が厳しい群が他の群より高くなっているが、次いで10点以下の群となっていることから、経済状況と子どもの状況との間の関連性についてはさらなる分析が必要であろう。

#### 4) 子どもの社会資源の利用状況及び支援状況との関連

経済状況と子どもの社会資源の利用状況との間の関連性を調べた結果、「知っている場所」のうち、「学童保育」、「公民館」、「子どもの居場所」において有意な関連性が見られた。はく奪指標得点が21点以上、つまり経済状況が厳しい群でこれらの社会資源を「知っている」割合が高い。つまり経済状況が厳しい群にとって、「学童保育」、「公民館」、「子どもの居場所」は他の社会資源と比べ認知度が高いことがわかる。一方、「利用したことがある場所」のうち、「学童保育」のみが有意な関連を示しており、はく奪指標得点が10点以下、つまり他の群に比べ経済的に余裕のある群で「利用したことがある」割合が高くなっている。

以上の結果から、「学童保育」に関しては経済状況が厳しい群の方が認知度は高くなっているが、実際に利用したことがある割合が高いのは他の群に比べ経済的に余裕のある群となっている。学童保育を知っているが利用しない理由としてもっとも多い回答が「利用料が高い」となっていることを考慮すると、経済状況が厳しい群にとって「学童保育」の利用において、利用料が負担となっていることが示唆される。

また、「利用したことがある場所の数」との関連では、有意な関連性は見られるが、はく奪指標との間に一定の規則性は見られない。「知っているが利用しない理由」との関連性を見ると、「学童保育」、「公民館」、「子どもの居場所」、「地域の集まり」を利用しない理由として「通わせる必要性を感じられない」との間で有意な関連性が見られ、すべての項目においてははく奪指標得点が「10点以下」の群でもっとも割合が高い。つまり、経済状況が他の群と比べ比較的余裕のある世帯においては、「通わせる必要性を感じられない」という理由

から、これらの社会資源を利用しないという背景がうかがえる。

経済状況と支援状況との間の関連性を調べた結果、「市町村の支援員から支援を受けた経験」が有意な関連性を示しており、経済状況が厳しいほど市町村の支援員から支援を受けている経験が多い。

## ○社会資源の利用状況別に見た分析結果

### 1) 社会資源の利用箇所数別数別に見た分析結果

#### (1) 子育て意識や進路観との関連

社会資源の利用箇所数と子育て意識、進路感との間の関連性を調べた結果、「読んだ本の感想の話し合い」、「子どもと図書館に行く」、「子どもに受けさせたい教育」の3項目について、有意な関連性が見られた。

社会資源の利用箇所数が多くなるにつれて、回答者が子どもと読んだ本の感想を話し合う経験、子どもと図書館に行く経験に効果的な影響を与えることが示唆される。また、利用箇所数が多くなるにつれて、子どもに受けさせたい教育も高等教育の割合が高くなる。本調査の結果から社会資源を利用することによって、子どもに対する関心が高まることが示唆されており、保護者が子どもと過ごす時間や教育に関する関心も同様に高まったことが予測される。

#### (2) 育児負担感（虐待関連、孤立感、孤独、向社会性）との関連

社会資源の利用箇所数と育児負担感との間の関連性を調べた結果、「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」、「近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人が数人いる」、「育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりすることが好き」の3項目について、有意な関連性が見られた。

「不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある」の項目に関しては、利用箇所数が「0箇所」の群で「あてはまる」と回答した割合がもっとも高くなっているが、利用箇所数との間に一定の規則性は見られない。「近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人が数人いる」、「育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりすることが好き」の2項目に関しては、社会資源の利用箇所数が増えるにつれて「あてはまる」割合が高くなり、保護者の育児に関するネットワーク作りへ社会資源の利用箇所数が影響を与えていることが推測される。

### 2) 社会資源の利用頻度別に見た分析結果

#### (1) 子育て意識や進路観との関連

社会資源の利用頻度と子育て意識、進路感との間の関連性を調べた結果、「子どもと図書館に行く」の項目でのみ有意な関連性が見られるが、社会資源の利用頻度との関係に一定の

規則性は見られない。

## (2) 育児負担感（虐待関連、孤立感、孤独、向社会性）との関連

社会資源の利用頻度と育児負担感との間の関連性を調べた結果、「自分一人で育てているという圧迫感を感じる」の項目でのみ有意な関連性が見られるが、社会資源の利用頻度との関係に一定の規則性は見られない。

## 3) 社会資源の利用期間別にみた分析結果

### (1) 子育て意識や進路観との関連

社会資源の利用期間と子育て意識、進路感との間の関連性を調べた結果、「子どもと図書館に行く」の項目でのみ有意な関連性が見られたが、社会資源の利用期間との関係に一定の規則性は見られない。また、社会資源の利用期間と育児負担感との間の関連性を調べた結果、有意な関連性が見られた項目は0件であった。

## 2. 子どもに関する分析結果まとめ

### ○回答者の基本属性

#### 1) 基本情報

回答者の有効サンプルは 783 名である。回答者の性別は「女性」が 49.3%、「男性」が 45.1%となっている。回答者の学年は、「中学3年生」が 12.3%、「小学4年生」、「中学1年生」、「中学2年生」が 11.4%となっている。回答者の家族構成は、「両親ともにいる」が 50.3%でもっとも回答割合が高い。

また、家族構成に関する項目において、保護者の回答と子どもの回答にずれが見られることがわかった。保護者から見た家族構成と子どもから見た家族構成の相違には、様々な要因や背景があることが考えられる。本調査ではその要因や背景を把握するのに限界があり、今後さらなる調査や分析が必要であろう。

#### 2) 経済状況

回答者が持っているものや使うことができるものは、「自分で選んだ服」、「本（学校の教科書やマンガはのぞく）」、「テレビ」が約 7 割となっている。「その他」、「あてはまるものはない」、「無回答」を除くと「インターネットにつながるパソコン」が約 2 割ともっとも低い。

### ○単純集計から見た分析結果

#### 1) 社会資源の利用状況

回答者の社会資源に対する認知度は、「図書館・博物館」がもっとも高く、次いで「公民館」、「学童保育」の順となっている。回答者が認知する社会資源の利用状況を見ると、利用したことのある社会資源は「図書館・博物館」がもっとも高く、次いで「その他」、「地域の集まり」の順となっている。

以上のことから、「図書館・博物館」や「地域の集まり」は定員や利用条件等の制約が少なく、比較的誰もが利用しやすい社会資源であると考えられるため利用率が高くなっていることが推測され、これは保護者の結果と類似している。

行ったことがある社会資源の数を見ると、「3カ所」がもっとも多く、次いで「4ヶ所」となっている。保護者の結果では、平均して0～2カ所であり、子どもの回答と相違が見られた。このことは子どもの家以外での生活や活動をどの程度保護者が把握しているかによる違いと見ることができる。

社会資源を知っているが利用しない理由を社会資源ごとに見てみると、「児童館」、「図書館・博物館」、「子どもの居場所」では「無回答」や「その他」を除くと「近くに場所がない」



が多くなっている。「学童保育」、「放課後子ども教室」、「地域未来塾」では「クラブ活動や習いごとに行くため」が多い。「公民館」、「地域の集まり」の場合「行っても楽しくない」がもっとも多くなっており、子どもが「行ったら楽しい」場所として魅力を感じるような場所づくりがさらに求められるだろう。

ふだん1番よく行く社会資源を見ると、「図書館・博物館」に次いで「公民館」、「学童保育」が多くなっている。その場所に行き始めた時期は、「2年以上前から」がもっとも多く、利用頻度は「1週間に3回より多い」がもっとも多くなっている。ふだん利用している社会資源に関しては比較的長期間、そして高い頻度で利用していることがわかる。

1番よく行く社会資源に行くようになってからの交友関係は、新しい友達ができただけの割合が半数以上を占めており、子どもの交友関係が社会資源の利用を通して広がっていることが予測できる。1番よく行く社会資源を利用する理由は「友だちと遊ぶため」が半数を占め、次いで「勉強するため」が約4割となっている。また、1番よく行く社会資源に行ったら良かったと思うかに関して、回答者の約8割以上が「そう思う」(58.2%)次いで「どちらかといえばそう思う」(24.3%)と、おおむね行って良かったと評価している。

## 2) 社会資源利用前後の生活状況の変化

回答者の社会資源利用前後の学校への登校頻度を見ると、利用後に登校頻度が高くなる傾向が見られ、遅刻の頻度においても「遅刻はしない」割合が利用後に高くなっている。

回答者の生活状況を表す項目である、「同じ時刻に起きる」、「朝食を食べる」、「健康状態がよい」の3項目すべてで、利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どもの生活状況に効果的な影響を与えていることが予測できる。

同様に、回答者の教育環境を表す項目である、「夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある」の項目において、利用する前に比べ、利用後（現在）は肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どもの教育環境へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

回答者の社会環境を表す項目である、「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する」の項目において、利用する前に比べ、利用後（現在）は「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どもの社会環境へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

回答者のヒューマンキャピタル（人的資本）を表す項目である、「いままでの人生で、心から感動したことがある」、「小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする」の2項目すべてで、利用する前に比べ、利用後（現在）において「あてはまる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が子どものヒューマンキャピタル（人的資本）へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

以上の結果から社会資源の利用は、回答者の生活環境、教育環境、社会環境、そしてヒューマンキャピタルと、多様な側面から効果的な影響を及ぼしていることがわかる。これらの結果は、保護者から見た子どもの評価と類似しており、保護者、子どもともに社会資源利用による多様な側面における効果を感じていることがわかる。

### 3) 社会資源利用前後の教育に関する項目の変化

回答者の学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間は、社会資源の利用前後で30分より多い時間の群すべてで利用後に増加している傾向が見られる。学校の勉強についての気持ちは「よくわかる」及び「だいたいわかる」の割合が利用後に増加している。学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間は、30分より多い時間の群ではやや増加している傾向が見られ、「まったくしない」割合が減少している。回答者が希望する進路は、「専門学校」や「大学」を希望する割合が利用後にそれぞれ増加している。

以上の結果から、社会資源の利用は回答者の教育環境の改善や教育に関する関心と関連性があることが示唆される。

### 4) 社会資源利用前後の社会的環境の変化

回答者が「ふだんの放課後過ごす人」は、「おうちの大人の人」が利用後に減少しているが、「学校のともだち」、「クラブ活動の仲間」、「学校以外のともだち」は利用後に増加していることから、社会資源を利用することによって回答者の交友関係が家の中から外へ広がる傾向が見られる。

回答者の周りに「何かに失敗したときに、たすけてくれる人」、「勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人」、「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人」、「悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人」がいるかどうかの割合は、利用する前に比べ、利用後（現在）において「たくさんいる」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が回答者の社会的環境へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

### 5) 社会資源利用前後の自己効力感

回答者の自己効力感を表す項目である「自分に自信がある」、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」、「大人を信用できる」、「自分の将来の夢や目標を持っている」、「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」、「将来、働きたいと思う」の6項目ほぼすべてで、利用する前に比べ、利用後（現在）において「そう思う」及び「どちらかというと思う」群の割合が増加し、肯定的に変化している傾向が見られる。つまり、社会資源の利用が回答者の自己効力感の改善へ効果的な影響を与えていることが考えられる。

### 6) 望むこと



回答者が支援に関して望むことは、「色々な仕事について体験できること」(47.8%)がもっとも割合が高く、次いで「学校の勉強を教えてくれること」(41.9%)、「無料で食事が食べられること」(28.0%)が高い割合となっている。

## ○経済状況別に見た分析結果

### 1) 社会資源の利用状況との関連

経済状況と社会資源の利用状況との間の関連性を調べた結果、「行ったことがある場所」のうち「図書館・博物館」及び「地域の集まり」との間で有意な関連性が見られた。特に、はく奪指標得点が高い、つまり比較的経済状況が厳しいほど「地域の集まり」に行ったことがある子どもの割合が低くなる。また、社会資源ごとに「知っていても行かない理由」との関連を見ると、「学童保育」に行かない理由としては「近くに場所がない」ため、「図書館・博物館」に行かない理由としては「その他」の理由、「地域の集まり」に行かない理由としては「クラブ活動や習いごとに行くため」との間でそれぞれ有意な関連性が見られるが、はく奪指標との間で一定の規則性は見られない。

### 2) 生活状況や教育に関する項目との関連

経済状況と生活状況や教育に関する項目との間の関連性を調べた結果、有意な関連性を表す項目は発見できなかった。

### 3) 社会性との関連

経済状況と社会性との間の関連性を調べた結果、「ふだんの放課後過ごす人」のうち、「おうちの大人の人」の項目について、有意な関連性を示しており、はく奪指標得点が10点以下、つまり比較的経済的に余裕のある群が、「おうちの大人の人」と過ごす割合がもっとも高くなっているが、次いで21点以上、つまり比較的経済状況が厳しい群が高い割合となっており、経済状況との間に一定の規則性は見られない。

また、周りの人々のサポート環境に関する項目のうち、「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人」の項目について、有意な関連性を示している。はく奪指標得点が高いほど、つまり経済状況が厳しいほど「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人」が「たくさんいる」及び「あるていどいる」と回答した割合が高くなっている。このことから、経済状況が厳しいほど、子どもの周りの人々のサポート環境、特に一人ではできないことがあったときに、手伝ってくれる人の存在が多くなることがうかがえる。

### 4) 持ち物（所有物）やふだんの放課後過ごす場所との関連

経済状況と持ち物（所有物）やふだんの放課後過ごす場所との間の関連性を調べた結果、

「持っているものや使うことができるもの」のうち、「子ども部屋」の項目について、有意な関連性を示している。はく奪指標得点が 21 点以上、つまり経済状況が厳しい群が、持っているものやつかうことができるものとして「子ども部屋」と回答した割合がもっとも低くなっている。

また「ふだんの放課後過ごす場所」との関連性を調べた結果、「図書館・公民館・児童館など公共の施設」の項目について、有意な関連性が見られ、経済的に余裕のある群において放課後に図書館・公民館・児童館など公共の施設で過ごす割合がもっとも高くなっている。

## ○世帯状況別に見た分析結果

### 1) 生活状況や教育に関する項目との関連

世帯状況と生活状況や教育に関する項目との関連性を調べた結果、「同じ時刻に起きる」、「健康状態がよい」の 2 項目について、有意な関連性が見られた。

「同じ時刻に起きる」に関しては、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群が「あてはまる」の割合がもっとも高くなっている。つまり、祖父母と生活することで、規則的な時間に起床する割合が高くなっている。一方で、「健康状態がよい」に関しては、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」の群が他の群に対して「あてはまる」及び「どちらかというにあてはまる」の割合がもっとも低い。ただし子どもの健康状態に影響を与えているものとして様々な要因が考えられ、本調査ではその要因を把握できない点に限界がある。

### 2) 社会性との関連

世帯状況と社会性との関連性を調べた結果、「ふだんの放課後に過ごす人」のうち、「おうちの大人のひと」、「きょうだい」、「おうちのひと以外の大人のひと」、「学校以外のともだち」、「一番よく行く場所のともだち」の 5 項目について、有意な関連性を示している。「両親ともにいる」場合、「おうちの大人のひと」や「きょうだい」と過ごす割合が高くなっている。また、「お母さんがいてお父さんがいない」場合は「おうちのひと以外の大人のひと」と過ごす割合が、「両親がいなくて、おじいちゃん、おばあちゃんがいる」場合は「学校のともだち」、「学校以外のともだち」、「一番よく行く場所のともだち」、「その他のひと」と過ごす割合がそれぞれ高くなっている。このことから、両親がいる世帯といない世帯では、「ふだんの放課後過ごす人」に相違が見られ、両親がいない世帯の子どもが家の中のひとより、家の外のひとと過ごす割合が高い。

また、周りの人々のサポート環境に関する項目のうち、「何かに失敗したときに、たすけてくれる人」、「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人」、「悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人」の 3 項目について、有意な関連性を示している。

「何かに失敗したときに、たすけてくれる人」、「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人」が「たくさんいる」と回答した割合は「お母さんがいてお父さんがいない」つまり母子家庭の世帯でもっとも高く、「両親がいなくて、おじいちゃん、おばあちゃんがいる」世帯でもっとも低くなっている。一方「悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人」は「お父さんがいてお母さんがいない」つまり父子家庭の世帯でもっとも多く、「両親がいなくて、おじいちゃん、おばあちゃんがいる」世帯でもっとも低くなっている。このことから、ひとり親世帯の場合、困難な場面である程度サポートしてくれる存在がいることがうかがえるが、両親がいらない世帯の場合、困難な場面においてサポートしてくれる存在が希薄となっていることが予測できる。

### 3) 持ち物（所有物）やふだんの放課後過ごす場所との関連

世帯状況と持ち物（所有物）やふだんの放課後過ごす場所との関連性を調べた結果、持っているものや使うことができるもののうち、「習いごとなどの道具」の項目について、有意な関連性を示している。持っているものや使うことができるものとして「習いごとなどの道具」と回答した世帯のうち、母子家庭の世帯がもっとも多くなっている。

また、「ふだんの放課後過ごす場所」との関連性を調べた結果、「自分の家」、「塾」、「習いごと」、「地域の居場所」の4項目について、有意な関連性を示している。

「自分の家」を回答した割合について、父子家庭の世帯がもっとも高く、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」世帯がもっとも低い。「塾」を回答した割合について、父子家庭及び「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」世帯がもっとも高く、「両親ともにいる」世帯がもっとも低い。「習いごと」を回答した割合については、母子家庭の世帯がもっとも高く、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」世帯がもっとも低い。最後に、「地域の居場所」を回答した割合について、「両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃんがいる」世帯でもっとも高く、「両親ともにいる」世帯がもっとも低い。

以上のことから、家族構成や家族の状況によって子どもが「ふだんの放課後過ごす場所」に相違が見られることがわかる。

## ○社会資源の利用状況別に見た分析結果

### 1) 社会資源の利用箇所数別に見た分析結果

#### (1) 生活状況やヒューマンキャピタルに関する項目との関連

社会資源の利用箇所数と生活状況やヒューマンキャピタルに関する項目との関連性を調べた結果、「健康状態がよい」、「いままでの人生で、心から感動したことがある」、「自分の将来の夢や目標を持っている」、「将来、働きたいと思う」の4項目について、有意な関連性が見られた。

「いままでの人生で、心から感動したことがある」、「自分の将来の夢や目標を持っている」の2項目に関しては利用する社会資源の箇所数が増えるにつれ、「あてはまる」と回答した割合が高くなっており、社会資源の利用が子どもの人生経験や将来の希望にある程度効果を持つことが予測される。「健康状態がよい」及び「将来、働きたいと思う」に関しては一定の規則は見られず、利用箇所数が「1~2箇所」の群がもっと割合が高く、利用箇所数が「0箇所」の群がもっとも低くなっている。

## (2) 社会性との関連

社会資源の利用箇所数と社会性との関連性を調べた結果、「ふだんの放課後過ごす人」のうち、「学校のともだち」、「クラブ活動の仲間」、「一番よく行く場所のともだち」の3項目について、有意な関連性を示している。「学校のともだち」及び「一番よく行く場所のともだち」の場合、社会資源の利用箇所数が増えるにつれて、その割合が高くなっている。「クラブ活動の仲間」に関しては、一定の規則は見られないが利用箇所数が3箇所以上の割合がもっとも高くなっている。このことから、社会資源の利用数が増えることによって友達と過ごす場や時間も増えることがわかる。

また、「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する」の項目についても、有意な関連性が見られた。社会資源の利用箇所数が増えるにつれて、地域の行事に参加する割合も高くなり社会資源の利用によって、地域とのつながりが構築されていることが示唆される。

## 2) 社会資源の利用頻度別に見た分析結果

### (1) 生活状況や教育に関する項目、自己効力感との関連

社会資源の利用頻度と生活状況や教育に関する項目、自己効力感に関する項目との関連性を調べた結果、教育環境のうち「登校頻度」、「学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間」、生活状況のうち「同じ時刻に起きる」、自己効力感に関する項目のうち「自分に自信がある」、「大人を信用できる」の項目について、有意な関連性を示しているが、全体的に利用頻度との一定の規則性は見られず、各々解釈する必要がある。

### (2) 社会性との関連

社会資源の利用頻度と社会性との関連性を調べた結果、「1番よく行く場所を利用するようになってからの交友関係」、「1番よく行く場所に行って良かったと思うか」の2項目、さらに「ふだんの放課後過ごす人」のうち「おうちの大人の人」、「きょうだい」、「おうちの人以上の大人」、「一番よく行く場所の大人」、「学校のともだち」、「クラブ活動の仲間」、「一番よく行く場所のともだち」、「ひとりである」の8項目について、有意な関連性を示している

「1番よく行く場所を利用するようになってからの交友関係」、「1番よく行く場所に行って良かったと思うか」に関して、社会資源の利用頻度が高くなるにつれて、「あてはまる」

の割合が高くなっており、社会資源の利用頻度が高いほど交友関係や場所に対する評価に効果があると言える。

「ふだんの放課後過ごす人」に関して、「おうちの大人の人」や「きょうだい」など家の中の人と過ごす場合、社会資源の利用頻度は低くなっている。一方、「おうちの人以外の大人」、「一番よく行く場所の大人」、「学校のともだち」、「クラブ活動の仲間」、「一番よく行く場所のともだち」と過ごす場合、利用頻度に関して一定の規則性は見られないが、放課後「ひとりである」と回答した場合は比較的社会資源の利用頻度が低いことがわかる。

### 3) 社会資源の利用期間別にみた分析結果

#### (1) 生活状況や教育に関する項目、ヒューマンキャピタルに関する項目との関連

社会資源の利用期間と生活状況や教育に関する項目、ヒューマンキャピタルに関する項目との関連性を調べた結果、教育環境のうち「登校頻度」、「学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間」、「学校の勉強についての気持ち」、「学校の授業時間以外の読書時間」、「夢中になった、勉強がおもしろいと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がある」、生活状況のうち「同じ時刻に起きる」、「朝食を食べる」、「健康状態がよい」、ヒューマンキャピタルのうち「いままでの人生で、心から感動したことがある」、「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」の項目について、有意な関連性を示しているが、全体的に利用期間との一定の規則性は見られず、各々解釈する必要がある。

#### (2) 社会性との関連

社会資源の利用期間と社会性との関連性を調べた結果、「1番よく行く場所を利用するようになってからの交友関係」、「1番よく行く場所に行って良かったと思うか」の2項目、さらに「ふだんの放課後過ごす人」のうち「一番よく行く場所の大人」「学校のともだち」「一番よく行く場所のともだち」「ひとりである」の4項目、社会環境に関する項目のうち「小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けをする」の1項目、周りの人々のサポート環境に関する項目のうち「何かに失敗したときに、たすけてくれる人」、「あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人」、「一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人」の3項目について、有意な関連性を示しているが、全体的に利用期間との一定の規則性は見られず、各々解釈する必要がある。



### 第3章 総合総括

これまでの調査では、居場所や支援員と繋がった子どもや家庭において、一定の成果が確認されてきた。一方で、これらのサービスが必要な世帯に必ずしも届いているという結果ではなかった。しかし、子どもや家庭にとって支えとなるのは、子どもの貧困対策で設置された社会資源にかかわらず、子どもの貧困対策以外の目的の社会資源が、支援機能となっている可能性もあるのではないかという指摘が内閣府からなされた。そこで、子どもの貧困対策によって、設置された社会資源にとどまらず、広く日常的に子どもや家庭が活用している社会資源が、経済的に厳しい世帯に活用されているのか、内容的にも機能しているか、数的に足りているのかを検討することとなった。つまり、今回の調査では、「沖縄県における、子供の居場所を含む社会資源の整備状況を調査・集計する」と、「支援を必要とする家庭における当該社会資源の活用状況及び支援状況を把握し、今後の沖縄子供の貧困緊急対策事業の優先度等の整理に活用する」との2つの目的から実施することとなった。

しかし、市町村自治体の社会資源は、その数の多さと自治体による違いが大きいため県で一律に調査するのは困難であり、モデル的に2つの自治体で実施、さらに就学援助世帯に焦点化して調査することとなった。就学援助率の違う2つの自治体において調査した結果、今回の調査では就学援助率と社会資源量に対して明確な関連まで言えるものはなかったが、自治体が施策を検討する際に、自治体の規模や就学援助率別による各自治体の取り組みを共有することは参考になっていくものと考えられる。この方法は全国どこの自治体でもスティグマを生むと反対されがちな調査デザインであったが、確実に実態把握を行い、真摯に厳しい状況に向き合い、少しでも施策につなごうという県や自治体の姿勢であり、先駆的な例となるであろう。

調査結果はすでに述べてきたが、ここからは1点目の目的である「沖縄県における、子供の居場所を含む社会資源の整備状況を調査・集計する」について、確認する。まず、社会資源量について、2自治体を総合して述べるが、社会資源では、小学生が対象であるところが最も多い。対象エリアを設定している社会資源は、小学校区単位が半数ほど、自治会区域単位が15%から35%までの範囲と、エリアは比較的狭い。子どもが歩いて行ける距離に社会資源があるかどうかという点でいうと、小学校区や自治会区域というのは満たしており、あとは、これが全ての小学校区に存在するかどうかで、十分足りているか否かの判断になるであろう。子どもが行かない理由に、近くにないという答えが多く存在したことには留意する必要がある。また、社会資源があっても知られているか、活用されているかという点では、広く知られているであろうと世間に思われている児童館や学童保育、図書館・博物館などであっても知っている保護者は65%ほどであった。さらに、地域未来塾だと10.9%、子どもの居場所では26.6%と極端に少なくなっている。ただし、地域未来塾は中学生の保護者にしか周知されていないため、周知率が低かったといえる。子どもも同様で、地域未来塾は中学生以外の子どもには周知されていないため周知率は13.0%と低く、子どもの居場所は23.2%であった。以上のことから、何よりも身近な資源を、さらには貧困対策による資源を

できるだけ広く、子どもや家庭、さらには学校の教職員に知ってもらう必要があるといえよう。

また今回の結果、子どもでも第1子から第3子までの間に違いが見られた。第1子の方が第2子や第3子よりもたくさん社会資源を利用している。特に明確なのが学童保育で、先述したように、利用料が負担となっていることが示唆されていることから、第1子では47%ほどが利用したことがあり、第2子では約45%、第3子になると約26%となっていた。学童保育への対応は喫緊の課題である。

調査目的の2点目の「支援を必要とする家庭における当該社会資源の活用状況及び支援状況を把握し、今後の沖縄子供の貧困緊急対策事業の優先度等の整理に活用する」に関しては、まず、実際に社会資源を活用している子どもたちがその利用前後等によって、親や子どもにどのような効果をもたらしているのかその可能性を探ってみた。利用前と現在では、2017年や2018年の結果と同様で、起床、朝食、心から感動、勉強にやる気、手助けなど高くなっている。勉強の方もよくわかる、勉強時間、進路、交流なども増えている。ソーシャルサポートも自己効力感も高まっているなど、おおむね変化が見られた。単純に変化を感じていると言える。次に、これらの社会資源の利用によって（利用箇所数、利用回数、利用期間）、子どもや家庭にとってのソーシャルキャピタルやヒューマンキャピタルに変化（効果）をもたらすことができるのか検証した。その結果、出向く社会資源の箇所数が多いほど（つまり多様な場所を経験しているほど）、ボランティアや地域活動に参加し、おうち以外の大人との交流や学校以外の友人が増え、将来の夢や自信を持ち、心から感動することが多かった。さらに社会資源の利用回数が多いほど、友人との交流が多くなり、大人を信頼し、自信を持ち、規則正しく起床することが増えた。そして利用期間が長いほど、心から感動することが増えていた。社会資源の利用は、何等かに子どもたちにより影響を与えるといえよう。

保護者への影響は、直接的ではないため、特に利用回数や利用期間ではさほど明確な違いは見られなかった。しかし、子どもの社会資源の利用箇所数が増えれば増えるほど、近所で話す大人が増えたり、子どもと図書館に行ったり、本の感想を話し合ったり知的な文化活動が増えていた。相互作用で、親子ともに知識や人間関係の幅が広がると思われる。

目的の中の子どもの貧困緊急対策事業の優先度を整理するため、子どもの貧困対策の大綱の一部改正によって、子どもの貧困を測る指標に追加された生活状況の視点（ここでいうはく奪指標）との関連を見た。その結果、はく奪指標得点が高ければ高いほど、保護者は子どもを育てるために我慢をしている、圧迫感を感じている状況が高くなっており行政の支援が必要であると予想される。しかし、はく奪得点が高くなればなるほど、一定の支援を受けている一方で、学童保育の利用は少なく、地域の集まりも活用できていない状況にある。経済状況の厳しさゆえに余裕がなく、そうならざるを得ないこともうかがえる。これらのことから、はく奪指標得点の高い保護者に対する事業の優先度は高いものと考えられる。

以上、子どもが通える小学校区に社会資源の量が十分とはいえない。加えて支援が必要で

ある世帯が、今ある社会資源を十分に活用できていない実態が明らかになった。つまり必要な子どもや家庭につなぐ流れができていない。すべての子どもを把握している保健センターや学校が積極的に社会資源活用の視点を持ち、社会資源が自然に支援を必要とされる世帯、子どもへ紹介される流れを作ることによって、そういったとりこぼしを防ぐことができる。そのためにはスクールソーシャルワーカー（SSW）のような、資源につなぐ人材を、単に導入するだけではなく、つなぐ仕組みのなかに役割とともに丁寧に入れていく必要があるであろう。文部科学省でも示されたすべての子どもを生活の視点でスクリーニングを行う際の導入役として、必要な資源につなぐ仕組みを学校のなかに作るなどが必要であると言える。

さらに今ある社会資源側でいうと、学校運営協議会など学校に入っている地域人材がその意義を理解して、地域の社会資源がより広く必要な子どもを受け入れられるような努力やその方向性を作る必要がある。今あるサービスが、貧困対策の意味づけでも活用できることの認識を広める必要がある。

冒頭「はじめに」において触れた、「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」の目的として、貧困解消に向けて、児童の権利条約の精神に則り推進すること、子どもの最善の利益が優先考慮され、各施策を子どもの状況に応じ包括的かつ早期に講ずることが示されたように、子どもにとって最善の利益という視点で、学校や地域が連携し、必要なサービスを受けることができる仕組みをつくっていくことは、経済状況は厳しくとも周囲とのつながりが強い沖縄県だからこそ、ほかの自治体に先んじて取り組める可能性がある。



図 1	社会資源の種類（うるま市）	6
図 2	社会資源の種類（糸満市）	7
図 3	対象者（うるま市）	8
図 4	対象者（糸満市）	9
図 5	対象エリアの有無（うるま市）	10
図 6	対象エリアの有無（糸満市）	10
図 7	対象エリアの範囲（うるま市）	11
図 8	対象エリアの範囲（糸満市）	11
図 9	送迎サービスの有無（うるま市）	12
図 10	送迎サービスの有無（糸満市）	12
図 11	開設頻度（うるま市）	13
図 12	開設頻度（糸満市）	14
図 13	開設日（うるま市）	15
図 14	開設日（糸満市）	15
図 15	開設時間（うるま市）	16
図 16	開設時間（糸満市）	17
図 17	定員の有無（うるま市）	18
図 18	定員の有無（糸満市）	18
図 19	定員数（うるま市）	19
図 20	定員数（糸満市）	20
図 21	一日当たりの平均利用人数（うるま市）	21
図 22	一日当たりの平均利用人数（糸満市）	22
図 23	利用料の有無（うるま市）	23
図 24	利用料の有無（糸満市）	23
図 25	利用料の妥当性（うるま市）	24
図 26	利用料の妥当性（糸満市）	24
図 27	提供サービスの内容（うるま市）	25
図 28	提供サービスの内容（糸満市）	26
図 29	サービス実施に対する評価（うるま市）	27
図 30	サービス実施に対する評価（糸満市）	28
図 31	社会資源の種類別に見た対象者（うるま市）	29
図 32	対象者別に見た社会資源の種類（糸満市）	30
図 33	社会資源の種類別に見た対象エリアの有無（うるま市）	31
図 34	社会資源の種類別に見た対象エリアの有無（糸満市）	32
図 35	社会資源の種類別に見た対象エリアの範囲（うるま市）	33
図 36	社会資源の種類別に見た対象エリアの範囲（糸満市）	34

図 37	社会資源の種類別に見た送迎サービス実施の有無（うるま市）	35
図 38	社会資源の種類別に見た送迎サービス実施の有無（糸満市）	36
図 39	社会資源の種類別に見た開設頻度（うるま市）	37
図 40	社会資源の種類別に見た開設頻度（糸満市）	38
図 41	社会資源の種類別に見た開設日（うるま市）	39
図 42	社会資源の種類別に見た開設日（糸満市）	40
図 43	社会資源の種類別に見た開設時間（うるま市）	41
図 44	社会資源の種類別に見た開設時間（糸満市）	42
図 45	社会資源の種類別に見た定員の有無（うるま市）	43
図 46	社会資源の種類別に見た定員の有無（糸満市）	44
図 47	社会資源の種類別に見た定員数（うるま市）	45
図 48	社会資源の種類別に見た定員数（糸満市）	46
図 49	社会資源の種類別に見た1日当たりの平均利用人数（うるま市）	47
図 50	社会資源の種類別に見た1日当たりの平均利用人数（糸満市）	48
図 51	定員に占める一日当たりの平均利用人数の割合（全体）（うるま市）	49
図 52	定員に占める一日当たりの平均利用人数の割合（全体）（糸満市）	50
図 53	定員に占める一日当たりの平均利用人数の割合（社会資源種別）（うるま市）	51
図 54	定員に占める一日当たりの平均利用人数の割合（社会資源種別）（糸満市）	52
図 55	社会資源の種類別に見た利用料の有無（うるま市）	53
図 56	社会資源の種類別に見た利用料の有無（糸満市）	54
図 57	社会資源の種類別に見た提供サービス（①児童館 うるま市）	55
図 58	社会資源の種類別に見た提供サービス（①児童館 糸満市）	56
図 59	社会資源の種類別に見た提供サービス（②学童保育 うるま市）	57
図 60	社会資源の種類別に見た提供サービス（②学童保育 糸満市）	58
図 61	社会資源の種類別に見た提供サービス（③放課後子ども教室 うるま市）	59
図 62	社会資源の種類別に見た提供サービス（③放課後子ども教室 糸満市）	60
図 63	社会資源の種類別に見た提供サービス（④地域未来塾 うるま市）	61
図 64	社会資源の種類別に見た提供サービス（⑤図書館・博物館 うるま市）	62
図 65	社会資源の種類別に見た提供サービス（⑤図書館・博物館 糸満市）	63
図 66	社会資源の種類別に見た提供サービス（⑥公民館 うるま市）	64
図 67	社会資源の種類別に見た提供サービス（⑥公民館 糸満市）	65
図 68	社会資源の種類別に見た提供サービス（⑦子どもの居場所 うるま市）	66
図 69	社会資源の種類別に見た提供サービス（⑦子どもの居場所 糸満市）	67
図 70	社会資源の種類別に見た提供サービス（⑧地域の集まり 糸満市）	68
図 71	小学校区別社会資源一覧（うるま市）	79
図 72	小学校区別社会資源一覧（糸満市）	80

図 73	子どもとの続柄 .....	83
図 74	年齢.....	84
図 75	家族の人数.....	85
図 76	家族構成 .....	86
図 77	経済的理由によるはく奪経験（生活全般に関する経験） .....	87
図 78	経済的理由によるはく奪経験（子どもに関する経験） .....	88
図 79	生計を支えている方の就労状況.....	89
図 80	就労していない理由 .....	90
図 81	社会資源の認知度（全体） .....	91
図 82	社会資源の利用状況（1人目） .....	92
図 83	社会資源の利用状況（2人目） .....	93
図 84	社会資源の利用状況（3人目） .....	94
図 85	行ったことがある社会資源の数（1人目） .....	95
図 86	行ったことがある社会資源の数（2人目） .....	95
図 87	行ったことがある社会資源の数（3人目） .....	96
図 88	知っているが利用しない理由（1人目） .....	97
図 89	知っているが利用しない理由（2人目） .....	98
図 90	知っているが利用しない理由（3人目） .....	99
図 91	子どもがふだん1番よく行く場所（1人目） .....	100
図 92	子どもがふだん1番よく行く場所（2人目） .....	101
図 93	子どもがふだん1番よく行く場所（3人目） .....	101
図 94	1番よく行く場所を利用する理由（1人目） .....	102
図 95	1番よく行く場所を利用する理由（2人目） .....	103
図 96	1番よく行く場所を利用する理由（3人目） .....	103
図 97	よく行く場所を利用するようになってからの子どもの行動範囲や積極性 .....	104
図 98	子どもがよく行く場所を利用するようになって良かったと思うか.....	105
図 99	問 6-① 同じ時刻に起きる .....	106
図 100	問 6-② 朝食を食べる.....	107
図 101	問 6-③ 健康状態がよい.....	108
図 102	問 6-④ 授業時間以外にも勉強する.....	109
図 103	問 6-⑤ 授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る .....	110
図 104	問 6-⑥ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する .....	111
図 105	問 6-⑦ 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる .....	112
図 106	問 6-⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる .....	113
図 107	問 6-⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている .....	114
図 108	問 6-⑩ 年下の子どもたちに対してやさしい .....	115

図 109	問 6-⑪ 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり嫌な思いをしているときなど、 すすんで助ける .....	116
図 110	問 6-⑫ 自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど） ...	117
図 111	問 6-⑬ 他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など） ...	118
図 112	問 6-⑭ 他人の気持ちをよく気づかう .....	119
図 113	問 7-① お子さんと会話をしますか.....	120
図 114	問 7-② お子さんと十分時間を過ごしていますか.....	121
図 115	問 7-③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか.....	122
図 116	問 7-④ お子さんと一緒に図書館に行きますか.....	123
図 117	問 7-⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか .....	124
図 118	問 7-⑥ お子さんを信頼していますか .....	125
図 119	問 8-① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある.....	126
図 120	問 8-② 子どもを育てるために我慢している .....	127
図 121	問 8-③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる.....	128
図 122	問 8-④ 子どもの世話にはあまり関心がない .....	129
図 123	問 8-⑤ 近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人が数人いる .....	130
図 124	問 8-⑥ 育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりすることが好き .....	131
図 125	問 8-⑦ お子さんと離れたい、と思うことがある .....	132
図 126	子どもに関する進路観（1人目） .....	133
図 127	子どもに関する進路観（2人目） .....	134
図 128	子どもに関する進路観（3人目） .....	135
図 129	支援状況 .....	136
図 130	子どもに関する要望.....	137
図 131	経済状況別に見た、読んだ本の感想の話し合い<現在> .....	139
図 132	経済状況別に見た、子どもに受けさせたい教育<現在> .....	140
図 133	経済状況別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある .	141
図 134	経済状況別に見た、子どもを育てるために我慢している<現在> .....	142
図 135	経済状況別に見た、自分一人で育てているという圧迫感を感じる<現在> ....	143
図 136	経済状況別に見た、自分からすすんでよく他人を手伝う<現在> .....	144
図 137	経済状況別に見た、知っている場所 .....	145
図 138	経済状況別に見た、利用したことがある場所.....	146
図 139	経済状況別に見た、利用したことがある場所の数.....	148
図 140	経済状況別に見た、知っているが利用しない理由_学童保育 .....	149
図 141	経済状況別に見た、知っているが利用しない理由_公民館.....	150
図 142	経済状況別に見た、知っているが利用しない理由_子どもの居場所 .....	151

図 143	経済状況別に見た、知っているが利用しない理由_地域の集まり	152
図 144	経済状況別に見た、市町村の支援員から支援を受けた経験	153
図 145	利用箇所数別に見た、読んだ本の感想の話し合い<現在>	155
図 146	利用箇所数別に見た、子どもと図書館に行く<現在>	156
図 147	利用箇所数別に見た、子どもに受けさせたい教育<現在>	157
図 148	利用箇所数別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある .....	158
図 149	利用箇所数別に見た、近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする 人が数人いる<現在>.....	159
図 150	利用箇所数別に見た、育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりするこ とが好き<現在>.....	160
図 151	利用頻度別に見た、子どもと図書館に行く<現在>.....	161
図 152	利用頻度別に見た、自分一人で育てているという圧迫感を感じる<現在>....	162
図 153	利用期間別に見た、子どもと図書館に行く<現在>.....	163
図 154	性別.....	181
図 155	学年.....	181
図 156	家族構成.....	182
図 157	ふだんの放課後過ごす場所.....	183
図 158	持っているものや使うことができるもの.....	184
図 159	社会資源の認知度.....	185
図 160	社会資源の利用状況.....	186
図 161	行ったことがある社会資源の数.....	187
図 162	知っているが利用しない理由.....	188
図 163	1番よく行く場所.....	189
図 164	1番よく行く場所に行き始めた時期.....	190
図 165	1番よく行く場所の利用頻度.....	191
図 166	1番よく行く場所に来てからの交友関係.....	191
図 167	1番よく行く場所に行く理由.....	192
図 168	1番よく行く場所に行って良かったと思うか.....	193
図 169	学校への登校頻度.....	194
図 170	学校への遅刻の頻度.....	195
図 171	問 10-① 同じ時刻に起きる.....	196
図 172	問 10-② 朝食を食べる.....	196
図 173	問 10-③ 健康状態がよい.....	197
図 174	問 10-④ いままでの人生で、心から感動したことがある.....	197
図 175	問 10-⑤ 夢中になった、勉強がおもしろいと思った、.....	198

図 176	問 10-⑥ 小さい子や、お年寄りがこまっているとき、手助けする	198
図 177	問 10-⑦ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する	199
図 178	学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間 <利用する前>	200
図 179	学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間 <現在>	200
図 180	学校の勉強についての気持ち	201
図 181	学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間 <利用する前>	202
図 182	学校の授業時間以外での1日あたりの読書時間 <現在>	202
図 183	進路観 <利用する前>	203
図 184	進路観 <現在>	203
図 185	ふだんの放課後過ごす人 <利用する前>	204
図 186	ふだんの放課後過ごす人 <現在>	204
図 187	問 11-① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる人	205
図 188	問 11-② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人	205
図 189	問 11-③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる人	206
図 190	問 11-④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる人	206
図 191	問 12-① 自分に自信がある	207
図 192	問 12-② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	207
図 193	問 12-③ 大人を信用できる	208
図 194	問 12-④ 自分の将来の夢や目標を持っている	208
図 195	問 12-⑤ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う	209
図 196	問 12-⑥ 将来、働きたいと思う	209
図 197	望むこと	210
図 198	経済状況別に見た、行ったことがある場所	212
図 199	経済状況別に見た、知っていても行かない理由（学童保育：近くに場所がない）	213
図 200	経済状況別に見た、知っていても行かない理由（図書館・博物館：その他）	214
図 201	経済状況別に見た、知っていても行かない理由	215
図 202	経済状況別に見た、放課後に過ごす相手<現在>	217
図 203	経済状況別に見た、一人ではできないことがあったときには、	218
図 204	経済状況別に見た、持ち物<現在>	219
図 205	経済状況別に見た、ふだんの放課後過ごす場所<現在>	220
図 206	世帯状況別に見た、同じ時刻に起きる<現在>	221
図 207	世帯状況別に見た、健康状態が良い<現在>	222
図 208	世帯状況に見た、放課後に過ごす相手<現在>	223
図 209	世帯状況別に見た、あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる<現在>	



.....	225
図 210 世帯状況別に見た、一人ではできないことがあったときには、	226
図 211 世帯状況別に見た、あなたが悩んでいるときに、	227
図 212 世帯状況別に見た、持ち物<現在>	228
図 213 世帯状況別に見た、ふだんの放課後過ごす場所<現在>	230
図 214 利用箇所数別に見た、健康状態がよい<現在>	233
図 215 利用箇所数別に見た、いままでの人生で、心から感動したことがある<現在>	234
.....	234
図 216 利用箇所数別に見た、自分の将来の夢や目標を持っている<現在>	235
図 217 利用箇所数別に見た、将来、働きたいと思う<現在>	236
図 218 利用箇所数別に見た、放課後に過ごす相手<現在>	238
図 219 利用箇所数別に見た、お祭りやボランティア活動など、	239
図 220 利用頻度別に見た、登校頻度<現在>	240
図 221 利用頻度別に見た、学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間<現在>	241
図 222 利用頻度別に見た、子どもが保護者と同じ時刻に起きる<現在>	242
図 223 利用頻度別に見た、自分に自信がある<現在>	243
図 224 利用頻度別に見た、大人を信用できる<現在>	244
図 225 利用頻度別に見た、子どもの交友関係	245
図 226 利用頻度別に見た、「1番よく行く場所」と答えた場所に	246
図 227 利用頻度別に見た、放課後に過ごす相手<現在>	247
図 228 利用期間別に見た、登校頻度<現在>	249
図 229 利用期間別に見る、学校の授業時間以外での1日あたりの勉強時間<現在>	250
図 230 利用期間別に見た、学校の勉強についての気持ち<現在>	251
図 231 利用期間別に見た、学校の授業時間以外の読書時間<現在>	252
図 232 利用期間別に見た、同じ時刻に起きる<現在>	253
図 233 利用期間別に見た、朝食を食べる<現在>	254
図 234 利用期間別に見た、健康状態がよい<現在>	255
図 235 利用期間別に見た、いままでの人生で、心から感動したことがある<現在>	256
図 236 利用期間別に見た、夢中になった、勉強がおもしろいと思った、	257
図 237 利用期間別に見た、自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	258
図 238 利用期間別に見た、子どもの交友関係	259
図 239 利用期間別に見た、「1番よく行く場所」と答えた場所に	260
図 240 利用期間別に見た、放課後に過ごす相手<現在>	261
図 241 利用期間別に見た、小さい子や、お年寄りがこまっているとき、	262
図 242 利用期間別に見た、あなたが、何かに失敗したときに、	263
図 243 利用期間別に見た、あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、	264

図 244 利用期間別に見た、一人ではできないことがあったときには、..... 265



## **V 資料**

1. アンケート調査票（社会資源量調査）
2. アンケート調査票（支援状況等調査）

1. アンケート調査票(社会資源調査票)

市町村名：( ) 自治体内で以下の事業を担当されている職員の皆様へ：社会資源ごとに事業の要項等規定されている内容(目的、定員等)や実績及び課題などをお答えください。

担当職名：( ) ※入力の方法：オンラインアンケート入力(自由記述)、水色→当てはまる番号に「1」のみ入力、赤→数値を入力してください。

事業・機関の名称：( ) ※公表されている名称をお答えください。

小学校区：( )

※回答して頂く事業・機関の選定について、下記の番号の中から選び、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。 ①児童館 ②児童館(放課後児童クラブ) ③放課後子ども教室 ④地域未来塾 ⑤図書館・博物館 ⑥公民館 ⑦子ども居場所(無料で食事が食べられる、勉強を教えてもらえる場所) ⑧地域の集まり(子ども会、青年会等) ⑨その他	問1) 事業・機関の目的についてお答えください。									問2-1) 事業・機関の対対象者についてお答えください。 ①未就学児 ②小学生 ③中学生 ④高校生 ⑤義務教育終了以上の若者 ⑥特定しない				問2-2) 事業・機関の対対象者以外に、対象者を特定している場合は、下記の番号の中から選り、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。(複数回答可) ①障害者世帯 ②低所得世帯 ③ひとり親世帯 ④その他				問3-1) 事業・機関がサービスを提供しているエリアについて、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。エリアがある場合は、下記の番号の中から選び、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。(市内全域より対象エリアが広い場合は、④の市内全域を選択してください。) ①自治会範囲 ②小学校区 ③中学校区 ④市内全域				問3-2) 問3-1で対象とするエリアがある場合は、下記の番号の中から選び、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。(複数回答可)			
	回答して頂く事業・機関名をご記入ください。	対象エリアを設定・想定する理由																							

問3-3) 事業・機関を利用するため送迎サービスについて、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。 ①運6日から運7日 ②運3日から運5日 ③運1日から運2日 ④月2日から月3日程度 ⑤月1日程度	問4-1) 事業・機関の開設日について、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。 ①平日・祝日 ②土日・祝日	問4-2) 事業・機関の開設日について、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。(複数回答可) ①9時から13時の範囲内 ②13時以降から19時の範囲内 ③18時以降の夜間	問4-3) 事業・機関の開設日の時間帯について、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。(複数回答可) ①9時から13時の範囲内 ②13時以降から19時の範囲内 ③18時以降の夜間	問5) 事業・機関を利用する際に想定される子どもの定員の有無について、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。定員がある場合は人数もお答えください。 ①定員はない ②定員がある	問6) 事業・機関の2019年4月から9月までの1日当たりの子ども平均利用者数をお答えください。	問7-1) 事業・機関を利用する際の利用料の有無について、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。 ①利用料はない ②利用料がある	問7-2) 事業・機関を利用する際に利用料がある場合は、その金額が利用者にとって妥当かどうかを判断するために「1」を入力してください。 ①妥当だと思う ②妥当でないと思う ③よくわからない	問8) 事業・機関が提供しているサービスについて、下記の番号の中から選び、あてはまる番号の欄に「1」を入力してください。(複数回答可) ①食事提供を行う支援 ②基本的な生活習慣に関する支援 ③保護者に対する子育て全般に関する相談支援 ④選別や選考に関する支援(事業やサービス) ⑤学習に関する支援 ⑥不登校に関する支援 ⑦非行等に関する支援 ⑧就業・就労に関する支援(職場体験、あるいは職に必要な技術支援) ⑨経済的支援 ⑩他の支援 ⑪関係機関へのつなぎ(情報提供など) ⑫その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫											

<p>問9) 問8の事業・機関が提供しているサービスが十分に実施されていると思いませんか。問7で回答したそれぞれのサービスについて、以下の4段階の中から評価し、あてはまる数字を問8の事例に沿った①～⑭の下に入力してください。</p> <p>1. とてもあてはまる  2. まあまああてはまる  3. あまりあてはまらない  4. まったくあてはまらない</p>	<p>問10) その他、事業・機関の実施に関して、支援の効果や課題と感じる点があれば、お書きください。</p> <p>【支援の効果の例】  子どもの利用者が増加し、支援が広がったなど</p> <p>【課題の例】  人材不足など</p>																								
<table border="1"> <tr> <td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td><td>⑦</td><td>⑧</td><td>⑨</td><td>⑩</td><td>⑪</td><td>⑫</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫													<p style="text-align: center;">課題</p>
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫														

# アンケート調査票（保護者用）

## <保護者の皆様へ 調査へのご協力のお願い>

この調査は、沖縄県及び市町村が実施する子どものための政策の効果について把握することを目的としております。保護者の方に家庭状況などをお聞きし、今後の支援策に役立てるために実施するものであります。皆様からの回答を今後の改善につなげていきたいと考えておりますので、お忙しい中お手数ですが、調査へのご協力をお願いします。

### ----- プライバシーへの配慮 -----

- ・ お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人を特定することはありません。調査研究の結果は公表しますが、目的以外に使うことはありません。安心してご記入ください。
- ・ 答えたくない質問には回答しなくて結構です。また、回答の途中でやめることもできます。
- ・ この調査票の番号は、本ページの右下の枠内に記載されています。この番号は調査票を整理する際に使います。番号は順不同になっており、個人を特定するものではありません。沖縄県や市町村の担当者にも個人が特定できないようになっています。

### ----- 調査票の返信方法 -----

- ・ 調査に回答後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで封をしてください。
- ・ すべてのお子さんの回答の入った「子ども用封筒」とすべてのお子さんに対する回答の入った「保護者用封筒」を大きな封筒にまとめて入れてください。
- ・ 提出期限までに、返信してください。

提出期限：令和元年 11月 1日（金）

この調査票の番号

## ----- 回答にあたってのお願い -----

- ・ この調査は小学1年生から中学3年生までのお子さんを対象としております。
- ・ 小学1年生から中学3年生までのお子さんの中で、一番上のお子さんから最大3人分の回答をお願いします。上段に1人目、2人目、と記載しておりますので、見ながらそれぞれのお子さんについてお答えください。
- ・ 調査票に回答するときには、お子さんと保護者の回答が見えないよう別々の場所で記入してください。お子さんの回答内容はなるべく見ないようにお願いします。お子さんがどうしてもお一人でできないようであれば、手伝ってあげてください。その際は、質問の内容や意味を教えてあげてください。
- ・ この調査に同意し、協力してくださる場合のみ、アンケートにご記入下さい。アンケートの記入をもって、この調査に同意していただいたものと判断させていただきます。

## ----- この調査の問合せ先 -----

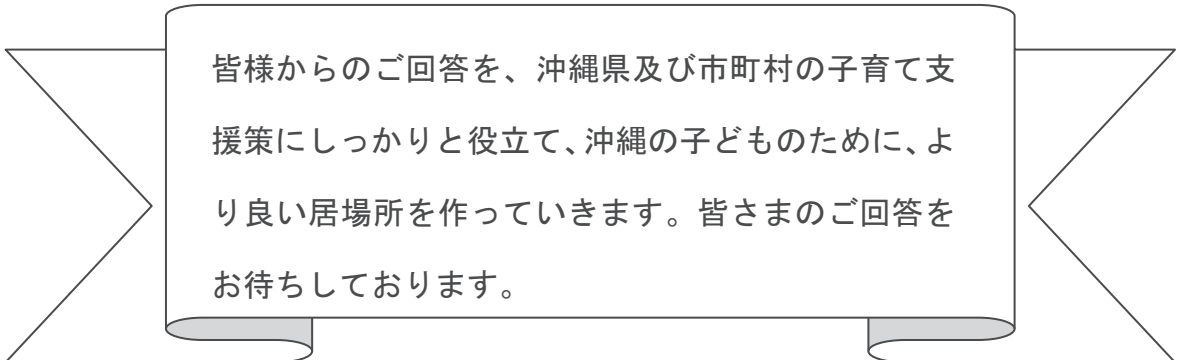
◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課（代表）

電話番号：098-866-2100

FAX 番号：098-869-5146

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟 3階（南側）



皆様からのご回答を、沖縄県及び市町村の子育て支援策にしっかりと役立て、沖縄の子どものために、より良い居場所を作っていきます。皆さまのご回答をお待ちしております。

問1. あなたのお子さんの人数は何人ですか。

(あてはまる人数の番号1つに○をつけて下さい)

1. 1人	5. 5人
2. 2人	6. 6人
3. 3人	7. 7人
4. 4人	8. 8人
	9. 9人以上

そのうち、(小学1年生から中学3年生まで) 1番上のお子さんの学年

**1人目**

学年 → このお子さんを、この調査では「お子さんの1人目」とします。

**あなたのお子さんの1人目がよく行く場所のことについておたずねします。**

問2. 沖縄県内には【表1】のような場所があります。

【表1】を見て、次の問いに答えてください。

【表1】

1. 児童館
2. 学童保育 (放課後児童クラブ)
3. 放課後子ども教室 (放課後、学校の中でスポーツをしたり勉強を教えてもらうところ)
4. 地域未来塾 (中学生が学校の先生だった人や大学生に勉強を教えてもらうところ)
5. 図書館・博物館
6. 公民館 (地域の集まりではなく、遊びや宿題をしに行く場所)
7. 子どもの居場所 (無料で食事が食べられたり、勉強を教えてもらうところ)
8. 地域の集まり (子ども会、青年会等)
9. その他

# 1人目

問2-1. 表1にあげた、それぞれの場所をあなたは知っていますか。左の表の「知らない」、もしくは「知っている」のどちらかに○をつけてください。

また、知っているに○をつけた場合で、お子さんの1人目がその場所を利用したことがあれば右の表に○をつけてください。その下に利用したことのある場所の合計の数も書いてください。

「知っている」に○をつけた場合はその場所を利用したことがあるか、お答えください。

場所	知らない	知っている	場所	利用したことがある
1. 児童館			1. 児童館	
2. 学童保育			2. 学童保育	
3. 放課後子ども教室			3. 放課後子ども教室	
4. 地域未来塾			4. 地域未来塾	
5. 図書館・博物館			5. 図書館・博物館	
6. 公民館			6. 公民館	
7. 子どもの居場所			7. 子どもの居場所	
8. 地域の集まり			8. 地域の集まり	
9. その他			9. その他	

利用したことのある場所の合計の数 ヶ所

※お子さんの1人目が利用したことのある場所の合計が、

## 【0の場合】

→5ページの間6へ進んで、そのお子さんについて<現在>の列のみお答え下さい。

## 【1ヶ所以上ある場合】

→次のページからの質問にもお答えください。

# 1人目

問2-2. 問2-1で、その場所を「知っている」に○をつけたが、お子さんの1人目が「利用したことがある」に○をつけなかった（利用したことがない）場合は、その理由を教えてください。（理由として近い数字すべてに○をつけて下さい）

**【知っているが利用しない理由】**

1. 近くに場所がない	場所	利用しない理由					
2. 利用料が高い	1. 児童館	1	2	3	4	5	6
3. 必要な支援内容が得られない	2. 学童保育	1	2	3	4	5	6
4. 通わせる必要性を感じられない	3. 放課後 子ども教室	1	2	3	4	5	6
5. クラブ活動や習いごとに行くため	4. 地域未来塾	1	2	3	4	5	6
6. その他	5. 図書館・ 博物館	1	2	3	4	5	6
	6. 公民館	1	2	3	4	5	6
	7. 子どもの居 場所	1	2	3	4	5	6
	8. 地域の 集まり	1	2	3	4	5	6
	9. その他	1	2	3	4	5	6

問3-1. 【表1】にあげた場所をいずれか利用している場合、あなたのお子さんの1人目がふだん1番よく行く場所の番号を書いてください。

ふだん1番よく行く場所の番号（     ）

問3-2. 問3-1のあなたのお子さんの1人目がふだん1番よく行く場所について、そこに行く理由を教えてください。

（あてはまる番号すべてに○をつけて下さい）

- 1. 経済的に助かるから
- 2. 子どもの世話をする時間がないから
- 3. 近くにあって安心だから
- 4. 子どもが行きたいと言ったから
- 5. 支援内容が充実してるから
- 6. その他



# 1人目

問4. 問3-1で「ふだん1番よく行く場所」と答えた場所を利用するようになってから、あなたのお子さんの1人目の行動範囲が広がったり、積極的になったと思いますか。  
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというと思わない
2. どちらかというと思おう	4. そう思わない

問5. 問3-1で「ふだん1番よく行く場所」と答えた場所をあなたのお子さんの1人目が利用するようになって、あなたは良かったと思いますか。  
(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというと思わない
2. どちらかというと思おう	4. そう思わない

# 1人目

問6～9は、3ページの問3-1で答えた「あなたのお子さんの1人目がふだん1番よく行く場所」を<利用する前>と<現在>のそれぞれについてお答えください。  
 \* 2ページの問2-1で利用したことのある場所の合計が0の場合は、<現在>の列のみをお答えください。

問6. お子さんの1人目について、もっとも近いものを選んでください。

(①～⑭について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

- 【1. あてはまる 2. どちらかというにあてはまる  
 3. どちらかというにあてはまらない 4. あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① 同じ時刻に起きる。	1	2	3	4	1	2	3	4
② 朝食を食べる。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 健康状態がよい。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 授業時間以外にも勉強する。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ 年下の子どもたちに対してやさしい。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ 自分からすすんでよく他人を手伝う(親・先生・子どもたちなど)。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬ 他の子どもたちと、よく分け合う(おやつ・おもちゃ・鉛筆など)。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ 他人の気持ちをよく気づかう。	1	2	3	4	1	2	3	4

# 1人目

問7. あなたとお子さんの1人目との関係について、お聞かせください。

(①～⑥について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

- 【1.あてはまる 2.どちらかというにあてはまる  
3.どちらかというにあてはまらない 4.あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① お子さんと会話をしますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
② お子さんと十分時間を過ごしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ お子さんと一緒に図書館に行きますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ お子さんを信頼していますか。	1	2	3	4	1	2	3	4

問8. あなた自身のあなたのお子さんの1人目に対する子育てについてのお気持ちをお聞かせください。

(①～⑦について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

- 【1. あてはまる 2. どちらかというにあてはまる  
3. どちらかというにあてはまらない 4. あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。	1	2	3	4	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人が数人いる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりすることが好き。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ お子さんと離れたい、と思うことがある。	1	2	3	4	1	2	3	4

問9. あなたのご家庭では、お子さんの1人目にどの段階までの教育を受けさせたいですか。

(<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

<利用する前>	<現在>
1. 中学校	1. 中学校
2. 高校	2. 高校
3. 専門学校	3. 専門学校
4. 大学	4. 大学
5. 考えたことがない	5. 考えたことがない
6. わからない	6. わからない

## 2人目

小学1年生から中学生までのお子さんが、

### 【1人しかいない場合】

→22ページの間27に進んでください。

### 【2人以上いる場合】

→次の間10以降の質問にも回答してください。

(小学1年生から中学3年生まで) 2番目のお子さんの学年

学年 →このお子さんを、この調査では「お子さんの2人目」とします。

**あなたのお子さんの2人目がよく行く場所のことについておたずねします。**

問10. 沖縄県内にある子どもが利用可能な場所の一覧【表1】(再掲)を見て、お子さんの2人目についても、以降の問いに答えてください。

【表1】

1. 児童館
2. 学童保育(放課後児童クラブ)
3. 放課後子ども教室  
(放課後、学校の中でスポーツをしたり勉強を教えてもらうところ)
4. 地域未来塾  
(中学生が学校の先生だった人や大学生に勉強を教えてもらうところ)
5. 図書館・博物館
6. 公民館(地域の集まりではなく、遊びや宿題をしに行く場所)
7. 子どもの居場所(無料で食事が食べられたり、勉強を教えてもらうところ)
8. 地域の集まり(子ども会、青年会等)
9. その他

# 2人目

問10-1. 表1にあげた、それぞれの場所をあなたは知っていますか。左の表の「知らない」、もしくは「知っている」のどちらかに○をつけてください。  
また、知っているに○をつけた場合で、お子さんの2人目がその場所を利用したことがあれば右の表に○をつけてください。その下に利用したことのある場所の合計の数も書いてください。

「知っている」に○をつけた場合はその場所を利用したことがあるか、お答えください。

場所	知らない	知っている	場所	利用したことがある
1. 児童館			1. 児童館	
2. 学童保育			2. 学童保育	
3. 放課後子ども教室			3. 放課後子ども教室	
4. 地域未来塾			4. 地域未来塾	
5. 図書館・博物館			5. 図書館・博物館	
6. 公民館			6. 公民館	
7. 子どもの居場所			7. 子どもの居場所	
8. 地域の集まり			8. 地域の集まり	
9. その他			9. その他	

利用したことのある場所の合計の数 ヶ所

※お子さんの2人目が利用したことのある場所の合計が、

## 【0の場合】

→12ページの間14へ進んで、そのお子さんについて<現在>の列のみお答え下さい。

## 【1ヶ所以上ある場合】

→次のページからの質問にもお答えください。

# 2人目

問10-2. 問10-1で、その場所を「知っている」に○をつけたが、お子さんの2人目が「利用したことがある」に○をつけなかった（利用したことがない）場合は、その理由を教えてください。（理由として近い数字すべてに○をつけて下さい）

## 【知っているが利用しない理由】

1. 近くに場所がない 2. 利用料が高い 3. 必要な支援内容が得られない 4. 通わせる必要性を感じられない 5. クラブ活動や習いごとに行くため 6. その他	場所	利用しない理由					
		1	2	3	4	5	6
	1. 児童館	1	2	3	4	5	6
	2. 学童保育	1	2	3	4	5	6
	3. 放課後子ども教室	1	2	3	4	5	6
	4. 地域未来塾	1	2	3	4	5	6
	5. 図書館・博物館	1	2	3	4	5	6
	6. 公民館	1	2	3	4	5	6
	7. 子どもの居場所	1	2	3	4	5	6
	8. 地域の集まり	1	2	3	4	5	6
	9. その他	1	2	3	4	5	6

問11-1. 【表1】にあげた場所をいずれか利用している場合、あなたのお子さんの2人目がふだん1番よく行く場所の番号を書いてください。

ふだん1番よく行く場所の番号（ ）

問11-2. 問11-1のあなたのお子さんの2人目がふだん1番よく行く場所について、そこに行く理由を教えてください。

（あてはまる番号すべてに○をつけて下さい）

- |   |
|---|
| 1. 経済的に助かるから<br>2. 子どもの世話をする時間がないから<br>3. 近くにあって安心だから<br>4. 子どもが行きたいと言ったから<br>5. 支援内容が充実してるから<br>6. その他 |
|---|

## 2人目

問1 2. 問1 1-1で「ふだん1番よく行く場所」と答えた場所を利用するようになってから、あなたのお子さんの2人目の行動範囲が広がったり、積極的になったと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというと思わない
2. どちらかというと思おう	4. そう思わない

問1 3. 問1 1-1で「ふだん1番よく行く場所」と答えた場所をあなたのお子さんの2人目が利用するようになって、あなたは良かったと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというと思わない
2. どちらかというと思おう	4. そう思わない



# 2人目

問14～17は、10ページの問11-1で答えた、あなたのお子さんの2人目が「ふだん1番よく行く場所」を<利用する前>と<現在>のそれぞれについて、お答えください。

\* 9ページの問10-1で利用したことのある場所の合計が0の場合は、<現在>の列のみをお答えください。

問14. お子さんの2人目について、もっとも近いものを選んでください。

(①～⑭について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

【1. あてはまる 2. どちらかというにあてはまる

3. どちらかというにあてはまらない 4. あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① 同じ時刻に起きる。	1	2	3	4	1	2	3	4
② 朝食を食べる。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 健康状態がよい。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 授業時間以外にも勉強する。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ 年下の子どもたちに対してやさしい。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ 自分からすすんでよく他人を手伝う(親・先生・子どもたちなど)。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬ 他の子どもたちと、よく分け合う(おやつ・おもちゃ・鉛筆など)。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ 他人の気持ちをよく気づかう。	1	2	3	4	1	2	3	4

# 2人目

問15. あなたとお子さんの2人目との関係について、お聞かせください。

(①～⑥について、＜利用する前＞と＜現在＞でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

- 【1. あてはまる 2. どちらかというにあてはまる  
3. どちらかというにあてはまらない 4. あてはまらない】

	＜利用する前＞				＜現在＞			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① お子さんと会話をしますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
② お子さんと十分時間を過ごしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ お子さんと一緒に図書館に行きますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ お子さんを信頼していますか。	1	2	3	4	1	2	3	4

# 2人目

問16. あなた自身のあなたのお子さんの2人目に対する子育てについてのお気持ちをお聞かせください。

(①～⑦について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

- 【1.あてはまる 2.どちらかというにあてはまる  
3.どちらかというにあてはまらない 4.あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。	1	2	3	4	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人が数人いる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりすることが好き。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ お子さんと離れたい、と思うことがある。	1	2	3	4	1	2	3	4

問17. あなたのご家庭では、お子さんの2人目にどの段階までの教育を受けさせたいですか。

(<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

<利用する前>	<現在>
1. 中学校	1. 中学校
2. 高校	2. 高校
3. 専門学校	3. 専門学校
4. 大学	4. 大学
5. 考えたことがない	5. 考えたことがない
6. わからない	6. わからない

小学1年生から中学生までのお子さんが、

**【2人までの場合】**

→22ページの間27に進んでください。

**【3人以上いる場合】**

→次の問18以降の質問にも回答してください。

(小学1年生から中学3年生まで) 3番目のお子さんの学年

学年 →このお子さんを、この調査では「お子さんの3人目」とします。

**あなたのお子さんの3人目がよく行く場所のことについておたずねします。**

問18. 沖縄県内にある子どもが利用可能な場所の一覧【表1】(再掲)を見て、お子さんの3人目についても、以降の問いに答えてください。

**【表1】**

1. 児童館
2. 学童保育 (放課後児童クラブ)
3. 放課後子ども教室  
(放課後、学校の中でスポーツをしたり勉強を覚えてもらうところ)
4. 地域未来塾  
(中学生が学校の先生だった人や大学生に勉強を覚えてもらうところ)
5. 図書館・博物館
6. 公民館 (地域の集まりではなく、遊びや宿題をしに行く場所)
7. 子どもの居場所 (無料で食事が食べられたり、勉強を覚えてもらうところ)
8. 地域の集まり (子ども会、青年会等)
9. その他

# 3人目

問19-1. 表1にあげた、それぞれの場所をあなたは知っていますか。左の表の「知らない」、もしくは「知っている」のどちらかに○をつけてください。  
 また、知っているに○をつけた場合で、お子さんの3人目がその場所を利用したことがあれば右の表に○をつけてください。その下に利用したことのある場所の合計の数も書いてください。

「知っている」に○をつけた場合はその場所を利用したことがあるか、回答してください。

場所	知らない	知っている	場所	利用したことがある
1. 児童館			1. 児童館	
2. 学童保育			2. 学童保育	
3. 放課後子ども教室			3. 放課後子ども教室	
4. 地域未来塾			4. 地域未来塾	
5. 図書館・博物館			5. 図書館・博物館	
6. 公民館			6. 公民館	
7. 子どもの居場所			7. 子どもの居場所	
8. 地域の集まり			8. 地域の集まり	
9. その他			9. その他	

利用したことのある場所の合計の数  ケ所

※お子さんの3人目が利用したことのある場所の合計が、

## 【0の場合】

→19ページの間23へ進んで、そのお子さんについて<現在>の列のみお答え下さい。

## 【1ヶ所以上ある場合】

→次のページからの質問にもお答えください。

# 3人目

問19-2. 問19-1でその場所を「知っている」に○をつけたが、お子さんの3人目が「利用したことがある」に○をつけなかった（利用したことがない）場合は、その理由を教えてください。（理由として近い番号すべてに○をつけて下さい）

**【知っているが利用しない理由】**

1. 近くに場所がない 2. 利用料が高い 3. 必要な支援内容が得られない 4. 通わせる必要性を感じられない 5. クラブ活動や習いごとに行くため 6. その他	場所	利用しない理由					
		1	2	3	4	5	6
	1. 児童館	1	2	3	4	5	6
	2. 学童保育	1	2	3	4	5	6
	3. 放課後子ども教室	1	2	3	4	5	6
	4. 地域未来塾	1	2	3	4	5	6
	5. 図書館・博物館	1	2	3	4	5	6
	6. 公民館	1	2	3	4	5	6
	7. 子どもの居場所	1	2	3	4	5	6
	8. 地域の集まり	1	2	3	4	5	6
	9. その他	1	2	3	4	5	6

問20-1. 【表1】にあげた場所をいずれか利用している場合、あなたのお子さんの3人目がふだん1番よく行く場所の番号を書いてください。

ふだん1番よく行く場所の番号（      ）

問20-2. 問20-1のあなたのお子さんの3人目がふだん1番よく行く場所について、そこに行く理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○をつけて下さい）

- |   |
|---|
| 1. 経済的に助かるから<br>2. 子どもの世話をする時間がないから<br>3. 近くにあって安心だから<br>4. 子どもが行きたいと言ったから<br>5. 支援内容が充実してるから<br>6. その他 |
|---|

# 3人目

問21. 問20-1で「ふだん1番よく行く場所」と答えた場所を利用するようになってから、あなたのお子さんの3人目の行動範囲が広がったり、積極的になったと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというと思わない
2. どちらかというと思おう	4. そう思わない

問22. 問20-1で「ふだん1番よく行く場所」と答えた場所を、あなたのお子さんの3人目が利用するようになって、あなたは良かったと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. そう思う	3. どちらかというと思わない
2. どちらかというと思おう	4. そう思わない

# 3人目

問23～26は、17ページの問20-1で答えたあなたのお子さんの3人目が「ふだん1番よく行く場所」を<利用する前>と<現在>のそれぞれについて、お答えください。

\*16ページの問19-1で、利用したことのある場所の合計が0の場合は、<現在>の列のみをお答えください。

問23. お子さんの3人目について、もっとも近いものを選んでください。

(①～⑭について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

【1. あてはまる 2. どちらかというにあてはまる

3. どちらかというにあてはまらない 4. あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① 同じ時刻に起きる。	1	2	3	4	1	2	3	4
② 朝食を食べる。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 健康状態がよい。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 授業時間以外にも勉強する。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 授業が楽しい、勉強がおもしろいと思う、やる気が出る。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加する。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる人がいる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨ 自分の将来の夢や目標を持っている。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ 年下の子どもたちに対してやさしい。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ 自分からすすんでよく他人を手伝う(親・先生・子どもたちなど)。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬ 他の子どもたちと、よく分け合う(おやつ・おもちゃ・鉛筆など)。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ 他人の気持ちをよく気づかう。	1	2	3	4	1	2	3	4



# 3人目

問24. あなたとお子さんの3人目との関係について、お聞かせください。

(①～⑥について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

- 【1. あてはまる 2. どちらかというにあてはまる  
3. どちらかというにあてはまらない 4. あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① お子さんと会話をしますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
② お子さんと十分時間を過ごしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ お子さんと読んだ本の感想を話し合ったりしていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ お子さんと一緒に図書館に行きますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ お子さんの将来の夢について話し合っていますか。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ お子さんを信頼していますか。	1	2	3	4	1	2	3	4

問25. あなた自身のあなたのお子さんの3人目に対する子育てについてのお気持ちをお聞かせください。

(①～⑦について、<利用する前>と<現在>でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

- 【1. あてはまる 2. どちらかというにあてはまる  
3. どちらかというにあてはまらない 4. あてはまらない】

	<利用する前>				<現在>			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① 不安やイライラなどの感情を子どもに向けたことがある。	1	2	3	4	1	2	3	4
② 子どもを育てるために我慢している。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 自分一人で育てているという圧迫感を感じる。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 子どもの世話にはあまり関心がない。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 近所でふだん世間話をしたり、お子さんの話をしたりする人が数人いる。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 育児や家庭のことについて、他の人とおしゃべりすることが好き。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ お子さんと離れたい、と思うことがある。	1	2	3	4	1	2	3	4

# 3人目

問26. あなたのご家庭では、あなたのお子さんの3人目にどの段階までの教育を受けさせたいですか。

(＜利用する前＞と＜現在＞でそれぞれあてはまる番号1つに○をつけてください)

＜利用する前＞	＜現在＞
1. 中学校	1. 中学校
2. 高校	2. 高校
3. 専門学校	3. 専門学校
4. 大学	4. 大学
5. 考えたことがない	5. 考えたことがない
6. わからない	6. わからない

質問はあと少しあります。

子どもにとってより良い取り組みを実施するために、ご回答よろしく申し上げます。



**経済状況についておたずねします。**

問28. あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむねこの半年の間でお考えください。)  
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. 食費を切りつめた。</p> <p>2. 電気・ガス・水道などが止められた。</p> <p>3. 医療機関を受診できなかった。</p> <p>4. 国民健康保険税(料)の支払いが滞ったことがある。</p> <p>5. 国民年金の支払いが滞ったことがある。</p> <p>6. 金融機関などに借金をしたことがある。</p> <p>7. クレジットカードの利用が停止になったことがある。</p> <p>8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた。</p> <p>9. 新聞や雑誌を買うのを控えた。</p> <p>10. スマートフォンへの切替・利用を断念した。</p> <p>11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた。</p> <p>12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある。</p>	<p>13. バスやモノレールの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした。</p> <p>14. 電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある。</p> <p>16. 趣味やレジャーの出費を減らした。</p> <p>17. 冷暖房の使用を控えた。</p> <p>18. 友人・知人との外食を控えた。</p> <p>19. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した。</p> <p>20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした。</p> <p>21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった。</p> <p>22. 1～21の項目には、どれにもあてはまらない。</p>
--	--

問29. あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむねこの1年の間でお考えください。)

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。	9. 子どもを学習塾に通わすことができなかった。
2. 子どもの進路を変更した。	10. 子どもの誕生日を祝えなかった。
3. 子どものための本や絵本が買えなかった。	11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。
4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。	12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。
5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。	13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。
6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。	14. 家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった。
7. 子どもを習い事に通わすことができなかった。	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない。
8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。	

主に生計を支えている方のお仕事の状況についておたずねします。

※現在、産前産後休暇・育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

問30-1. お子さんの世帯で主に生計を支えている方の現在のお仕事の状況を教えてください。 (あてはまる番号1つに○をしてください)

1. 正規の職員・従業員	5. 自営
2. 派遣社員・契約社員・嘱託	6. 内職
3. パート・アルバイト	7. 働いていない
4. 会社・団体等の役員	8. その他

問30-2. 問30-1で「7. 働いていない」と答えた方にお聞きします。

働いていない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 家事や育児に専念	4. 学生
2. おうちの人の介護や介助	5. 年金など
3. 病気療養	6. 家賃収入など
	7. その他

問31. あなたは市町村の支援員(※)から支援を受けたことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 支援を受けている	2. 支援を受けていない
-------------	--------------

※ 支援員とは、経済的に困っている世帯などの相談にのったり、必要な支援につなぐ役割をする人のことです。各市町村における支援員の名称は、「子ども支援サポーター」、「子ども支援員」「家庭支援員」などです。

問32. あなたはお子さんに対してどのような支援を望んでいますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 食事支援</li><li>2. 生活指導 (あいさつなどの社会のルール)</li><li>3. 学習支援</li><li>4. キャリア形成等支援 (職場体験、体験学習等)</li><li>5. その他 ( )</li></ol> |
|--|

問33. お子さんが場所を利用するようになって、良かったと思うことや、今後要望したいこと、その他何でも思うことを自由に記入してください。

※自由記述の内容から個人を特定することはいたしません。

◆ 質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。

あ ん け ー と ち ょう さ ひ よ う こ ゃ ょ う  
アンケート調査票（子ども用）  
（このページには何も書かないでください）

この調査は、みなさんのふだんの生活の様子、将来についての考えや希望などを  
お聞きし、今後の支援等に役立てることを目的としております。調査へのご協力を  
お願いします。

----- かいとう ねが  
回答についてのお願い -----

- ◆この調査は、あなたが、自分で書いてください。
- ◆名前を書く必要はありません。結果については公表しますが、あなたが誰  
かわかることはありません。また、この調査を他のことに使うことはありません。  
安心して書いて下さい。
- ◆テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。  
答えたくない質問は答える必要はありません。また、回答の途中でやめるこ  
ともできます。答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ  
近いものを選ぶようにしてください。
- ◆この調査に答えてもよいと思う場合だけ、アンケート用紙に書いて答えて  
下さい。答えてくれた場合は、この調査に協力していただけると考えます。
- ◆書き終えたら「子ども用」の封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで閉じ  
て、お家の人の分とまとめて大きな封筒に入れてください。

----- ち ょう さ と い あ わ さ き  
この調査の問合せ先 -----

◆調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

おきなわけん こ せいかつ ふくしゅ こ みらい せいさくか だいひょう  
沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課（代表）

でんわばんごう ふあつくすばんごう  
電話番号：098-866-2100 F A X 番号：098-869-5146

おきなわけん な は し い ず み ぎ き ぎ ょう せい と う かい み な み が わ  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 行政棟3階（南側）

ていしゅつきげん れいわがんねん がつ にち きん  
提出期限：令和元年 11月 1日（金）

みぎ ばんごう だれ  
右の番号からあなたが誰かわかることはありません。

ち ょう さ ひ よ う ばんごう  
この調査票の番号



しつもん かいとうほうほう  
**質問の回答方法について**

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな色は何色ですか。

<p>① 赤色                  2. 黄色</p>	<p>3. 緑色                  4. その他の色</p>
--	--

※答えは、あてはまる番号に○をつけるか、表の中に○を書いてください。

※いくつ○をつけるかは、質問文に「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

とい おきなわけんない ひょう ばしょ  
 問1. 沖縄県内には【表1】のような場所があります。

ひょう み つぎ と こた  
 【表1】を見て、次の問いに答えてください。

ひょう ばしょ しゅるい  
**【表1】 場所の種類**

1. 児童館
2. 学童保育 (放課後児童クラブ)
3. 放課後子ども教室 (放課後、学校の中でスポーツをしたり勉強を教えてもらうところ)
4. 地域未来塾 (中学生が学校の先生だった人や大学生に勉強を教えてもらうところ)
5. 図書館・博物館
6. 公民館 (遊びや宿題をしに行く場所)
7. 子どもの居場所 (無料で食事が食べられたり、勉強を教えてもらうところ)
8. 地域の集まり (子ども会、青年会等)
9. その他

問1-1. 表1のそれぞれの場所を知っていますか。「知らない」もしくは「知っている」のどちらかに○をつけてください。また、知っていると答えた場合、その場所に行ったことがあれば、右側の表に○をつけてください。その下に行ったことがある場所の○の数も書いてください。

「知っている」に○をつけた場合は、その場所に行ったことがあるか、お答えください。

場所	知らない	知っている	→	場所	行ったことがある
1. 児童館				1. 児童館	
2. 学童保育				2. 学童保育	
3. 放課後 子ども教室				3. 放課後 子ども教室	
4. 地域未来塾				4. 地域未来塾	
5. 図書館 ・博物館				5. 図書館 ・博物館	
6. 公民館				6. 公民館	
7. 子どもの 居場所				7. 子どもの 居場所	
8. 地域の 集まり				8. 地域の 集まり	
9. その他				9. その他	

行ったことがある場所の○の数  個

※行ったことがある場所の○の数が、

【0個の場合】

→7ページの問4へ進んで、<現在>の列のみお答えください。

【1個以上ある場合】

→次のページからの質問にお答えください。

問1-2. 問1-1で場所を「知っている」に○をつけたが「行ったことがある」に○をつけなかった場合は、その理由を教えてください。  
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

【知っているも行かない理由】

1. 近くに場所がない 2. 利用料が高い 3. 行っても楽しくない 4. その場所に友達がいない 5. クラブ活動や習いごとに行くため 6. その他	場所	行かない理由					
		1. 児童館	1	2	3	4	5
	2. 学童保育	1	2	3	4	5	6
	3. 放課後子ども教室	1	2	3	4	5	6
	4. 地域未来塾	1	2	3	4	5	6
	5. 図書館・博物館	1	2	3	4	5	6
	6. 公民館	1	2	3	4	5	6
	7. 子どもの居場所	1	2	3	4	5	6
	8. 地域の集まり	1	2	3	4	5	6
	9. その他	1	2	3	4	5	6

問2-1. 【表1】の中であなたの1番よく行く場所の番号を書いてください。

1番よく行く場所の番号 ( )

問2-2. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に、いつから行っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

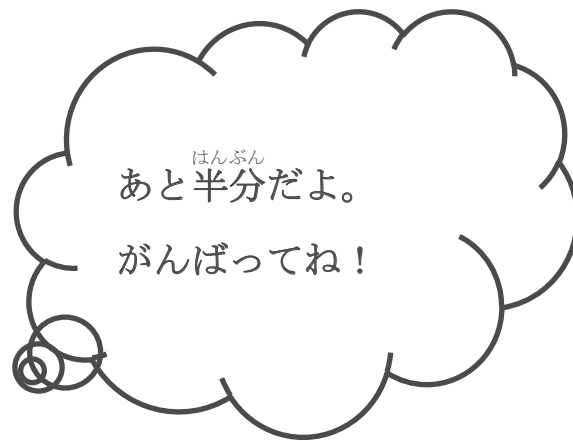
1. 2年以上前から	3. 半年～1年以内
2. 1～2年くらい前から	4. 半年以内
	5. いつからかわからない



問3. 問2-1で「1番よく行く場所」と答えた場所に行って良かったと思いますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	4. そう思わない
	5. わからない



問4～問13は、4ページの問2-1で答えた、  
 あなたがふだん「1番よく行く場所」を<利用する前>と<現在>の  
 それぞれについてお答えください。

\* 3ページの問1-1で行ったことがある場所の○の数が0個の場合は、右側の  
 <現在>についてのみ答えてください。

あなたのふだんの学校や家での生活についておたずねします。

問4. あなたは、週（月～金曜日）にどのくらい学校に登校しますか。  
 (<利用する前>と<現在>それぞれについて、あてはまる番号1つに  
 ○をつけてください)

<利用する前>	<現在>
1. 毎日	1. 毎日
2. 週に3～4回	2. 週に3～4回
3. 週に1回程度	3. 週に1回程度
4. ほとんど行かない	4. ほとんど行かない
5. 全く行かない	5. 全く行かない

問5. あなたは、週（月～金曜日）にどのくらい学校に遅刻することがあ  
 りますか。（<利用する前>と<現在>それぞれについて、あてはま  
 る番号1つに○をつけてください）

<利用する前>	<現在>
1. 毎日	1. 毎日
2. 週に3～4回	2. 週に3～4回
3. 週に1回程度	3. 週に1回程度
4. 遅刻はしない	4. 遅刻はしない
5. どれにもあてはまらない	5. どれにもあてはまらない

問6. あなたは、ふだん（月～金曜日）学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾などの時間も含まれます。）（<利用する前>と<現在>それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

<利用する前>	<現在>
1. まったくしない	1. まったくしない
2. 30分より少ない	2. 30分より少ない
3. 30分より多く、1時間より少ない	3. 30分より多く、1時間より少ない
4. 1時間より多く、2時間より少ない	4. 1時間より多く、2時間より少ない
5. 2時間より多く、3時間より少ない	5. 2時間より多く、3時間より少ない
6. 3時間より多い	6. 3時間より多い
7. わからない	7. わからない

問7. 学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。（<利用する前>と<現在>それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください）

<利用する前>	<現在>
1. よくわかる	1. よくわかる
2. だいたいわかる	2. だいたいわかる
3. あまりわからない	3. あまりわからない
4. ほとんどわからない	4. ほとんどわからない
5. どれにもあてはまらない	5. どれにもあてはまらない

問8. あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。)  
 (<利用する前>と<現在>それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください)

<small>りよう まえ</small> <利用する前>	<small>げんざい</small> <現在>
1. まったくしない	1. まったくしない
2. <small>ぶん すく</small> 30分より少ない	2. <small>ぶん すく</small> 30分より少ない
3. <small>ぶん おお</small> 30分より多く、 <small>じかん すく</small> 1時間より少ない	3. <small>ぶん おお</small> 30分より多く、 <small>じかん すく</small> 1時間より少ない
4. <small>じかん おお</small> 1時間より多く、 <small>じかん すく</small> 2時間より少ない	4. <small>じかん おお</small> 1時間より多く、 <small>じかん すく</small> 2時間より少ない
5. <small>じかん おお</small> 2時間より多く、 <small>じかん すく</small> 3時間より少ない	5. <small>じかん おお</small> 2時間より多く、 <small>じかん すく</small> 3時間より少ない
6. <small>じかん おお</small> 3時間より多い	6. <small>じかん おお</small> 3時間より多い
7. わからない	7. わからない



問9. あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。

（＜利用する前＞と＜現在＞それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください）

＜利用する前＞

1. おうちの大人の人  
（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人  
（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4. 一番よく行く場所の大人
5. 学校のともだち
6. クラブ活動の仲間
7. 学校以外のともだち  
（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
8. 一番よく行く場所のともだち
9. ひとりである
10. その他の人

＜現在＞

1. おうちの大人の人  
（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2. きょうだい
3. おうちの人以外の大人  
（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4. 一番よく行く場所の大人
5. 学校のともだち
6. クラブ活動の仲間
7. 学校以外のともだち  
（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
8. 一番よく行く場所のともだち
9. ひとりである
10. その他の人

問10. あなたは①～⑦のことについて、どれくらいあてはまりますか。  
 (<利用する前>と<現在>それぞれについて、あてはまる番号1  
 つに○をつけてください)

- 【1.あてはまる 2.どちらかというにあてはまる  
 3.どちらかというにあてはまらない 4.あてはまらない】

	りよう まへ <利用する前>				げんざい <現在>			
	1	2	3	4	1	2	3	4
① おなじじこくにおきる。	1	2	3	4	1	2	3	4
② ちょうしょくをたべる。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ けんこうじょうたいがよい。 (例:おなかが痛くなくなった、など)	1	2	3	4	1	2	3	4
④ いままでのじんせい、こころからかんだうしたことがある(しょうせつ、えいが、どらま、まんが、たいけん、おんがく、げいじゆつ、すぽーつなど)。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ むちゆうになった、べんきやうがおもしろいと思った、やるきが出た、というきおくに残っているじゆぎやうがある。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ ちいこや、としよりがこまっているとき、てだすを手助けをする。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ おまつりやぼらんていあかつどうなど、ちいまきぎやうじさんかに参加する。	1	2	3	4	1	2	3	4

問1 1. あなたに①～④のことをしてくれる人はどのくらいいますか。  
 (①～④)について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

【1. たくさんいる 2. あるていどいる 3. あまりいない 4. まったくない】

	＜利用する前＞				＜現在＞			
① あなたが、何かに失敗したときに、たすけてくれる。	1	2	3	4	1	2	3	4
② あなたが、勉強やスポーツでがんばったときに、ほめてくれる。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 一人ではできないことがあったときには、気持ちよく手伝ってくれる。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ あなたが悩んでいるときに、どうしたらよいか教えてくれる。	1	2	3	4	1	2	3	4

問1 2. あなたの気持ちについて教えてください。  
 (①～⑥)について、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

【1. そう思う 2. どちらかというそう思う  
 3. どちらかというそう思わない 4. そう思わない】

	＜利用する前＞				＜現在＞			
① 自分に自信がある。	1	2	3	4	1	2	3	4
② 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 大人を信用できる。	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 自分の将来の夢や目標を持っている。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 将来のためにも、今、頑張りたいと思う。	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 将来、働きたいと思う。	1	2	3	4	1	2	3	4

問13. あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。  
 (<利用する前>と<現在>それぞれについて、あてはまる番号1  
 つに○をつけてください)

<利用する前>	<現在>
1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校（美容師や調理師など 仕事の仕方や技術を学ぶための 学校など） 4. 大学 5. 考えたことがない 6. わからない	1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校（美容師や調理師など 仕事の仕方や技術を学ぶための 学校など） 4. 大学 5. 考えたことがない 6. わからない

問14. あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選  
 んでください。  
 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 本 （学校の教科書やマンガはのぞく） 2. マンガ・雑誌 3. 子ども部屋（ひとり部屋やきょうだい といっしょに使っている部屋など） 4. インターネットにつながるパソコン 5. 運動用具（ボール・ラケットなど） 6. ゲーム機 7. 自転車 8. テレビ 9. けいたい電話	10. スマートフォン・タブレット機器 （通話等アプリ（ライン）、ツイッター、 フェイスブックなどできるもの） 11. 化粧品・アクセサリ 12. 習いごとなどの道具（ピアノなど） 13. 自分で選んだ服 14. キャラクターグッズ 15. その他 16. あてはまるものはない
---	---

問15. あなたの性別についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 男 <small>おとこ</small>	2. 女 <small>おんな</small>	3. その他 <small>た</small>	4. 答えたくない <small>こた</small>
----------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------------

問16. あなたの学年を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 小学1年生 <small>しょうがく ねんせい</small>	5. 小学5年生 <small>しょうがく ねんせい</small>
2. 小学2年生 <small>しょうがく ねんせい</small>	6. 小学6年生 <small>しょうがく ねんせい</small>
3. 小学3年生 <small>しょうがく ねんせい</small>	7. 中学1年生 <small>ちゅうがく ねんせい</small>
4. 小学4年生 <small>しょうがく ねんせい</small>	8. 中学2年生 <small>ちゅうがく ねんせい</small>
	9. 中学3年生 <small>ちゅうがく ねんせい</small>

問17. いっしょに暮らしている保護者の方について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 両親ともにいる <small>りょうしん</small>	4. 両親がいなくて、おじいちゃん・おばあちゃん(両方又は一方)がいる <small>りょうほうまた いっぽう</small>
2. お母さんがいてお父さんがいない <small>かあ とう</small>	5. その他 <small>た</small>
3. お父さんがいてお母さんがいない <small>とう かあ</small>	( )

問18. あなたはふだん(月～金曜日)の放課後、どこで過ごしますか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自分の家 <small>じぶん いえ</small>	9. コンビニエンスストア
2. おばあちゃん・おじいちゃんの家 <small>いえ</small>	10. ゲームセンター
3. ともだちの家 <small>いえ</small>	11. 図書館・公民館・児童館など公共の施設 <small>こうきょう</small>
4. 塾 <small>じゅく</small>	12. 地域の居場所(無料で食事が食べられたり、勉強を教えてもらうところ) <small>べんきょう おし</small>
5. 習いごと <small>ならいごと</small>	13. 学童保育(放課後児童クラブ) <small>がくどうほいく ほうかごじどうくらぶ</small>
6. 学校(クラブ活動など) <small>がっこう くらぶかつどう</small>	14. その他 <small>た</small>
7. 公園・広場 <small>こうえん ひろば</small>	
8. スーパーやショッピングモール <small>すーぱー しよప్పिंगもーる</small>	

とい  
問19. あなたはどのようなことを望んでいきますか。

1. 無料で食事が食べられること
2. あいさつなど、社会のルールを教えてください
3. 学校の勉強を教えてください
4. 色々な仕事について体験できること
5. その他 ( )

とい  
問20. あなたが行ける場所に行って良かったことや、望むこと、その他何でも思うことについて書いてください。



\*みなさんの意見を使っていく場合、もしあなたが誰かわかるような書き込みがあっても、その部分の公表はしませんので、安心して書いてください。

しつもん  
質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました!!

社会資源の担当者さま、そして子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

沖縄子供の貧困緊急対策事業  
アンケート調査報告書

令和2年3月

公立大学法人大阪 大阪府立大学 山野則子研究室